

2020年度 医学部医学科 第1学年 SYLLABUS

学業科目： ▼

近現代文学 I

[教育目標]

日本の近現代文学について、描かれていることの特質性、さらにはその社会との関連性について把握、理解することを目標とする。同時に、テクスト（文章）を読解する際に必要となる理論（技法）の基礎を学び、それらの理論を用いて社会をする批評する能力を身につける。

現在の日本近現代文学研究の射程は広く、漫画・アニメ・映画にまで及んでいる。本授業では、小説およびアニメーションなどの多様な文化表現についての読解方法を学ぶことによって、自分達と社会との関わりについて適切に把握する能力と文章による表現の重要性を認識する感覚を養いたい。

[授業の方法]

講義

[学修目標]

- ・近現代文学、およびそれにかかわる文化や社会との関連性について考察し、文章表現による批評の重要性について理解を深める。
- ・文章を読解するための理論について学び、その援用を試みる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

指示に従い事前課題及び復習課題を学習すること。それぞれ約30分程度を目安とする。
教科書および授業時に提示する文献・作品を読み終えてから授業に参加する。
授業時に示す課題を作成する。

[評価]

出席、定期テストの成績、それ以外の提出物（課題）の提出状況とその内容によって総合的に判断する。ただし、定期テストの未受験、提出物（仮題）の未提出者については評価対象としない。

[フィードバックの方法]

- ・レポートや課題についての解説を行う。
- ・レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。

[教科書]

小川洋子『博士の愛した数式』新潮文庫
村上春樹『女のいない男たち』文春文庫

[推薦参考書]

授業時に示します。

[使用する教室]

大学2号館9階909講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
奥田 浩司 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<近現代文学I>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/15 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(1)作品を読解するとはどういうことか ●分析的に作品を理解することの大切さを学ぶ。	大2-909
2	04/22 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(2)文学的な作品について:導入 ●文学的な作品の特徴を理解する。	大2-909

3	05/13 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(3)文学的な作品について:展開 ●文学的な作品について簡単な分析方法について学ぶ。	大2-909
4	05/20 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(4)文学的な作品の構造について:導入 ●文学的な作品(物語)の簡単な構造について学ぶ。	大2-909
5	05/27 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(5)文学的な作品の構造について:展開1 ●文学的な作品(物語)の構造を分析する方法を学ぶ。	大2-909
6	06/03 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(6)文学的な作品の構造について:展開2 ●文学的な作品(物語)の構造について具体的な作品を用いて説明することができる。	大2-909
7	06/10 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(7)文学的な作品の構造について:展開3 ●学んだ知識を活用して小説以外の作品(物語)の表現を分析する。	大2-909
8	06/17 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(8)文学作品に表出する社会性と普遍性:導入 ●村上春樹「ドライブ・マイカー」について説明ができる。	大2-909
9	06/24 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(9)文学作品に表出する社会性と普遍性:展開1 ●村上春樹「独立器官」について説明ができる。	大2-909
10	07/01 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(10)文学作品に表出する社会性と普遍性:展開2 ●村上春樹「木野」について説明ができる。	大2-909
11	07/08 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(11)文学作品に表出する社会性と普遍性:展開3 ●映像化の役割と問題点 小川洋子『博士の愛した数式』の問題点	大2-909
12	07/15 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(12)現代における表現文化の諸問題:1 ●『博士の愛した数式』の作品構造について適切な説明ができる。	大2-909

1 3	07/22 (水) 1限	講義	奥田 浩司	(13)現代における表現文化の諸問題:2 ●『博士の愛した数式』と現代社会の関係について考察する。	大2-909
	07/29 (水) 1限	試験	奥田 浩司	定期試験	大2-603

近現代文学Ⅱ

[教育目標]

日本の近現代文学・文化を中心に、社会的な出来事が作品に取り入れられていく問題、特に震災表象に関する表現についての考察を行う。同時に、文学作品を研究する際に必須の分析方法や理論の基礎を学んで、それを使って社会的な文学作品を分析する能力を身につける。

現代における大きな震災である淡路・阪神大震災（1995年）、東日本大震災（2011年）をめぐる言説を主に比較することによって、この間に私達の社会や生活にどのような変化があり、この変化に対して文学やそれに準じる創作活動がどのような影響力を担っているのか考える力を養う。

[授業の方法]

講義

[学修目標]

- ・日本近現代文学・文化に表出する歴史的な事象（震災）について考察し、表現の批評性や文章を通した歴史化の過程について理解を深める。
- ・初步的な分析方法や理論について学び、その援用を試みる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

指示に従い事前課題及び復習課題を学習すること。それぞれ約30分程度を目安とする。

教科書および授業時に提示する文献・作品を読み終えてから授業に参加する。

授業時に示す課題を作成する。

[評価]

出席、定期テストの成績、それ以外の提出物（課題）の提出状況とその内容によって総合的に判断します。ただし、定期テストの未受験、提出物（仮題）の未提出者については評価対象としません。

[フィードバックの方法]

- ・レポートや課題についての解説を行う。
- ・レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。

[教科書]

村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』（文春文庫）
いとうせいこう『想像ラジオ』（河出文庫）

[推薦参考書]

授業時に示します。

[使用する教室]

大学2号館9階909講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
奥田 浩司 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<近現代文学Ⅱ>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/07 (水) 1限	講義	奥田 浩司	出来事（震災）の歴史化 ●どのような過程を経て社会的に大きな出来事が文学的に文章化されていくのかを、震災を例にとって理解する。	大2-909
2	10/14 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 1 ●村上春樹「UFOが釧路に降りる」における震災の描かれ方について考察する。（1）	大2-909

3	10/21 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 2 ●村上春樹「UFOが釧路に降りる」における震災の描かれ方について考察する。 (2)	大2-909
4	10/28 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 3 ●村上春樹「アイロンのある風景」における震災の描かれ方について考察する。 (1)	大2-909
5	11/04 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 4 ●村上春樹「アイロンのある風景」における震災の描かれ方について考察する。 (2)	大2-909
6	11/11 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 5 ●村上春樹「神の子どもたちはみな踊る」における震災の描かれ方について考察する。 (1)	大2-909
7	11/18 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 6 ●村上春樹「神の子どもたちはみな踊る」における震災の描かれ方について考察する。 (2)	大2-909
8	11/25 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 7 ●村上春樹「タイランド」における震災の描かれ方について考察する。 (1)	大2-909
9	12/09 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 8 ●村上春樹「タイランド」における震災の描かれ方について考察する。 (2)	大2-909
10	12/16 (水) 1限	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 9 ●村上春樹「かえるくん、東京を救う」における震災の描かれ方について考察する。 (1)	大2-909
11	12/23 (水)	講義	奥田 浩司	文学における現代的な震災表象 10	大2-909

	1限			●村上春樹「かえるくん、東京を救う」における震災の描かれ方について考察する。 (2)	
1 2	01/06 (水) 1限	講義	奥田 浩司	震災と想像力 1 ●いとうせいこう「想像ラジオ」における想像力について (1)	大2-909
1 3	01/13 (水) 1限	講義	奥田 浩司	震災と想像力 2 ●いとうせいこう「想像ラジオ」における想像力について (2)	大2-909
1 4	01/20 (水) 1限	講義	奥田 浩司	震災と想像力 3 ●いとうせいこう「想像ラジオ」における想像力について (3)	大2-909
	01/27 (水) 1限	定期試験	奥田 浩司	定期試験	大2-603

論理学 I

[教育目標]

この授業では、物事を論理的に考える力を養うための講義と練習を行う。

まず論理的思考に役立つ様々な概念について講義し、次にそれを活用する練習を行う。論理的に考えられるようになるためには、そうした概念を知っているだけでは不十分で、それらを実際に活用できなければならない。そのため学生には、単に講義を聴くだけでなく実際に自分の頭を使って能動的に考えることが求められる。

[授業の方法]

講義を中心に進めつつ、適宜練習問題に取り組んでもらう。

[学修目標]

- ・様々な種類の論証を分析・評価できるようになる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

各回毎に、授業のポイントを自分の言葉でまとめる、間違えた練習問題についてなぜ間違えたのか分析する、といった復習を行うことを勧める。時間の目安は30分程度。

[評価]

定期試験の結果に基づいて評価する。

[フィードバックの方法]

授業中に取り組む練習問題についてはその都度解説を行う。

[教科書]

教科書は指定しない。資料を配布する。

[推薦参考書]

野矢茂樹『新版 論理トレーニング』産業図書

Fogelin, Robert J. and Sinnott-Armstrong, Walter (2014). Understanding Arguments: An Introduction to Informal Logic (9th ed.). New York: Harcourt Brace College Publishers.

[使用する教室]

大学2号館9階 910講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
竹下 至 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<論理学 I >

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/15 (水) 1限	講義	竹下 至	イントロダクション：論証とは何か	大2-910
2	04/22 (水) 1限	講義	竹下 至	論証の分類：演繹的論証と非演繹的論証を区別する	大2-910
3	05/13 (水) 1限	講義	竹下 至	論証構造の分析	大2-910
4	05/20 (水) 1限	講義	竹下 至	論証の評価 (1) : 論証の正しさを評価する	大2-910
5	05/27 (水) 1限	講義	竹下 至	論証の評価 (2) : 種々の演繹的論証	大2-910

6	06/03 (水) 1限	講義	竹下 至	論証の評価 (3) : 帰納、類比	大2-910
7	06/10 (水) 1限	講義	竹下 至	論証の評価 (4) : アブダクション	大2-910
8	06/17 (水) 1限	講義	竹下 至	因果関係を推測する	大2-910
9	06/24 (水) 1限	講義	竹下 至	注意すべき誤謬 (1) : 曖昧さに関する誤謬	大2-910
10	07/01 (水) 1限	講義	竹下 至	注意すべき誤謬 (2) : 関連性に関する誤謬	大2-910
11	07/08 (水) 1限	講義	竹下 至	反論の技術 : 様々な反論の仕方を知る	大2-910
12	07/15 (水) 1限	講義	竹下 至	演習 (1) : 論理パズル	大2-910
13	07/22 (水) 1限	講義	竹下 至	演習 (2) : 長い論証の分析	大2-910
	07/29 (水) 1限	試験	竹下 至	定期試験	大2-603

論理学Ⅱ

[教育目標]

この授業の目的は、科学の方法論や基本的な概念について知ることを通じて、そこに含まれる論理的思考のエンジニアリングを学びとることである。

授業の前半では、科学的な仮説が形成・検証される過程がどのような論理に支えられているのかを学ぶ。後半では、前半で学んだ知識を活かす練習として、様々な俗説や疑似科学（科学の装いを持つが方法論などに問題があり正統な科学とは見なされない活動）を批判的に検討する。

[授業の方法]

講義

[学修目標]

- ・科学的・論理的な考え方を身につける。
- ・疑似科学を批判的に分析できるようになる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

授業で学ぶ内容を、日々目にする広告記事や科学系のニュースなどに当てはめて意識的に読むことを勧める。時間の目安は30分。

[評価]

定期試験の結果に基づいて評価する。

[フィードバックの方法]

授業中に取り組む練習問題についてはその都度解説を行う。

[教科書]

教科書は指定しない。資料を配布する。

[推薦参考書]

戸田山和久『「科学的思考」のレッスン—学校で教えてくれないサイエンス』NHK出版新書
菊池聰『なぜ疑似科学を信じるのか：思い込みが生みだす二セの科学』化学同人

[使用する教室]

大学2号館9階 910講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
竹下 至 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<論理学Ⅱ>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/07 (水) 1限	講義	竹下 至	イントロダクション：「理論・仮説」についての適切な理解を得る	大2-910
2	10/14 (水) 1限	講義	竹下 至	科学の基本的な方法論を知る	大2-910
3	10/21 (水) 1限	講義	竹下 至	仮説をテストする実験に求められる条件を知る	大2-910
4	10/28 (水) 1限	講義	竹下 至	理論選択の基準を知る	大2-910
5	11/04 (水) 1限	講義	竹下 至	帰納の問題	大2-910

6	11/11 (水) 1限	講義	竹下 至	科学と疑似科学の線引き	大2-910
7	11/18 (水) 1限	講義	竹下 至	相関関係と因果関係	大2-910
8	11/25 (水) 1限	講義	竹下 至	サンプリングにまつわる問題	大2-910
9	12/09 (水) 1限	講義	竹下 至	俗説を批判的に検討する（1）：脳科学における俗説	大2-910
10	12/16 (水) 1限	講義	竹下 至	俗説を批判的に検討する（2）：心理学における俗説	大2-910
11	12/23 (水) 1限	講義	竹下 至	疑似科学を批判的に検討する（1）：血液型性格診断	大2-910
12	01/06 (水) 1限	講義	竹下 至	疑似科学を批判的に検討する（2）：宏観異常現象による地震予知	大2-910
13	01/13 (水) 1限	講義	竹下 至	疑似科学を批判的に検討する（3）：代替医療	大2-910
14	01/20 (水) 1限	講義	竹下 至	学んだ内容の整理と再検討	大2-910
	01/27 (水) 1限	試験	竹下 至	定期試験	大2-603

人類学 I

[教育目標]

社会や人間の生活についての文化人類学という考え方を様々な事例を通して紹介し、人間という存在の多様性と普遍性に関して考察する。人間の文化に関する多くの事例にふれることにより、文化の本質や多様性を理解できるようにする。

[授業の方法]

講義 講義の前半にその回の内容を理解するために不可欠な用語や状況を解説した後、講義の後半にそれらの用語や状況に関連した映像資料を鑑賞してもらい、理解を確実なものとする。

[学修目標]

文化の多様性を認識し、視野を広げる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

短期的には予習は特に必要ない。長期的には、インターネットやテレビ、文献などを通じて日頃から異文化への興味を持つようにすること、自分の身近にある様々なもの、しきみ、心のありようなどを文化という視点から考えられるようにしておくことなどが、事前学習として望ましい。

授業後は、提示された事例の意味を考察し、自分なりの考え方をまとめられるよう30分程度考察すること。

[評価]

出席状況、授業態度、定期試験の結果により総合的に判断する。

[フィードバックの方法]

- 各回の授業前半で解説した概念や状況を、後半で映像資料を用いて個別により詳しく解説する。
- 各学期の最終回の授業では、それまでに教えた内容について再度確認する。
- 定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

[教科書]

特になし

[推薦参考書]

特になし

[使用する教室]

大学2号館8階810講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
三木 誠 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<人類学I>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/15 (水) 1限	講義	三木 誠	文化人類学概論(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
2	04/22 (水) 1限	講義	三木 誠	文化の多様性(1)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
3	05/13 (水) 1限	講義	三木 誠	文化の多様性(2)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
4	05/20 (水) 1限	講義	三木 誠	性別と社会(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
5	05/27 (水) 1限	講義	三木 誠	婚姻と家族(1)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810

6	06/03 (水) 1限	講義	三木 誠	婚姻と家族(2)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
7	06/10 (水) 1限	講義	三木 誠	宗教と世界觀(1)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
8	06/17 (水) 1限	講義	三木 誠	宗教と世界觀(2)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
9	06/24 (水) 1限	講義	三木 誠	宗教と世界觀(3)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
10	07/01 (水) 1限	講義	三木 誠	宗教と世界觀(4)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
11	07/08 (水) 1限	講義	三木 誠	儀礼と祝祭(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
12	07/15 (水) 1限	講義	三木 誠	環境と文化(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
13	07/22 (水) 1限	講義	三木 誠	異文化と自文化(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
	07/29 (水) 1限	試験	三木 誠	定期試験	大2-603

人類学Ⅱ

[教育目標]

世界には、我々が生きている社会とは全く異なった価値観や行動様式を持つ民族社会が多数存在する。この授業では、世界各地の民族社会に関する知識を深め、そのような社会を成り立たせている固有の論理や変化の様相について考察する。

[授業の方法]

講義 講義の前半にその回の内容を理解するために不可欠な用語や状況を解説した後、講義の後半にそれらの用語や状況に関連した映像資料を鑑賞してもらい、理解を確実なものとする。

[学修目標]

文化の多様性に関する知識を深め、異文化を正当に評価できるようにする。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

短期的には予習は特に必要ない。長期的には、インターネットやテレビ、文献などを通じて日頃から民族という社会的集団に興味を持つようすること。自分の身近にある様々な文化要素が、異文化ないし異民族から見たらどのように意味づけられるのかといった点について、想像力を膨らませることができるようにしておくことなどが、事前学習として望ましい。

授業後は、提示された事例の意味を理解し、自分なりの考え方をまとめられるように30分程度考察すること。

[評価]

出席状況、授業態度、定期試験の結果により総合的に判断する。

[フィードバックの方法]

- 各回の授業前半で解説した概念や状況について、授業後半で映像資料を用いて個別により詳しく説明する。
- 各学期の最終回の授業では、それまで教えた内容について再度確認する。

- ・定期試験結果について疑義のある場合は対応する。

[教科書]

特になし

[推薦参考書]

特になし

[使用する教室]

大学2号館8階810講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
三木 誠 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<人類学Ⅱ>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/07 (水) 1限	講義	三木 誠	民族に関する概説(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
2	10/14 (水) 1限	講義	三木 誠	民族と国家(1)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
3	10/21 (水) 1限	講義	三木 誠	民族と国家(2)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
4	10/28 (水) 1限	講義	三木 誠	民族文化の諸相(1)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
5	11/04	講義	三木 誠	民族文化の諸相(2)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810

	(水) 1限			賞を含む。)	
6	11/11 (水) 1限	講義	三木 誠	民族文化の諸相(3)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
7	11/18 (水) 1限	講義	三木 誠	民族文化の諸相(4)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
8	11/25 (水) 1限	講義	三木 誠	観光と文化(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
9	12/09 (水) 1限	講義	三木 誠	伝統文化の継承(1)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
10	12/16 (水) 1限	講義	三木 誠	伝統文化の継承(2)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
11	12/23 (水) 1限	講義	三木 誠	伝統文化の継承(3)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
12	01/06 (水) 1限	講義	三木 誠	新たな文化の形成(1)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
13	01/13 (水) 1限	講義	三木 誠	新たな文化の形成(2)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
14	01/20 (水) 1限	講義	三木 誠	新たな文化の形成(3)(映像資料鑑賞を含む。)	大2-810
	01/27 (水) 1限	試験	三木 誠	定期試験	大2-603

社会学 I

[教育目標]

社会学 I は「社会問題の社会学」とし、現代社会のさまざまな問題（家族、ジェンダー、セクシュアル・マイノリティ、少子高齢化、地域と医療・福祉問題）を学ぶ。また、そうした事象を扱いながら、社会学的／社会的に事象を捉える視座を獲得することを目指す。

[授業の方法]

講義とグループワーク・ディスカッション 毎回の講義の後半に数十分程度時間をとり、アクティブラーニングとしてグループワーク／ディスカッションを実施する。

[学修目標]

「あたりまえ」を疑う、社会学的視点を身につけることができる。

様々な社会問題と自分がいま／ここに生きていることとを繋いで考えられるイマジネーション（＝社会学的想像力）とは何かを理解できる。

現代の複雑な社会問題を理解・分析できる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

本授業では、基本的に同一のトピックについて理論編とデータ／実例編で構成する。理論編をきちんと復習して理解した上で、データ／実例編の授業に臨むことが求められる（予習15分程度）。

また、各回の授業ではコメントを求めるが、コメントを提出して終わりにせず、そのトピックについて自分なりに思考を発展させていくことが求められる（復習15分程度）。

[評価]

毎回のコメントの提出（30%）

平常点（授業態度等：20%）

定期試験（50%）

[フィードバックの方法]

毎回提出されるコメントについては、授業内で適宜フィードバックする。定期試験結果については疑義のある場合は対応する。

[教科書]

特になし（授業資料を適宜配布）

[推薦参考書]

- ・好井裕明、2002、『「あたりまえ」を疑う社会学』光文社新書
- ・宇都宮京子編、2009、『よくわかる社会学』ミネルヴア書房

[使用する教室]

大学2号館8階809講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
辻村 大生 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<社会学I>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/15 (水) 1限	講義	辻村 大生	社会学とは何か	大2-809
2	04/22 (水) 1限	講義	辻村 大生	社会に対する理解-因果的理解と意味理解	大2-809
3	05/13 (水) 1限	講義	辻村 大生	家族の機能と役割	大2-809
4	05/20	講義	辻村 大生	家族を「する」ということ	大2-809

	(水) 1限				
5	05/27 (水) 1限	講義	辻村 大生	セックス／ジェンダー／セクシユアリティ	大2-809
6	06/03 (水) 1限	講義	辻村 大生	ジェンダーバイアス、セクシュアル・マイノリティ	大2-809
7	06/10 (水) 1限	講義	辻村 大生	少子化と社会	大2-809
8	06/17 (水) 1限	講義	辻村 大生	「子ども」とは何か	大2-809
9	06/24 (水) 1限	講義	辻村 大生	高齢化と社会	大2-809
10	07/01 (水) 1限	講義	辻村 大生	エイジズムと「老い」の観念	大2-809
11	07/08 (水) 1限	講義	辻村 大生	地域と社会問題	大2-809
12	07/15 (水) 1限	講義	辻村 大生	都市・農村と限界集落	大2-809
13	07/22 (水) 1限	講義	辻村 大生	地域社会と福祉・医療	大2-809
	07/29 (水) 1限	試験	辻村 大生	定期試験	大2-603

社会学Ⅱ

[教育目標]

社会学Ⅱは「医療と社会学」とし、社会学的な視点や理論を踏まえ、医療をめぐる様々な問題（組織・集団、医療にまつわるカテゴリーの社会的構築、コミュニケーション、公害・環境問題の被害、現代のテクノロジーと医療、「病」をめぐる社会的定義と社会運動、健康の社会的ネットワーク）について学習する。

[授業の方法]

講義とグループワーク・ディスカッション 毎回の講義の後半に数十分程度時間をとり、アクティブラーニングとしてグループワーク／ディスカッションを実施する。

[学修目標]

医療をめぐる様々な論点について、社会学的な理論や視点から捉えることができる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

本授業は、おおよそ1つのテーマについて、1) 社会学理論や視点の概要、2) そうした理論や視点から捉える、医療・福祉をめぐる問題へのアプローチ、をセットにして授業を進めていく。1) を用いながら、その他どのような事象やケースを理解・分析できるのか、復習として発展的に考えてみてほしい。（30分程度）

[評価]

毎回のコメントの提出（30%）

平常点（授業態度等：20%）

定期試験（50%）

[フィードバックの方法]

毎回提出されるコメントについては、授業内で適宜フィードバックする。定期試験結果については疑義のある場合は対応する。

[教科書]

特になし（授業資料を適宜配布）

[推薦参考書]

- ・好井裕明、2014、『違和感から始まる社会学』光文社新書
- ・中川輝彦・黒田浩一郎編、2010、『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房

[使用する教室]

大学2号館8階809講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
辻村 大生 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<社会学Ⅱ>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/07 (水) 1限	講義	辻村 大生	医療を社会学するということ	大2-809
2	10/14 (水) 1限	講義	辻村 大生	集団論・組織論	大2-809
3	10/21 (水) 1限	講義	辻村 大生	医療をめぐる組織・集団	大2-809
4	10/28 (水) 1限	講義	辻村 大生	社会的構築主義	大2-809
5	11/04 (水)	講義	辻村 大生	生と死の社会的構築	大2-809

	1限				
6	11/11 (水) 1限	講義	辻村 大生	会話分析	大2-809
7	11/18 (水) 1限	講義	辻村 大生	医療・福祉におけるコミュニケーション	大2-809
8	11/25 (水) 1限	講義	辻村 大生	環境社会学の理論	大2-809
9	12/09 (水) 1限	講義	辻村 大生	公害・環境問題と社会的障害	大2-809
10	12/16 (水) 1限	講義	辻村 大生	リスク社会論	大2-809
11	12/23 (水) 1限	講義	辻村 大生	テクノロジーと医療問題	大2-809
12	01/06 (水) 1限	講義	辻村 大生	社会運動論	大2-809
13	01/13 (水) 1限	講義	辻村 大生	「病」をめぐる社会運動	大2-809
14	01/20 (水) 1限	講義	辻村 大生	社会関係資本と人々の健康	大2-809
	01/27 (水) 1限	試験	辻村 大生	定期試験	大2-603

歴史学 I

[教育目標]

歴史学 I・II では大学生が一般教養として最低限学んでおくべき近・現代の世界史を学ぶ。歴史学 I では古代メソポタミア文明から18世紀までのヨーロッパおよびアジアの歴史を講義する。この講義で対象となる時期に起きた「ルネサンス」「宗教改革」「絶対主義」などについてその誕生の背景や社会に与えた影響について理解できるようになるのが目標である。

[授業の方法]

講義形式で行う。なお講義では教員による解説だけではなく映像や画像を示して講義内容を理解しやすくする。またアクティブラーニングとして、講義中基本的な事項(重要な事件や人物、地名など)について受講生に指名して答えてもらったり(わからない場合は他の学生と話し合って確認させる時間を設ける)、事件や運動が起きた背景について他の学生とともに考えその結果を発表してもらう。

[学修目標]

講義で扱われる近世までの歴史の流れが理解できるようになる。

講義でとりあげた「十字軍」「フランス革命」などといった歴史的な事件が起こった背景や事件の過程、そしてその事件が後世に与えた影響について理解できる。

講義で取り上げた「封建制」「絶対主義」「農奴制」といった支配のシステムを理解できる。

講義で取り上げた「キリスト教」「イスラーム(イスラム教)」といった宗教について基本的な事柄(教義など)を理解できる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

講義で配布された次回講義に関する資料を読み、次回の講義を理解するうえで必要な知識を確認しておく。30分程度の学習である。

[評価]

授業の最後に行う授業に関する内容を問う課題と定期試験で評価する。

大学の規定以上講義を欠席したものは無資格とする。

なお出席は講義の最初に厳格に確認する。

[フィードバックの方法]

- ・レポートや課題についての解説を行う。
- ・レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

講義で配布する資料を用いる。

[推薦参考書]

各講義で紹介する。

[使用する教室]

大学2号館8階810講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
磯村 尚弘 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<歴史学I>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/16 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	先史時代・古代オリエントの文明(メソポタミア文明・エジプト文明) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では先史時代	大2-810

				(旧石器・新石器時代)についてと古代オリエント世界の文明に関して講義する。特に古代エジプト文明に関しては当時使用されていたヒエログリフについてその構造を解説する。	
2	04/23 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	古代ギリシア・ローマ史 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義ではヨーロッパの文化に影響を与えた古代ギリシア、ローマの歴史について講義する。特に文化・建築・科学技術(特に医学)の側面からそれぞれの文明の魅力について講義する。	大2-810
3	04/30 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	ヨーロッパ世界の誕生と形成 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●古代から中世にかけてのヨーロッパ世界の成立について講義する。4世紀以降行われたゲルマン、スラヴ系諸民族のヨーロッパへの移住と社会の形成から中世における封建社会の成立までの経過を講義する。	大2-810
4	05/07 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	ルネサンス A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●近代ヨーロッパ文化発展のきっかけとなったルネサンスについてその過程と特徴(芸術と科学技術面(特に医学)での発展)について講義する。	大2-810
5	05/14 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	宗教改革 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●キリスト教の宗派である「プロテstant諸派」の誕生や、キリスト教とヨーロッパ社会との関係に決定的な変化	大2-810

				を与えるきっかけともなった宗教改革について講義する。	
6	05/21 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>東ローマ帝国の盛衰、古代・中世の中東欧・ロシア</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義ではのちの中東欧・ロシアの文化に大きな影響を与えた東ローマ帝国の歴史と、古代・中世の中東欧・ロシアの歴史について講義する。東ローマ帝国についてはその文化的特徴を、古代・中世の中東欧・ロシアについてはキリスト教布教やモンゴルやタタールといった中央アジアの遊牧民族の支配の影響に注目して講義する。 	大2-810
7	05/28 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>ヨーロッパ・ロシアにおける絶対主義</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●中世封建社会から近代資本主義社会への過渡期にあらわれた中央集権的な国家体制である絶対主義について、政治権力の面での特徴と経済や社会に与えた影響について講義する。まず西欧諸国の絶対主義の特徴について講義したのち、ロシアにおける絶対主義について、その体制を支えた農奴制にも注目して講義する。 	大2-810
8	06/04 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>ヨーロッパにおける「文化圏」とその影響</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●古代から近世に至る歴史の中で形成され、現在のヨーロッパ社会にも大きな影響を及ぼしている「文化圏」について講義する。特にキリスト教の宗派の違いから生まれた文化 	大2-810

				図の特徴とその現代社会の影響について注目し講義する。	
9	06/18 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>西アジア・南アジアの古代文明(イラン・中央アジア・インド) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●現在のイラン・中央アジア・インドで誕生し発展した諸文明について講義する。イラン(ペルシア)・インドの文明に関してはその特徴を、中央アジアに関しては遊牧騎馬民族の活動に注目して講義する。</p>	大2-810
10	06/25 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>イスラム世界の形成と発展 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義ではイスラムの誕生と西アジアでの拡大、そしてイスラム帝国の誕生と発展について講義する。イスラム世界の発展は同時に文化(特に科学技術の発展)に大きな貢献をなした。こうした発展についても注目して講義する。</p>	大2-810
11	07/02 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>トルコとイラン(ペルシア)の発展 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義ではトルコとイラン(ペルシア)について、オスマン帝国やティムール朝などの諸王朝の盛衰を中心に講義する。特にオスマン帝国についてはヨーロッパなど他の地域にも多くの文化的な影響を与えたのでこうした点に注目して講義する。</p>	大2-810
12	07/09 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>古代・中世の東アジア A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では古代・中世の東アジア(中国・朝鮮・日本)について講義する。特に</p>	大2-810

				東アジア世界の文化に大きな影響を与えた中国の古代文明について注目して講義する。	
1 3	07/16 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	中国文化圏の拡大と周辺世界の変容 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では中世以降の東アジアについて、中国文化の影響とその変化の過程について講義する。	大2-810
	07/30 (木) 1限	試験	磯村 尚弘	定期試験	大2-603

歴史学Ⅱ

[教育目標]

歴史学Ⅰ・Ⅱでは大学生が一般教養として最低限学んでおくべき近・現代の世界史を学ぶ。歴史学Ⅱでは18世紀以降のヨーロッパとアジアを中心とした世界史を扱う。この講義で扱う「第一次世界大戦」「全体主義」「第二次世界大戦」「冷戦」といった出来事がどのようなものかを時代の流れに沿って理解できるようになるのが目標である。

[授業の方法]

講義形式で行う。なお講義では教員による解説だけではなく映像や画像を示して講義内容を理解しやすくする。またアクティブラーニングとして、講義中基本的な事項(重要な事件や人物、地名など)について受講生に指名して答えてもらったり(わからない場合は他の学生と話し合って確認させる時間を設ける)、事件や運動が起きた背景について他の学生とともに考えその結果を発表してもらう。

[学修目標]

講義で取り上げた「第一次世界大戦」などといった出来事を理解できるようになる。

講義で取り上げた「共産主義」「全体主義」「国家社会主義」などといったイデオロギーについて理解できるようになる。

講義内容を時代に流れに沿って理解できるようになる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

講義で配布された次回講義に関する資料を読み、次回の講義を理解するうえで必要な知識を確認しておく。30分程度の学習である。

[評価]

講義の最後に行う、講義の内容を問う課題と定期試験で評価する。

規定以上講義を欠席した場合は無資格となる。

なお出席は講義の最初に厳格に確認する。

[フィードバックの方法]

- ・レポートや課題についての解説を行う。
- ・レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

講義で配布する資料を用いる。

[推薦参考書]

各講義で紹介する。

[使用する教室]

大学2号館8階810講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
磯村 尚弘 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<歴史学Ⅱ>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/08 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	この回の講義ではフランス革命の背景とその過程、社会の変容について講義したのち、革命後誕生したナポレオンによる支配体制について講義する。そしてナポレオン失脚後誕生したヴィーン体制について講義する。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に	大2-810

				<p>必要な情報を収集できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この回の講義ではフランス革命の背景とその過程、社会の変容について講義したのち、革命後誕生したナポレオンによる支配体制について講義する。そしてナポレオン失脚後誕生したウィーン体制について講義する。 	
2	10/15 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>ナショナリズムの誕生と展開 A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● この回の講義では、ナポレオンによる支配のもとで政治的な運動としてドイツや中東欧諸国で発展したナショナリズムについて講義する。まず「エスニシティ」や「ネイション」「民族」「国民」といった用語の定義に関して解説し、その後ナショナリズムの誕生の過程について講義する。そしてウィーン体制下でのナショナリズムの高揚について講義する。 	大2-810
3	10/22 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>19世紀のヨーロッパ世界(1)産業革命と社会への影響 A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● この回の講義では産業革命の進展とその社会への影響について講義する。社会への影響の中では人々の生活スタイルの変容とともに、労働条件改善を求める運動の中で生まれた社会主義の誕生に注目し講義する。 	大2-810
4	10/29 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>19世紀のヨーロッパ(2)非ヨーロッパ世界の植民地化と帝国主義 A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● この回の講義では産業革命の結果急速な発展を遂げた西欧諸国が19世紀以降本格的にアジアやアフリカ、オセアニア 	大2-810

				ア、アメリカといった非ヨーロッパ世界を植民地化していく過程とこうした過程で生まれた帝国主義というイデオロギーについて講義する。さらに帝国主義のもとで発展した差別的な人種理論についても解説する。	
5	11/05 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>バルカン戦争と第一次世界大戦 A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●20世紀初頭の国際情勢について概観したあとで、バルカン半島で起きたバルカン戦争とその後勃発した第一次世界大戦について講義する。第一次世界大戦については「総力戦」が社会にもたらした影響について着目し講義する。 	大2-810
6	11/12 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>第一次世界大戦後のヨーロッパ A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では第一次世界大戦後のヨーロッパについて、大戦後成立したヴェルサイユ体制の特徴とその問題点に着目して講義する。 	大2-810
7	11/19 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>大戦間期のヨーロッパ諸国とアメリカ A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では大戦間期のヨーロッパ諸国情勢についてとアメリカの繁栄について講義する。ヨーロッパ諸国情勢については特にドイツのヴァイマル体制について注目し講義する。 	大2-810
8	11/26 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>ロシア革命とソ連邦建国、スターリン体制 A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●この回の講義では二度にわたるロシア革命の進行過程とそ 	大2-810

				の後誕生したソヴィエト連邦について講義する。ソヴィエト連邦についてはレーニンによる指導の問題点とスターリン体制の特徴について講義する。	
9	12/10 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>ヨーロッパにおけるファシズム</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <p>●この回の講義ではヨーロッパにおけるファシズムの拡大について、特にドイツとイタリアの事例をもとに講義する。</p>	大2-810
10	12/17 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>第二次世界大戦(1)</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <p>●ヨーロッパでの第二次世界大戦の経過とその甚大な人的、物的被害について講義する。さらにドイツやその同盟国によって行われた「ホロコースト」とよばれるユダヤ民族の虐殺やその他の諸民族への迫害についても講義する。</p>	大2-810
11	12/24 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>第二次世界大戦(2)</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <p>●日本及びアジア諸国での第二次世界大戦の経過とその甚大な人的、物的被害について講義する。特に日本については明治以降行われた朝鮮の植民地支配、満州事変、日中戦争から第二次世界大戦までの経過と大戦中の状況について講義する。</p>	大2-810
12	01/07 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>第二次世界大戦後の世界(1)</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <p>●この回の講義では1945～1970年代までのヨーロッパにおける戦後復興と冷戦について講義する。冷戦の影響のもと</p>	大2-810

				で戦後復興がどのように行われたかについてみていく。	
1 3	01/14 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>第二次世界大戦後の世界(2)アジア諸国における戦後復興と冷戦</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <p>●1945~70年代までの日本及びアジア諸国における戦後復興と冷戦について講義する。</p> <p>日本については戦後復興の状況とアメリカとの同盟関係の構築について、朝鮮半島については南北に分割占領された戦後の状況から朝鮮戦争、そして朝鮮戦争後の復興について、そして中国については45年から49年にかけての内戦と中華人民共和国の建国、そして毛沢東の指導による国家建設とその影響(大躍進政策や文化大革命)についてみていく。</p>	大2-810
1 4	01/21 (木) 1限	講義	磯村 尚弘	<p>冷戦の終結と革命</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 <p>●1980年代にソ連で行われた「ペレストロイカ」と、その影響をうけて1980年代末に東ヨーロッパ諸国で起きた革命について講義する。さらに冷戦終結後の世界について解説する。</p>	大2-810
	01/28 (木) 1限	試験	磯村 尚弘	定期試験	大2-603

教育学 I

[教育目標]

医療には、教育的な側面が含まれている。また、患者や患者家族との医療面接や、専門職間連携にも、教育的な側面が含まれる。さらに病院で医師として働くことは、つねに自分より若い医師を指導し続けることを意味する。そこで「教育学 I・教育学 II」では、医学とはまったく独立した「教育学」を講じるのでなく、医師として働く際に生かすことのできるような「教育」に関する知識や考え方を獲得することを目的とする。「教育学 I」では教育と教育学について理解した上で、主に学校教育についてさまざまな視点から検討する。とくに、近代学校教育の成立の経緯と、それを背景として現在の学校教育が有する問題と課題を理解する。これらの検討を通して各自が将来の学校教育のあるべき姿を描くことができるようになることを目標とする。

[授業の方法]

この授業は講義であるが、授業者は授業内容に関する文書資料、画像、映像を呈示し、受講者はそれを題材に考え、議論を行うアクティブラーニングの方法を取る。その際、指名による発言／グループワーク／プレゼンテーションなどを行う。また、基本的に毎回、受講者が授業内でリアクションペーパー（授業内レポート）を書いて提出し、授業者は次回の授業でそれを取り上げる。

[学修目標]

1. 学校教育をめぐる多様なトピックについて、呈示された資料を検討する経験をすること。
2. その検討を発展させ、自分で情報を集め、それを総合的に検討して、自らの主体的な考えを持つこと。
3. 那を授業で発表し、他の受講者の異なる考え方と突き合わせて、それをより包括的な考えに発展させること。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義

[準備学習（予習・復習等）]

基本的に次回の授業内容に関わる情報を自ら検索してそれに触れておくこと。30分程度。その手がかりは授業内で示す。

[評価]

出席、授業への参加、試験を総合して決定する。

[フィードバック]

授業内で書いたリアクションペーパーを次回に取り上げる。定期試験終了後、解答および解説を告知する。

[教科書]

とくに指定しない。参考にすべき図書、論文等は授業内で指示する。

[推薦参考書]

とくに指定しない。参考にすべき図書、論文等は授業内で指示する。

[使用する教室]

大学2号館9階909講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
大谷 尚 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<教育学Ⅰ>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/16 (木) 1限	講義	大谷 尚	1.教育学とは何か？－教育学の対象と方法：授業オリエンテーションとイントロダクション－	大2-909
2	04/23 (木) 1限	講義	大谷 尚	2.医師はいつどこで誰から教育され、誰を教育するのか？－医学生が教育学を学ぶ意味－	大2-909

3	04/30 (木) 1限	講義	大谷 尚	3.高校までの教育で「これはおかしい！」と思ったことは何か？－学校教育の有する矛盾とその根源－	大2-909
4	05/07 (木) 1限	講義	大谷 尚	4.学校で当たり前なことはいつの時代も当たり前だったのか？－前近代の「寺子屋」や「藩校」と近代の学校の違い－	大2-909
5	05/14 (木) 1限	講義	大谷 尚	5.「学校」は「誰が」「誰を」「どうする」ための「装置」として作られたのか？－近代学校教育制度の成立－	大2-909
6	05/21 (木) 1限	講義	大谷 尚	6.「近代」学校教育制度は「現代」にマッチしているのか？－近代の崩壊と学校教育制度のいくつかのほころび－	大2-909
7	05/28 (木) 1限	講義	大谷 尚	7.学校は今後もジェンダー化の装置として機能し得るか？－近代の崩壊と脱近代化の事例としての高校家庭科の男女共修化－	大2-909
8	06/04 (木) 1限	講義	大谷 尚	8.授業で教師に指された子が「おれ？おれ？」と周囲に聞くのはなぜか？－「教室という社会」の見えない規範とプレッシャー－	大2-909
9	06/18 (木) 1限	講義	大谷 尚	9.学校はあたらしいかたちを取れるのか？その1－フリースクール－	大2-909
10	06/25 (木) 1限	講義	大谷 尚	10.学校はあたらしいかたちを取れるのか？その2－ホームスクール－	大2-909
11	07/02 (木) 1限	講義	大谷 尚	11.ICTは学校教育をどう変えるのか？－学習障害児のためのタブレットの利用－	大2-909
12	07/09 (木) 1限	講義	大谷 尚	12.センター試験は高校教育をどう変えたのか？－「高大接続改革」の現状と将来の課題－	大2-909
13	07/16 (木) 1限	講義	大谷 尚	13.米国やカナダの大学入学者選抜はどのように実施しているのか？－個別学力検査（個別試験）の無いアメリカの大学と専	大2-909

			門職大学院としてのメディカル・スクールの入試一	
07/30 (木) 1限	試験	大谷 尚	定期試験	大2-603

教育学Ⅱ

[教育目標]

医療には、教育的な側面が含まれている。また、患者や患者家族との医療面接や、専門職間連携にも、教育的な側面が含まれる。さらに病院で医師として働くことは、つねに自分より若い医師を指導し続けることを意味する。そこで「教育学Ⅰ・教育学Ⅱ」では、医学とはまったく独立した「教育学」を講じるのでなく、医師として働く際に生かすことのできるような「教育」に関する知識や考え方を獲得することを目的とする。「教育学Ⅱ」では教育と教育学について理解した上で、主に現在と将来の社会と教育の課題についてさまざまな視点から検討する。とくに、情報テクノロジーの発展やジェンダーの問題などの、現代的なトピックを取り上げ、それを背景として現在の教育が有する問題と課題を理解する。これらの検討を通して各自が将来の望ましい教育と社会との関係を描くことができるようになることを目標とする。

[授業の方法]

この授業は講義であるが、授業者は授業内容に関する文書資料、画像、映像を呈示し、受講者はそれを題材に考え、議論を行うアクティブラーニングの方法を取る。その際、指名による発言／グループワーク／プレゼンテーションなどを行う。また、基本的に毎回、受講者が授業内でリアクションペーパー（授業内レポート）を書いて提出し、授業者は次回の授業でそれを取り上げる。

[学修目標]

1. 現在と将来の社会と教育の課題に関する多様なトピックについて、呈示された資料を検討する経験をすること。
2. その検討を発展させ、自分で情報を集め、それを総合的に検討して、自らの主体的な考えを持つこと。
3. 那を授業で発表し、他の受講者の異なる考え方と突き合わせて、それをより包括的な考えに発展させること。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業の種類]

講義

[準備学習（予習・復習等）]

基本的に次回の授業内容に関わる情報を自ら検索してそれに触れておくこと。30分程度。その手がかりは授業内で示す。

[評価]

出席、授業への参加、試験を総合して決定する。

[フィードバック]

- ・授業内で書いたリアクションペーパーを次回に取り上げる。
- ・定期試験終了後、解答および解説を告知する。

[教科書]

とくに指定しない。参考にすべき図書、論文等は授業内で指示する。

[推薦参考書]

とくに指定しない。参考にすべき図書、論文等は授業内で指示する。

[使用する教室]

大学2号館9階909講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
大谷 尚 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<教育学Ⅱ>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/08 (木) 1限	講義	大谷 尚	1.教育と教育学の可能性とは何か？－現在と将来の社会における教育と教育学の課題：授業才	大2-909

				リエンテーションとイントロダクションー	
2	10/15 (木) 1限	講義	大谷 尚	2.13歳の息子へのクリスマスプレゼントに添えられていたものとは？－グレゴリーのiPhone契約書－	大2-909
3	10/22 (木) 1限	講義	大谷 尚	3.ICTは高齢者と若者の距離を埋められるか？－サイバー世代の高齢者と若者の交流－	大2-909
4	10/29 (木) 1限	講義	大谷 尚	4.人はなぜ、良くないと分かつていてネットに人の悪口を書くのか？－テクノロジーの本質的機能－	大2-909
5	11/05 (木) 1限	講義	大谷 尚	5.「ICTは教師と子どもの間を遠ざけるのではなくICTで余った時間を教師は生徒との接触に使える」は本当か？－テクノロジーの教育利用に関するロジックとレトリック－	大2-909
6	11/12 (木) 1限	講義	大谷 尚	6.量子コンピュータは教育を変えるか？－教育の「最適化」の可能性と不可能性－	大2-909
7	11/19 (木) 1限	講義	大谷 尚	7.性はいくつあると教えるべきなのか？－トランスジェンダリズムと教育－	大2-909
8	11/26 (木) 1限	講義	大谷 尚	8.あなたが家庭教師をしている生徒がLGBTの子だったら？－ロールプレイを通して考えるトランスジェンダリズム－	大2-909
9	12/10 (木) 1限	講義	大谷 尚	9.教育は「実験」なのか？－ウエンデル・ジョンソンの吃音研究－	大2-909
10	12/17 (木) 1限	講義	大谷 尚	10.「教育して望ましい子に育てる」より「デザインして望ましい子を産む」時代が来るか？－ゲノム編集とデザイナーズ・ベビー－	大2-909
11	12/24 (木) 1限	講義	大谷 尚	11.子どもをむしばむものは何か？－児童に対する性的虐待と性的搾取と教育の対応－	大2-909
12	01/07 (木) 1限	講義	大谷 尚	12.「女医」ということばはなぜ差別的なのか－差別を助長する教育と差別と闘う教育－	大2-909

1 3	01/14 (木) 1限	講義	大谷 尚	13.医学部不正入試の背景を教育学はどう読み解くのか？－ある職種のみを育て自ら雇用する学部としての医学部の特異性－	大2-909
1 4	01/21 (木) 1限	講義	大谷 尚	14.教育は社会を変えられるか？－社会と教育とのあるべき関係：授業のふりかえりと総括－	大2-909
	01/28 (木) 1限	試験	大谷 尚	定期試験	大2-603

法学 I

[教育目標]

1. 法とは何か

当然のことですが、大学生・医師も法と無関係ではいられません。日常生活のあらゆる場面に法は関係しています。

法が社会においてどのように機能しているのか、我々はその中でどのような関係に位置付けられているのかを、報道されたニュースなどを参考としつつ検討し、法を学ぶまでの感覚を養います。

2. 法の体系

法がどのような体系に分類されているか、憲法・民事法・刑法といった基本的な分野を中心に検討し、各場面で生じる利害関係の分析と調整方法を学びます。

3. 法律行為の主体

民法を中心に、法律行為の主体となる「人」とはどのようなものか、ステークホルダーとの間では、どのような注意が必要かを学びます。

4. 債権債務

債権の発生原因として契約、不法行為の基本的な知識を学びます。

5. 法的思考によるリスクの回避

上記で学んだことを踏まえ、社会において、自分と利害関係者との関係性を意識しながら、具体的にどのように思考することでリスクの回避ができるのかを学びます。

法律に関する予習や条文の暗記などは不要です。

[授業の方法]

講義／演習 各学生の法学に対するイメージや感想、具体的な事案に関する意見を踏まえつつ、法律上の問題やその解決策を討議するアクティブラーニングを実施しています。

[学修目標]

法の体系とステークホルダーとの関係性の理解

法人の運営、契約の基礎の学習

法的思考の体得と社会事象への理解の深化

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

復習として、講義時に配布した資料を確認し、理解を深めること。約30分程度。

[評価]

出席、レポートの提出状況、定期試験の得点に基づき評価します。

[フィードバックの方法]

レポートや演習についての解説を行います。

[教科書]

原田大樹「現代実定法入門」（弘文堂）

[推薦参考書]

講義の中で適宜に紹介します。

[使用する教室]

大学2号館9階910講義室

[担当教員・オフィスアワー]

＜藤田医科大学病院＞

担当者名	曜日	時間	場所
米山 健太 病院長付補佐		※講義終了後に対応	

＜医学部・医学科＞

担当者名	曜日	時間	場所
黒岩 将史 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

＜法学Ⅰ＞

N	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室

0.					
1	04/16 (木) 1限	講義	米山 健太	<p>法の目的・役割について B-4-1) 医師に求められる社会性 ○ 社会をシステムとして捉えることができる。 ● 法の社会における位置付け、機能を学び、法を学ぶ基礎力を養う。</p>	大2-910
2	04/23 (木) 1限	講義	米山 健太	<p>公法に関する考え方（憲法・刑法） B-4-1) 医師に求められる社会性 ○ 社会をシステムとして捉えることができる。 ● 憲法・刑法を中心に、公法分野の考え方を学ぶ</p>	大2-910
3	04/30 (木) 1限	講義	米山 健太	<p>公法に関する考え方（刑法・刑事訴訟法） B-4-1) 医師に求められる社会性 ○ 社会をシステムとして捉えることができる。 ● 刑法・刑事訴訟法の基本的な知識を習得し、報道される事象に対する見識を深める。</p>	大2-910
4	05/07 (木) 1限	講義	黒岩 将史	<p>私法分野に関する考え方（民法概論・人について） B-4-1) 医師に求められる社会性 ○ 社会をシステムとして捉えることができる。 ● 民法を中心に、私法分野において重要視されている基本的な考え方を習得する。</p>	大2-910
5	05/14 (木) 1限	講義	米山 健太	<p>物権について B-4-1) 医師に求められる社会性 ○ 社会をシステムとして捉えることができる。 ● 物権の種類と特徴が理解できる。</p>	大2-910
6	05/21 (木) 1限	講義	米山 健太	<p>物権 B-4-1) 医師に求められる社会性 ○ 社会をシステムとして捉えることができる。 ● 物権の種類と特徴が理解できる。</p>	大2-910
7	05/28 (木)	講義	米山 健太	<p>債権について B-4-1) 医師に求められる社会性</p>	大2-910

	1限			○社会をシステムとして捉えることができる。 ●債権の特徴が理解できる。	
8	06/04 (木) 1限	講義	黒岩 将史	契約について B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●債権の重要な発生原因である 契約に対する理解を深めるとともに、 買物、アルバイトなどあらゆる場面で契約関係が発生していることを意識できるようにする。	大2-910
9	06/18 (木) 1限	講義	米山 健太	契約について B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約の当事者、目的を特定できる。	大2-910
10	06/25 (木) 1限	講義	米山 健太	事務管理・不当利得・不法行為について B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約以外の重要な債権の発生原因について理解する。	大2-910
11	07/02 (木) 1限	講義	米山 健太	権利の実現方法について（民事訴訟法） B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●契約で定めた権利を実現する上でどのようなリスクが存在するか、 どのように権利を実現するかの手続に關し、基本的な知識を習得する。	大2-910
12	07/09 (木) 1限	講義	米山 健太	契約について B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●自ら作成した契約の内容を確認し、目的を達成できているか検討する。	大2-910
1	07/16	講義	米山 健太	総復習	大2-910

3	(木) 1限			B-4-1) 医師に求められる社会性 ○社会をシステムとして捉えることができる。 ●従前の講義内容の総復習を行い、知識を確実なものとする。	
	07/30 (木) 1限	試験	米山 健太	定期試験	大2-603

法学Ⅱ

[教育目標]

医療従事者（医師、看護師、療法士、検査技師等）及び医療機関（病院、診療所等）には、医療行為を実施するにあたり、様々な法的規制が及んでいる。

患者を診察し、治療方針を説明し、患者の同意を得た上で治療方針を決定する。その上で、検査、処置、手術等の医療行為を実施し、医療行為の対価としての診療報酬を患者から支払ってもらう。

当然のような一連の流れではあるが、全ての行為に伴う患者・医療従事者・医療機関の権利及び義務には法的な裏付け・根拠がある。また、法律は、医師及び医療機関に対し、良質な医療の提供及び医療安全の確保等のため最低限度の規制を行うものである。

患者の権利・義務、医師の権利・義務につき、法的な裏付け・根拠を理解することは、医師が患者に対し、良質かつ安全な医療を提供する上で重要である。

2015年からは医療事故調査制度が開始され、医療事故に対する国民の関心も高まっており、医療安全に関する医師及び医療機関に課せられている法的義務を理解する必要性は高い。

法学Ⅱでは、医師、医療機関と特にかかわりの深い法領域に特化して、その内容、問題点等を学びます。

[授業の方法]

講義のみ

[学修目標]

- (1)医療と法律の関わり（総論）
- (2)医療情報の保護と利用
- (3)医療安全の確保
- (4)患者と医師の法律関係
- (5)医師の義務
- (6)患者の義務
- (7)医療提供体制について
- (8)医療法人について
- (9)その他の諸問題

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

学習テーマについて各自十分学習しておくこと。事前に配布する事例・設問について10分程度検討することが望ましい。

[評価]

出席及びレポートの提出状況、定期試験の得点に基づき評価する。

- (1)知識：知識量及び理解度の両面をレポート及び定期試験で判定する。
- (2)講義及び実習態度：医学生として常識ある受講態度であったかを評価する。

[フィードバックの方法]

レポート評価後、採点の上で返却する。講義内で、レポートの評価を行うので復習すること。定期試験結果について、疑義のある場合や解説を希望する場合は対応する。

[教科書]

未定 ※教科書使用の場合、後日掲示します。

[推薦参考書]

「実践講座 実践医療法－医療の法システム－」著者 山口 悟（発行所 株式会社信山社）

[使用する教室]

大学2号館9階910講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<藤田医科大学病院>

担当者名	曜日	時間	場所
米山 健太 病院長付補佐		※講義終了後に対応	

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
黒岩 将史 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<法学Ⅱ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/08 (木) 1限	講義	黒岩 将史	医療と法律の関わり（総論）	大2-910
2	10/15 (木) 1限	講義	米山 健太	医療情報の保護と利用	大2-910
3	10/22 (木) 1限	講義	米山 健太	医療情報の保護と利用	大2-910
4	10/29 (木) 1限	講義	米山 健太	医療安全の確保	大2-910
5	11/05 (木) 1限	講義	黒岩 将史	医療安全の確保	大2-910
6	11/12 (木) 1限	講義	米山 健太	患者と医師の法律関係	大2-910
7	11/19 (木) 1限	講義	米山 健太	患者と医師の法律関係	大2-910
8	11/26 (木) 1限	講義	米山 健太	医師の義務	大2-910
9	12/10 (木) 1限	講義	米山 健太	医師の義務	大2-910
10	12/17 (木) 1限	講義	米山 健太	患者の義務	大2-910
11	12/24 (木) 1限	講義	米山 健太	医療機関に対する法的規制	大2-910
12	01/07 (木) 1限	講義	黒岩 将史	医療計画について	大2-910
13	01/14	講義	米山 健太	医療法人について	大2-910

	(木) 1限				
14	01/21 (木) 1限	講義	米山 健太	医療法人について 本講義の総復習	大2-910
	01/28 (木) 1限	試験	米山 健太	定期試験	大2-603

経済学 I

[教育目標]

日本の医療は、国民皆保険制度を採用しており、世界最高水準の平均寿命や高い保険医療水準を実現してきた。しかしながら、日本経済が停滞しているにもかかわらず、高齢化が進む中で、高齢者医療費を中心とした医療費が大幅に増加し、対国民所得比は9%を超える状況となっている。近年、それらに対応するため様々な医療制度改革が行われている。今後、「将来にわたり持続可能な医療保険制度」を構築することが大きな課題となっている。

本講義は、医療経済、社会政策の観点から日本の医療組織、医療・介護保険制度等の仕組みを学ぶとともに、医療の現状と課題（2025年問題に基づく地域包括ケア等）について認識することを目的としている。

なお、経済学は他の社会科学よりもその用語・手法を理解していないと内容の解釈が難しい。これらの用語や手法に関しても解説する。

[授業の方法]

講義 テーマ毎にディスカッションを行う。

[学修目標]

経済学で用いられる用語を説明できる。

医療に関わる諸制度の仕組みと現状を説明できる。

医療供給体制をめぐる現状と課題を記述できる。

先進諸外国の医療制度の現状と問題点を説明できる。

法人としての医療組織の仕組みと現状を説明できる。

医療における知的所有権の課題を述べることができる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

事前に指示された資料を熟読し、講義に出席して下さい。また、講義終了後、ノートにまとめること。約30分程度を目安とする。

[評価]

「授業中の態度」（10%）、「レポートなどの提出物」（90%）などを含めて総合的に判断する。

[フィードバックの方法]

定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

「入門 医療経営情報学」 山内一信他編著（同友館）

[推薦参考書]

「入門 医療経済学」 真野俊樹著（中公新書）

「スティグリツ入門経済学」 J・Eスティグリツ著（東洋経済）

「経済学的思考センス」 大竹文雄著（中公新書）

[使用する教室]

大学2号館8階809講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医療科学部・医療経営情報学科 医療経営学>

担当者名	曜日	時間	場所
村田 幸則 助教	木曜・金曜	16:30~17:30	大学6号館5階510

[授業日程]

<経済学I>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/16 (木) 1限	講義	村田 幸則	経済学の基礎用語について学ぶ。	大2-809
2	04/23 (木) 1限	講義	村田 幸則	ゲーム理論を学ぶ。	大2-809

3	04/30 (木) 1限	講義	村田 幸則	競争優位性を学ぶ。	大2-809
4	05/07 (木) 1限	講義	村田 幸則	社会保障制度を俯瞰的に学ぶ。	大2-809
5	05/14 (木) 1限	講義	村田 幸則	医療保険制度の仕組みを学ぶ。	大2-809
6	05/21 (木) 1限	講義	村田 幸則	診療報酬制度の仕組みを学ぶ。	大2-809
7	05/28 (木) 1限	講義	村田 幸則	日本と諸外国の医療制度の違いを学ぶ。	大2-809
8	06/04 (木) 1限	講義	村田 幸則	高齢者医療制度・介護保険制度を学ぶ。	大2-809
9	06/18 (木) 1限	講義	村田 幸則	医療法人制度と制度改革を学ぶ。	大2-809
10	06/25 (木) 1限	講義	村田 幸則	医療と知的所有権の関係を理解する。	大2-809
11	07/02 (木) 1限	講義	村田 幸則	医療組織の人的資源管理を理解する。	大2-809
12	07/09 (木) 1限	講義	村田 幸則	企業会計と病院会計の違いを理解する。	大2-809
13	07/16 (木) 1限	講義	村田 幸則	医療を取り巻く環境の変化を理解する。	大2-809
	07/30 (木) 1限	試験	村田 幸則	定期試験	大2-603

経済学Ⅱ

[教育目標]

我が国の医療は社会保険方式による財源を元にして、公的医療保険制度によって運営され、世界でもトップクラスの良質で安価なサービスを提供している。しかし、経済成長が鈍化し、国の財政が逼迫している今日、急増する高齢者医療費をより効率的に運用するための改革が迫られている。この授業は、これら医療保険制度が抱える環境変化に対応すべく諸問題について、経済学的な分析方法を応用しながらその解決の在り方を考えていく。内容としては、医療サービスの特徴である不確実性、外部性、情報の非対称性等、市場メカニズムによる一般経済と異なる理論を、基本的な経済学の分析方法と同時並行的に学びながら、それらを比較することから理解を深めていく。将来、医師を目指す学生にとって、より安全、公平で、かつ効率的な医療供給体制を発展、維持するために、これら医療制度と経済知識は不可欠である。よって目標は、医薬品価格や診療報酬の在り方を含め、パラドックスに溢れた医療現場のなかで、ある程度、あるべき方向について自分の考え方を示すことができるようになることにおく。

[授業の方法]

講義形式で行うが、講義中に、アクティブラーニングとしてディスカッションを実施し、適時ICT教育としてクリックカードを利用する。

[学修目標]

基本的な経済理論が説明できる。
医療経済の特殊性が説明できる。
経済的理論の現実社会への応用ができる。
将来のあるべき医療経済体制について自分の意見が言える。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

毎回授業前にシラバスに示された教科書の範囲を30分以上学習し、授業後は講義ノートと教科書の重点項目について30分以上復習すること。

[評価]

授業内のディスカッション及びレポート提出内容（20%）、筆記式の期末試験（80%）の総合評価とする。

[フィードバックの方法]

練習テスト後に解答および解説を示す。

[教科書]

『医療系学生のための社会保障制度と医療経済概論講義』 米本倉基・真野俊樹編著（ムイсли出版）

[推薦参考書]

「入門 医療経済学」真野俊樹著（中公新書）

[使用する教室]

大学2号館8階809講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<保健衛生学部・リハビリテーション学科 専門基礎科学>

担当者名	曜日	時間	場所
米本 倉基 教授	火～木曜	12:10～13:00	大学6号館5階510

[授業日程]

<経済学Ⅱ>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/08 (木) 1限	講義	米本 倉基	イントロダクション 医療と経済	大2-809
2	10/15 (木) 1限	講義	米本 倉基	市場の失敗と医療	大2-809
3	10/22 (木) 1限	講義	米本 倉基	価格、独占と寡占理論と医療	大2-809

4	10/29 (木) 1限	講義	米本 倉基	公平と効率、費用対効果分析	大2-809
5	11/05 (木) 1限	講義	米本 倉基	経済学の歴史	大2-809
6	11/12 (木) 1限	講義	米本 倉基	厚生経済学	大2-809
7	11/19 (木) 1限	講義	米本 倉基	医療という特殊な財の性質について	大2-809
8	11/26 (木) 1限	講義	米本 倉基	医療情報の経済学	大2-809
9	12/10 (木) 1限	講義	米本 倉基	リスクの経済学	大2-809
10	12/17 (木) 1限	講義	米本 倉基	経済成長と社会保障の問題	大2-809
11	12/24 (木) 1限	講義	米本 倉基	医療の技術と質の評価	大2-809
12	01/07 (木) 1限	講義	米本 倉基	医療のプレーヤーとその行動 1 患者と医療機関	大2-809
13	01/14 (木) 1限	講義	米本 倉基	医療のプレーヤーとその行動 2 保険者と行政	大2-809
14	01/21 (木) 1限	講義	米本 倉基	まとめ 医療経済の展望	大2-809
	01/28 (木) 1限	試験	米本 倉基	定期試験	大2-603

スポーツ科学

[教育目標]

スポーツを通して身体運動と健康の重要性を十分に理解し実践することは、大学生活を健康で有意義に過ごすための一助となるだけでなく、卒業後の医師としての人生を豊かにし、健康で活力ある家庭や社会を築く上でも欠かすことができない。また、運動処方や健康増進に必要な基礎的知識を実習などから体験的に学習する。

また、医療事故を防止する対策への意識づけ教育として、体育実技を医療現場と想定し、チームスポーツを通してチーム医療のシミュレーションを行う。医療事故の防止に不可欠な確認作業や情報整理などの技術、及び情報の共有や相互理解を図るための手段であるコミュニケーション能力を育成することを目的とする。

授業ではインドアスポーツ、アウトドアスポーツでは主としてスポーツの比重が高く、実験実習では運動や身体活動の測定と評価に関する比重が高く構成される。

また、前期では「スポーツ医学」でスポーツにおける突然死の現状とその予防と応急処置について演習をおこなう。後期の授業では、「エネルギー代謝を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝」について解説を加える。

コースと担当

- ①インドアスポーツ（ID）：宮澤
- ②アウトドアスポーツ（OD）：浦野
- ③実験実習（EX）：若月

3つのコースから前期および後期でそれぞれ希望する1つを選択する。

[授業の方法]

講義と演習 なお、講義の中では、アクティブラーニングとしてディスカッション／プレゼンテーションを実施する。演習では講義とは異なり各種スポーツや実験実習を通して、実践的・体験的に学修する。また、ICT教育として、Moodleを用いたe-learningを利用し、毎時間の授業の振り返りを行い、解説講義において知識の確認を小テストモジュールにより評価する。

[学修目標]

コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。

課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。

チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。

運動方法や運動強度を知ることができる。

準備運動や安全に配慮し、事故やケガを予防することができる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：

垂直統合：

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

スポーツ種目の運動特性およびルール、運動や身体活動における身体の生理学、生化学、スポーツではバイオメカニクス、およびスポーツ心理学に関する簡単な事前学習（約15分程度）。事前学習については適宜指示します。授業後にmoodleにより振り返りを行います（約15分程度）。

[評価]

- (1)レポート；（卒業コンピテンシー I -1, 4, 5, 6、II -1, 2）、パフォーマンスレベルC
- (2)受講態度；（卒業コンピテンシー I -1, 4, 5, 6、II -1, 2）、パフォーマンスレベルC

医学を学ぶ者として常識ある受講態度であったか、授業に積極的に参加したか、提出課題から判定する。運動のできる服装（スポーツウエア）およびスポーツシューズの着装もチェックします。

[フィードバックの方法]

- ・ 小テスト後に解答および解説を示す。
- ・ 小テストはコメントをつけて返却する。
- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ 本科目について作成したe-learningを学習する。

[教科書]

特になし

[推薦参考書]

「スポーツトレーニングの基礎理論」横浜市スポーツ医科学センター編（西東社）

「あなたも名医！知っておこうよ、スポーツ医学－亀田スポーツ方式を日常診療に取り入れてみよう！」服部 惣一／山田 慎（著） 大内 洋（監修）（日本医事新報社）

<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000045493?6>

「健康づくり・介護予防のための体力測定評価法 第2版」木塚 朝博（著） 田中 喜代次／大藏 倫博（編）（金芳堂）

<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000015027?10>

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室(ガイダンス・解説講義)

[演習場所]

アセンブリホール、総合フジタグランド、多目的グラウンド

[注 意]

- 各自、スポーツウェア、体育館専用シューズ、および屋外運動場専用シューズを必ず用意してください。
- 各自飲み物等を準備し、体調不良の際には必ず教員に申し出てください。
- アセンブリホール・多目的グラウンド等の運動施設にはゴミ箱が設置されていないため、各自が持ち込んだゴミは必ず持ち帰ってください。

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20、17:10～	大学2号館8階807

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
飯田 忠行 客員教授		※講義終了後に対応	
浦野 忍 客員助教		※講義終了後に対応	

<保健衛生学部・リハビリテーション学科 自然科学 保健体育>

担当者名	曜日	時間	場所
桂華 麻希 助教	月曜・木曜	月) 12:10-13:00 木) 13:00-14:00 メールまたはe-learningでの質問は隨時受付	大学8号館1階106

[授業日程]

<スポーツ科学>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/16 (木) 2限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	前期ガイダンス	大2-701
2	04/23 (木) 2限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	スポーツ障害の予防と応急処置 スポーツにおける突然死の現状とその予防（一般市民向け救命講習） A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 B-1-6) 社会・環境と健康 ○スポーツ医学を説明できる。 ●準備運動や安全に配慮し、事故やケガを予防することができる。	大2-602
3	04/23 (木) 3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希		
4	04/30 (木) 2限	実技	若月 徹 飯田 忠行 浦野 忍 桂華 麻希	A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。 ●準備運動や安全に配慮し、事故やケガを予防することができる。	施設-アセンブリホール1階A 施設-アセンブリホール2階卓球場
5	04/30 (木) 3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希		
6	05/07 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : バスケットボール（ルールの説明・基本技術・ゲーム） O D : ターゲットバードゴルフ2（基本練習とニアピンゲーム①） E X : 形体測定 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方	施設-アセンブリホール1階A 施設-アセンブリホール2階卓球場 施設-総合グラウンドA 施設-多目的グラウンドA

				<p>法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	
7	05/14 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バスケットボール（ゲーム）</p> <p>O D : ターゲットバードゴルフ2 (基本練習とニアピンゲーム①)</p> <p>E X : フレイルとサルコペニア</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
8	05/21 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (車いすの基本操作、パス・ドリブル)</p> <p>O D : ターゲットバードゴルフ3 (ニアピンゲーム①)</p> <p>E X : 筋力</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識 	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>

				<p>し、チームとして参加できる。</p> <p>●運動方法や運動強度を知ることができるとができる。</p>	
9	05/28 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (ミニゲーム)</p> <p>O D : ターゲットバードゴルフ4 (コースゲーム①)</p> <p>E X : 筋電図</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>●運動方法や運動強度を知ることができるとができる。</p>	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
10	06/04 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (リーグ戦①)</p> <p>O D : フライングディスク1 (ディスタンスゲーム)</p> <p>E X : 筋活動と筋電図 (相反神経支配)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。</p> <p>A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>●運動方法や運動強度を知ることができるとができる。</p>	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
1 1	06/18 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール (リーグ戦②)</p> <p>O D : フライングディスク1 (アキュラシーゲーム)</p>	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンド</p>

				<p>E X : ウォーキングと重心動搖 (加速度計による測定)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	<p>A</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
1 2	06/25 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : ブラインドサッカー（アイマスク着用でのボール操作・PK練習）</p> <p>O D : フライングディスク1（ポートディスクゲーム）</p> <p>E X : ポールウォーキングと歩行特性</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
1 3	07/02 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バレーボール（ゲーム①）</p> <p>O D : ボールゲーム1（ドリブルゲーム、パスゲーム）</p> <p>E X : トレーニング理論</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ 	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>

				<p>とができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	
1 4	07/09 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バレーボール（ゲーム②） O D : ボールゲーム2（少人数で行うゲーム） E X : レジスタンストレーニングの実践 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	施設-アセンブリホール1階A 施設-アセンブリホール2階卓球場 施設-総合グラウンドA 施設-多目的グラウンドA
1 5	07/16 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バレーボール（ゲーム②） O D : ボールゲーム2（少人数で行うゲーム） E X : レジスタンストレーニングの実践 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	施設-アセンブリホール1階A 施設-アセンブリホール2階卓球場 施設-総合グラウンドA 施設-多目的グラウンドA
1	10/08	実技	若月 徹	後期ガイダンス	大2-602

6	(木) 2限		浦野 忍 桂華 麻希	運動とエネルギー A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○エネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝を説明できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。	
1 7	10/08 (木) 3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	後期ガイダンス 身体活動とエネルギー代謝 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。	大2-602
1 8	10/15 (木) 2限	実技		C-2-5) 生体物質の代謝 ○エネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝を説明できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。	
1 9	10/15 (木) 3限	実技			

				とができる。	
2 0	10/22 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : ドッジビー（基本操作の練習・ゲーム）</p> <p>O D : フライングディスクゴルフ1（チーム対抗）</p> <p>E X : 形態測定（身長・身体組成）</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○ 課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 <p>● 運動方法や運動強度を知ることができます。</p>	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
2 1	10/29 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : ドッジビー（基本操作の練習・ゲーム）</p> <p>O D : フライングディスクゴルフ1（チーム対抗）</p> <p>E X : 形態測定（身長・身体組成）</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <p>● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <p>● 運動方法や運動強度を知ることができます。</p>	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
2 2	11/05 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バスケットボール（ルールの説明・基本技術・ゲーム）</p> <p>O D : フライングディスクゴルフ2（チーム対抗）</p> <p>E X : 体力測定（新体力テストを体験する）</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p>	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>

				○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	
2 3	11/12 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : バスケットボール（ゲーム） O D : フライングディスクゴルフ2（個人） E X : 筋力と筋活動（握力と筋電図） A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	施設-アセンブリホール1階A 施設-アセンブリホール2階卓球場 施設-総合グラウンドA 施設-多目的グラウンドA
2 4	11/19 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール（車いすの基本操作、パス・ドリブル練習） O D : フライングディスクゴルフ4（個人） E X : 筋力と筋活動（握力と筋電図） A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	施設-アセンブリホール1階A 施設-アセンブリホール2階卓球場 施設-総合グラウンドA 施設-多目的グラウンドA
2 5	11/26 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	I D : 車いすバスケットボール（ミニゲーム） O D : フライングディスクゴルフ4（個人）	施設-アセンブリホール1階A 施設-アセンブリホール2階卓球場

				<p>E X : 筋力と筋活動（握力と筋電図）</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	<p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
2 6	12/10 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール（リーグ戦①）</p> <p>O D : ティーボール（打撃練習と守備練習）</p> <p>E X : ウォーキング実習</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ●運動方法や運動強度を知ることができる。 	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>
2 7	12/17 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : 車いすバスケットボール（リーグ戦②）</p> <p>O D : ティーボール（ゲーム）</p> <p>E X : ウォーキングと重心動揺（加速度計による測定）</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ●チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 	<p>施設-アセンブリホール1階A</p> <p>施設-アセンブリホール2階卓球場</p> <p>施設-総合グラウンドA</p> <p>施設-多目的グラウンドA</p>

				<p>割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	
2 8	12/24 (木) 2/3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	<p>I D : ブラインドサッカー（アイマスク着用でのボール操作・P K練習） O D : ティーボール（ゲーム） E X : ポールウォーキングと歩行特性</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	施設-アセンブリホール1階A 施設-アセンブリホール2階卓球場 施設-総合グラウンドA 施設-多目的グラウンドA
2 9	01/07 (木) 2限	実技		振り返り レポート作成 A-2-1) 課題探求・解決能力	
3 0	01/07 (木) 3限	実技	若月 徹 浦野 忍 桂華 麻希	○ 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ● チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を認識し、チームとして参加できる。 ● 運動方法や運動強度を知ることができる。 	大2-701

英語

[教育目標]

この講義では、英語で書かれたアカデミックな文章を読んでその内容を正確に理解し、情報を整理した上でそれを適切な英語で表現し、更に議論までを行う総合的な能力を養うことを中心に学習に取り組みます。学術領域に於いて、英語が実質的な公用語の地位を獲得している現在、このような技能は高度に専門的な内容を学び、また専門性の強い研究や医療の現場で英語に接する者にとって不可欠と言えます。同時に語彙力の強化や実地的な文法力の涵養も重視しつつ、特に将来の文献読解に必要となる英語力、専門的な内容について相互の取り組みや情報発信を行い得る英語力の向上を目指します。（前澤 大樹）

この講義では科学系の英文を通して総合的な英語力を高めることを目的とします。語彙の補強や文法事項の確認を行い、英文の内容を深く理解する力、英語で表現する力を洗練することに主眼を置きます。これらの活動を通して、将来に必要な英語力の基礎を固めていきます。（中川 聰）

This course aims to build a foundation of students' English knowledge and skills for successfully communicating in English within the context of medical settings. Students will learn about specific medical and health-related topics to increase their medical English vocabulary while also developing their listening and reading comprehension skills. This course will introduce relevant English phrases and grammar patterns that can be used in medical settings such as interactions with patients. Students will then apply what they learn to various communicative activities simulating medical-related situations. These activities will include discussions, role plays and a presentation. Wherever possible, the course also hopes to foster awareness and understanding of cultural considerations to build intercultural competence. There will be two exams: a midterm exam (35%) and a final exam (35%). Other grades will be determined using class participation (15%), role play activities (10%) and a presentation (5%).

(Attendance and lateness will be considered when assessing students' grades.) (Jon Schwab)

[授業の方法]

講義と演習 少人数のグループごとにテーマを定めて複数の英文記事を探し、それをまとめてスライドを用いた英語での口頭発表を行ってもらう。発表の後には英語での質疑応答を行い、他グループからの質問も必須とする。発表に対しては教員の他、学生相互による評価やコメントも行ってもらう。また並行して、テーマに関わる語彙や表現の学習も進める。これらの活動全体を通して、教員は段階ごとにワークシート等の提出を求めることで進捗状況を把握するとともに、受講者が作業を着実に進められるよう補助する。作業の準備大部分は基本的に授業時間内に行うものとするが、終わらなかった分や、課題とした部分については、時間外学習として実施してもらう。最終回では、発表を行い聞くことで学んだ内容や語彙・表現への理解・習熟を問う確認テストを実施する。（前澤大樹） 講義と演習 アクティブラーニング形式で授業を行う。具体的には、指名をしながら、英文を訳出し、内容の理解を確認することで授業を進める。また、医学・医療を含めた科学分野で用いられる英語表現を習得するために、和文英訳を行う。定期的に小テストを実施し、学習内容の定着を図る。（中川 聰）

Teaching Methods This course strives to use active learning to involve the students in the learning process. With small class sizes, the aim is to encourage students to participate actively during lessons and to provide many opportunities for students to interact in English with their classmates and their

native instructor. Each lesson will feature pair work and small group activities focusing on specific aspects of medical English knowledge and skills such as communication, listening, vocabulary, and reading comprehension. The emphasis will be on applying medical English and basic English skills to realistic communication-based situations. As such, there will be a large number of role play activities but will also include other styles of communication-based activities including discussions and a presentation. (Jon Schwab)

[学修目標]

- ・医学・医療を含めた様々な科学分野の英語文献の読解ができる。
- ・英語文献を通して情報を収集・蓄積・整理し、それを解りやすい形で提示できる。
- ・科学分野の文献で常用される英語の語彙・表現を身に着け、それらを用いて適切な遣り取りができる。
- ・科学的な文献で用いられる自然な英語で表現することができる。
- ・Develop students' ability to communicate in English regarding basic medical/health-related topics
- ・Increase students' basic English knowledge related to medical/health-related conditions

[水平統合・垂直統合]

水平統合：

垂直統合：

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）] 【前澤 大樹】

配布するワークシート等への取り組みを通して時間外学習を実施してもらう。(1~2時間程度)

[準備学習（予習・復習等）] 【中川 聰】

- ・事前に指定した教科書の範囲の英文の語彙を調べ、予め読んでおく。 (1時間程度)
- ・授業で扱った英文を再読みし、内容を正確に理解する。 (30分程度)
- ・事前に指定した範囲の和文を英訳する。 (30分程度)
- ・授業で扱った英語表現を応用できるようにする。 (30分程度)

[準備学習（予習・復習等）] 【Jon Schwab】

- ・Students should do homework assignments before coming to class. (approximately 30 minutes per week)

- Students should review previous topics covered in class throughout the course. (approximately 30 minutes per week)
- Students should preview upcoming lesson materials before each class. (approximately 30 minutes per week)

[評 価]

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-9, V-1, 2, 3, 4） 、パフォーマンス・レベル D

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)講義及び演習態度；（卒業コンピテンシー I-1） 、パフォーマンス・レベル D

医学生として常識ある受講態度であったか、積極的に講義・演習に参加できたか、与えられた課題を期限内に行えたなどを評価する。

月曜日の授業（中川、前澤担当）と火曜日の授業（Schwab他担当）の各々の授業で合格の評価を得ることが、本科目合格の必要十分条件です。

[評 価] 【前澤 大樹】

基本的に、ワークシート等の実施状況により把握した準備状況、実施した発表の質(相互評価含む)、他グループ発表の際の取り組み、発表内容の理解や学んだ語彙・表現への習熟を問う確認テストの結果によって評価するが、必要に応じて授業への参加・貢献度等も加味し、総合的に判断する。

[評 価] 【中川 聰】

小テスト、試験の成績に加えて、授業への参加、課題の提出状況などを総合的に判断して評価する。

[評 価] 【Jon Schwab】

Students' grades will be decided by a midterm exam (35%) and a final exam (35%). In addition, students' in-class performance will be worth 30% of the final grade and will be assessed by class instructors as follows: class participation (15%), role play activities (10%) and a presentation (5%). Attendance and lateness will also be considered when assessing students' grades.

[フィードバックの方法] 【前澤 大樹】

提出されたワークシートにはコメント・添削を付して返却するか、口頭で講評・助言を行う。

[フィードバックの方法] 【中川 聰】

- 小テストについては実施後に解答を示し、適宜解説を行う。
- 試験結果について、希望者には採点結果を通知し必要に応じて解説する。

[フィードバックの方法] 【Jon Schwab】

Feedback regarding homework will be done by individual teachers in class. Feedback regarding class participation and role play activities can be checked by asking individual instructors before or after the lesson. Presentation feedback will be given by the coordinator during office hours. Feedback for both the midterm exam and the final exam will be given by the coordinator during office hours after marking has concluded.

[教科書] 【前澤 大樹】

なし

[教科書] 【中川 聰】

なし(ワークシート及び配布資料を用いる)

[教科書] 【Jon Schwab】

Lesson materials will be provided to students. Students do not need to buy a textbook for this course.

[使用する教室] 【前澤 大樹】

大学2号館9階910講義室

[使用する教室] 【中川 聰】

大学2号館9階909講義室

[使用する教室] 【Jon Schwab】

大学2号館13階SGL室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・英語>

担当者名	曜日	時間	場所
------	----	----	----

SCHWAB JON	准教授	水曜	14:00~16:00	大学2号館7階707
前澤 大樹	准教授	月曜	12:30~13:20	大学2号館10階1008
中川 聰	講師	金曜	12:30~13:20	大学2号館708

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
AHERN J	客員講師	※講義終了後に対応	
BODELL M	客員講師	※講義終了後に対応	
FONTAINE R	客員講師	※講義終了後に対応	
FRANSSEN D	客員講師	※講義終了後に対応	
HISLOP L	客員講師	※講義終了後に対応	
PEARSON S	客員講師	※講義終了後に対応	
THOMSON C	客員講師	※講義終了後に対応	

<保健衛生学部・看護学科>

担当者名	曜日	時間	場所
PLANTE S	客員准教授	※講義終了後に対応	

[授業日程]

<英語A>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/13 (月) 2限	ガイダンス	中川 聰	TOEFL ITP e-learning ガイダンス	大2-701
1	04/20 (月) 1/2限	講義	中川 聰	ガイダンス Unit 1 (A) Secrets of the Maya	大2-909
2	04/27	講義	中川 聰	Unit 1 (A) Secrets of the May	大2-909

	(月) 1/2限		a	
3	05/11 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 1 (A) Secrets of the May a
4	05/18 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 2 (A) The Sky Runner
5	05/25 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 2 (A) The Sky Runner
6	06/01 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 2 (A) The Sky Runner
7	06/08 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 3 (A) The Age of Disbelie f
8	06/15 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 3 (A) The Age of Disbelie f
9	06/22 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 3 (A) The Age of Disbelie f
10	06/29 (月) 1/2限	講義	中川 聰	科学系英文の読解
11	07/06 (月) 1/2限	講義	中川 聰	科学系英文の読解
12	07/13 (月) 1/2限	講義	中川 聰	科学系英文の読解
13	07/20 (月) 1/2限	講義	中川 聰	科学系英文の読解
	07/27 (月) 4/5限	試験	中川 聰	総合復習
14	09/28 (月) 1/2限	講義	中川 聰	ガイダンス Unit 7 (A) Secrets of the Brain

1 5	10/05 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 7 (A) Secrets of the Brain	大2-909
1 6	10/12 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 7 (A) Secrets of the Brain	大2-909
1 7	10/19 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 8 (A) The Genius of Swarms	大2-909
1 8	10/26 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 8 (A) The Genius of Swarms	大2-909
1 9	11/02 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 8 (A) The Genius of Swarms	大2-909
2 0	11/09 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 9 (A) Decoding Leonardo	大2-909
2 1	11/16 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 9 (A) Decoding Leonardo	大2-909
2 2	12/07 (月) 1/2限	講義	中川 聰	Unit 9 (A) Decoding Leonardo	大2-909
2 3	12/14 (月) 1/2限	講義	中川 聰	科学系英文の読解	大2-909
2 4	12/21 (月) 1/2限	講義	中川 聰	科学系英文の読解	大2-909
2 5	01/14 (木) 2/3限	講義	中川 聰	科学系英文の読解	大2-909
2 6	01/18 (月) 1/2限	講義	中川 聰	科学系英文の読解	大2-909
	01/25 (月) 1/2限	試験	中川 聰	総合復習	大2-603

<英語B>

N	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
---	----	----	------	------	------

o.					
	04/13 (月) 2限	ガイダンス	前澤 大樹	TOEFL ITP e-learningガイダンス	大2-701
1	04/20 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	授業概要、発表準備	大2-910
2	04/27 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
3	05/11 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
4	05/18 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	中間発表(1)	大2-910
5	05/25 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	中間発表(2)	大2-910
6	06/01 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	中間発表(3)	大2-910
7	06/08 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
8	06/15 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
9	06/22 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
10	06/29 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	最終発表(1)	大2-910
11	07/06 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	最終発表(2)	大2-910
12	07/13 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	最終発表(3)	大2-910
1	07/20	講義	前澤 大樹	最終発表(4)	大2-910

3	(月) 1/2限				
	07/27 (月) 4/5限	試験	前澤 大樹	総復習：確認テスト	大2-603
1 4	09/28 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	授業概要、発表準備	大2-910
1 5	10/05 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
1 6	10/12 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
1 7	10/19 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	中間発表(1)	大2-910
1 8	10/26 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	中間発表(2)	大2-910
1 9	11/02 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	中間発表(3)	大2-910
2 0	11/09 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
2 1	11/16 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
2 2	12/07 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	発表準備	大2-910
2 3	12/14 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	最終発表(1)	大2-910
2 4	12/21 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	最終発表(2)	大2-910
2 5	01/14 (木) 2/3限	講義	前澤 大樹	最終発表(3)	大2-910

2 6	01/18 (月) 1/2限	講義	前澤 大樹	最終発表(4)	大2-910
	01/25 (月) 1/2限	試験	前澤 大樹	総復習：確認テスト	大2-603

<英語C>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/14 (火) 4限	講義	S C H W A B J O N	<p>General Course Introduction and Orientation</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 	大2-701
2	04/21 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	<p>Class Orientation, Self-Introductions and Communication Activities</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。 	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
3	04/28 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D	<p>Preventive Care, Physical Examinations & Screening - Part 1</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重 	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312

			HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	<p>し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。</p> <p>○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。</p> <p>○ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。</p>	大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
4	05/12 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	<p>Preventive Care, Physical Examinations & Screening - Part 2</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p>	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
5	05/19 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	<p>Preventive Care, Physical Examinations & Screening - Part 3</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p>	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
6	05/26 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	<p>Preventive Care, Physical Examinations & Screening - Part 4</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p>	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
7	06/02 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D	<p>Preventive Care, Physical Examinations & Screening - Part 5</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○ 地域医療の中での国際化を</p>	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312

			HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。	大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
8	06/09 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Common Health Conditions - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
9	06/16 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Common Health Conditions - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
10	06/23 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Common Health Conditions - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
11	06/30 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Common Health Conditions - Part 4 A-7-2) 国際医療への貢献 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316

				る。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。	
1 2	07/07 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Common Health Conditions - Part 5 A-7-2) 国際医療への貢献 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
1 3	07/14 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Common Health Conditions - Part 6 A-7-2) 国際医療への貢献 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
1 4	07/21 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Vaccinations - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
1 5	07/28 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S	Vaccinations - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314

			THOMSON C PLANTE S	○ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	大2-1315 大2-1316
1 6	09/29 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Orientation, Self-Introductions and Communication Activities A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	
1 7	10/06 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Influenza - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
1 8	10/13 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R FRANSEN D HISLOP L PEARSON S THOMSON C PLANTE S	Influenza - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ○ 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○ 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
1 9	10/20 (火) 1/2限	講義	SCHWAB JON AHERN J BODELL M FONTAINE R	Influenza - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○ 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明でき	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311

			F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	る。 ○日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ○医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 0	10/27 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Stomach Issues - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 1	11/10 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Stomach Issues - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 2	11/17 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Stomach Issues - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 3	11/24 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Hospital Departments & Presentation Preparation - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 4	12/08 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R	Hospital Departments & Presentation Preparation - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311

			F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 5	12/15 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Final Presentations (Hospital Departments) A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 6	12/22 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Communication Skills - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 7	01/05 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Communication Skills - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 8	01/12 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Physical Injuries - Part 1 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316
2 9	01/19 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L	Physical Injuries - Part 2 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313

			P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S		大2-1314 大2-1315 大2-1316
3 0	01/26 (火) 1/2限	講義	S C H W A B J O N A H E R N J B O D E L L M F O N T A I N E R F R A N S E N D H I S L O P L P E A R S O N S T H O M S O N C P L A N T E S	Physical Injuries - Part 3 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重 し、英語をはじめとした異 なる言語に対応するこ ^ト が できる。	大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312 大2-1313 大2-1314 大2-1315 大2-1316

M e d i c a l E n g l i s h

[教育目標]

医学では膨大な数の専門用語が使用されており、医師国家試験レベルでも数万語、さらにそれぞれの専門分野ではその数倍の専門用語があると推定されます。その用語の多くは英語がそのまま、あるいは英語の略語のみが使用されています。国際的に医学分野では今や英語が「標準語」となっていて、日本語での訳語が存在しない用語も増えています。

当然医学部専門科目の講義でも、こうした専門用語が言葉として語られ、記載されます。言葉に慣れ、自由に使いこなすことができなければ、講義についていくことすらできません。しかし多くの学生が専門用語、特に英単語や略語でつまずき、講義の理解に支障をきたしています。

こうした現状を踏まえ、本科目では医学部で専門講義を受けるためのごく基本的と考えられる用語を、講義に先立ち日本語と英語の両方で理解することを目標とします。提示する用語については正確かつスピーディーに想起し、記載することを求めます。

皆さんの中には、英語を学ぶ上で多くの苦労をされた方も多いと思いますが、それは英語という言語がもつ複雑な「被植民地化」の歴史がもたらした、印欧語族の中でも特異な性質によります。その性質は、単語の語尾変化が極端に少なくなったために複雑に定義された語順のルール（つまり「文法」）、類似した意味をもちながら微妙にニュアンスの異なる複数の語彙（stop, cease, quit, discontinueなど）、などで、そういう性質を持つことになった背景を、英語の歴史を紐解きながら概説するとともに、医学、生物学用語に多用されるラテン語由来の語彙の「パート」の意味を考えていきます。

一方、この科目的もう一つの目的は自学自習の習慣をつけることであり、提示する用語についてはその内容を自ら調べることを想定しています。自学自習こそが医師を志す者としてふさわしい学習法であり、医師の常識です。用語の持つ概念の理解・習得についても、大学生・医学部生としてふさわしい勉強法を自ら確立してください。

[授業の方法]

講義／演習 なお、講義の中で、アクティブラーニングとしてディスカッション／グループワークを実施する。また、ICT教育として、e-learning教材を提供する。

[学修目標]

基本的な医学専門用語を日本語、英語の両方ですみやかに想起し、記載できる。

医学・生物学用語をパートに分解し、語彙の語源を考えることができる。

自学自習の習慣を身につける。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：提示する用語の半分以上は解剖学関連の用語のため、解剖学の担当教員と連携し、相互補完的な教育内容としています。

垂直統合：2年生で学ぶHuman Biologyの理解に必要な英単語を学修していることを示します。また特に解剖学用語を英語で学修することが今後疾患名をはじめとする臨床用語の理解に必須であることを示します。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

用語集は初回の講義で提示します。講義は最小限の方向付けとし、原則として自ら修得することを求めます。単語隨時試験の合格には15～20時間程度の学習が必要と考えています。自ら学習計画を立て、勉強法を確立してください。

[評価]

・知識：医学専門用語の理解を英語・日本語の両方で、ペーパーテストにより判定します。（卒業コンピテンシーIV-3）パフォーマンス・レベルD

ただし知識：医学・生物学用語をパーティに分解し、語源を考える部分については講義のみとし、試験・評価は行いません。（卒業コンピテンシーIV-3）パフォーマンス・レベルE

・態度：用語理解の単語隨時試験を行い、自学自習の習慣が身についているかどうかを判定します。（卒業コンピテンシーI-1,5）パフォーマンス・レベルC

この単語隨時試験で指定日までに90%以上正解した場合、55点満点の本試験得点に最大50点を加算します。再試験も同様です。夏季休業中を含め、週に1回、合格するまで受験することができます。どのように取り組んだかも評価の対象です。試験形式等の詳細については初回のオリエンテーション講義で説明します。

・独創的探究心の基礎となる学習ですが、説明、体験にとどめ、評価は行いません。（卒業コンピテンシーV-1～4）パフォーマンス・レベルE

[フィードバックの方法]

・単語隨時試験については実施後すぐにその場で採点し、不正解箇所をフィードバックするとともに学習方法、実習態度などに問題点があれば指摘を行います。

・本試験（再試験）結果については開示を希望する場合、オフィスアワーに申し出てください。

[教科書]

用語集をデジタルデータで配布します。さまざまなデジタル問題集も準備します。

[推薦参考書]

語源については下記の書籍を参考図書として挙げておきます。

「英語の歴史」 寺澤 盾 著 中公新書

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室

[その他]

単語随時試験については原則として大学2号館9階907にて実施します。

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 教授	月曜～木曜	12:40～13:10	大学2号館9階907

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階706

<医学部・解剖学I>

担当者名	曜日	時間	場所
秦 龍二 教授	月曜、火曜、水曜日	13:00～14:00	大学1号館8階815

[授業日程]

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/14 (火) 2限	講義	飯塚 成志 秦 龍二	オリエンテーション 医学専門用語を英語で理解する 意義とは 解剖学・生命科学分野の英単語・オンライン教材を提示する。 評価方法と学修目標を提示する。	大2-701

2	04/21 (火) 4限	講義	飯塚 成志	解剖学分野の基本用語・英単語の理解(1) ● 医学専門用語を学ぶにあたり、基本的な姿勢を説明する。	大2-701
3	04/28 (火) 4限	講義	飯塚 成志	解剖学分野の基本用語・英単語の理解(2)	大2-701
4	05/19 (火) 4限	講義	飯塚 成志	生命科学に関する基本用語・英単語の理解(1)	大2-701
5	05/26 (火) 4限	講義	飯塚 成志	生命科学に関する基本用語・英単語の理解(2)	大2-701
6	06/02 (火) 4限	講義	吉田 友昭	英語の歴史 ● ラテン語由来の言葉がかしこまった表現であることを説明できる。 ● ゲルマン語族であることを説明できる。 ● フランス系のプランタジネット朝の時代に一旦衰微したことを説明できる。 ● ローマ支配の時代にはラテン語から直接、フランス系の王朝の時代にはフランス語（orman語）経由でラテン語語彙が数多く流入し、経由によって語義が異なることが多いことを説明できる。	大2-701
7	07/07 (火) 4限	講義	吉田 友昭	接頭辞と接尾辞 ● 生物系の専門用語に、ラテン語の接頭辞、接尾辞を駆使して創造されたものが多いことを説明できる。 ● 主たる接頭辞の意味を説明できる。 ● 主たる接尾辞の意味を説明できる。	大2-701

ドイツ語

[教育目標]

ドイツの詩人ゲーテは、かつて「諸外国(!)の言葉を知らざる者は、自身の国の言葉を理解しない」という言葉を残しました。皆さんは既に英語を学習してきましたが、異なる文法や体系をもつドイツ語を更に学ぶことで言語についての理解、そして言語そのものからドイツ語圏の文化的・社会的な感性を獲得できます。また、歴史的に見て、自然諸科学でドイツ語は英語に次いで重要な言語のひとつです。専門分野の研究や学習の役に立てたいと思う人は一生懸命取り組んでください。

この授業を通じて多文化的な感性を育み、知識を得、視野を広げてもらえればと思います。

[授業の方法]

講義 なお、講義の中で、アクティブラーニングとしてペアワークやグループワークを実施します。また、ICT教育として、Web上にアップロードされた映像教材や音声教材を利用します。

[学修目標]

ドイツ語の初級文法を習得し、平易なドイツ語文章の理解と表現ができる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

復習を中心に取り組んでください。その際、音声教材を繰り返し聞き、発音してください。また、文法のまとめや練習問題を配布するので、補助教材として活用してください。約30分程度を目安とします。また、ドイツ語圏の国々に関する情報も、教科書にリンクが掲載されていますので、役立ててください。

[評価]

前期：平常点30%、小テスト（2回程度）30%、中間試験40%

後期：平常点30%、小テスト（2回程度）30%、期末試験40%

最終的な成績は前期と後期を総合して評価します。

ペアワーク、グループワーク、作文は積極的に取り組んでください。

[フィードバックの方法]

- ・ 小テスト後に解答および解説を示します。
- ・ 課題で不足の多い場合は再提出を求めることがあります。
- ・ 課題についての解説を行います。
- ・ 作文に取り組んでもらい、その都度チェックします。

[教科書]

秋葉裕一、石井道子、中村采女、Wolfgang Schlecht "Ideal" 2.Auflage. (朝日出版社, 2020)

なお必ずノートを1冊用意してください。

[推薦参考書]

『郁文堂独和辞典（第二版）』富山芳正他編著、郁文堂

『アポロン独和辞典（第三版）』根本道也他編著、同学社

『パスポート独和・和独小辞典』諏訪功他編、白水社

標準的な学習者向け辞書として、この三冊のいずれかがおすすめです。また、

『やさしい！ドイツ語の学習事典』根本道也編著、同学者

は、語彙数は限られていますが和独のインデックスや簡単会話表現も付録され簡便です。

[使用する教室]

大学2号館9階910講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
大林 侑平 客員助教		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<ドイツ語>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/21 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	授業の目的と、皆さんに取り組んでもらいたいことの説明 自己紹介（初回授業までに日本語か英語で5セントラス程度で作	大2-910

			<p>文してください)</p> <p>Lektion1 : アルファベートの発音、挨拶、数字</p> <p>課題1 : Lektion2の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確認、練習しておく</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
2	04/28 (火) 1/2限	講義	<p>復習：発音の確認、練習</p> <p>Lektion2 : 主語になる人称代名詞、動詞の人称変化、動詞の位置</p> <p>課題1 : Übung1, Übung2 (S. 8)</p> <p>課題2 : Lektion3の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確認、練習しておく</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
3	05/12 (火) 1/2限	講義	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion2 : ja, nein, dochで答える疑問文</p> <p>Lektion3 : seinとhabenの現在人称変化、動詞の不規則変化</p> <p>課題1 : Übung3 (S.8), Übung 1, Übung2 (S.12)</p> <p>課題2 : Lektion4の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確</p>	大2-910

				<p>認、練習しておく。意味も考える。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
4	05/19 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion3 : 命令文</p> <p>Lektion4 : 名詞、冠詞</p> <p>課題1 : Übung3, Übung4 (S.12), Übung1 (S.16)</p> <p>課題2 : Lektion5の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確認、練習しておく。意味も考える。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
5	05/26 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認、Übung2 (S.16)</p> <p>Lektion5 : 人称代名詞、冠詞</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>簡単な作文</p> <p>課題1 : Übung1, Übung2, Übung3 (S.20)</p> <p>課題2 : 未定</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を 	大2-910

				<p>把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
6	06/02 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：前期第一回小テスト、答え合わせ、解説</p> <p>Lektion5：基数</p> <p>プリント</p> <p>ペアで作文</p> <p>課題1：作文の続きをすれば完成させる</p> <p>課題2：Lektion6の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確認、練習しておく。意味も考える。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
7	06/09 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：作文の確認と比較</p> <p>Lektion6：分離動詞、非分離動詞</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>課題1：Übung1, Übung2 (S.2 3-4)</p> <p>課題2：Lekiton1-6の扉にある文章の発音と意味の確認。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910

8	06/16 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認 Lektion6：非人称のes、不定代名詞man 補足的な説明、語彙、練習 課題1：Übung3, Lesetext (S. 24) 課題2：Lektion7の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確認、練習しておく。意味も考える。 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重 し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	大2-910
9	06/23 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認 Lektion7：接続詞と副文、間接疑問文 補足的な説明、語彙、練習 課題1：Übung1, Übung2 (S.28) 課題2：Lekiton1-6の例文の発音と意味の確認。 A-7-2) 国際医療への貢献 ○患者の文化的背景を尊重 し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	大2-910
10	06/30 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認 Lektion7：前置詞 課題1：Übung3 (S.28)、簡単な作文 課題2：Lektion8の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確</p>	大2-910

			<p>認、練習しておく。意味も考える。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
1 1	07/07 (火) 1/2限	講義	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion8 : 前置詞、da + 前置詞 補足的な説明、語彙、練習</p> <p>課題1 : Übung1, Übung2 (S.32)</p> <p>課題2 : Lekiton1-6の例文の発音と意味の確認。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
1 2	07/14 (火) 1/2限	講義	<p>復習：第二回小テスト、答え合わせ、解説</p> <p>Lektion8 : 疑問詞 補足的な説明、語彙、練習</p> <p>ペア：作文</p> <p>課題1 : Übung3 (S.32)、例文の作り替え</p> <p>課題2 : 未定</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を 	大2-910

				<p>尊重した医療の実践に配慮 することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に 必要な情報を収集できる。 	
1 3	07/21 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認 Lektion1-8の復習 作文と比較 課題1：未定 課題2：未定</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重 し、英語をはじめとした異 なる言語に対応するこ ができる。 ○地域医療の中での国際化を 把握し、価値観の多様性を 尊重した医療の実践に配慮 するこ ができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に 必要な情報を収集できる。 	大2-910
	07/28 (火) 3限	試験	大林 侑平	中間試験	大2-603
1 4	09/29 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：中間試験の解説と要点 復習：Lektion1-8の復習 課題1：プリント 課題2：Lektion9の扉にある文 章の発音を考え、音声教材で確 認、練習しておく。意味も考 える。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重 し、英語をはじめとした異 なる言語に対応するこ ができる。 ○地域医療の中での国際化を 把握し、価値観の多様性を 尊重した医療の実践に配慮 するこ ができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に 必要な情報を収集できる。 	大2-910
1 5	10/06 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認 Lektion9：助動詞 課題1：Übung1, Übung2, Üb</p>	大2-910

				<p>ung3 (S.36)</p> <p>課題2：未定</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
1 6	10/13 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion9：助動詞の続き</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>課題1：簡単な作文、例文の作り替えなど</p> <p>課題2：Lektion10の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確認、練習しておく。意味も考える。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
1 7	10/20 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion10：形容詞</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>課題1；Übung1, Übung2 (S.40)</p> <p>課題2：Lektion7-10の扉にある文章の発音と意味を確認する。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を 	大2-910

				<p>把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
1 8	10/27 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>復習：後期第一回小テスト、答え合わせ、解説</p> <p>Lektion10：序数</p> <p>ペア：簡単な読み物の分析と訳読み</p> <p>課題1：Übung3 (S.40)</p> <p>課題2：Lektion11の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確認、練習しておく。意味も考える。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
1 9	11/10 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion11：比較級と最上級</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>ペア：作文</p> <p>課題1：Übung1 (S.44)、作文の続き</p> <p>課題2：Lektion7-10の例文の発音と意味を確認する。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910

2 0	11/17 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認、作文の確認と比較</p> <p>Lektion11：再帰代名詞と再帰動詞</p> <p>課題1 : Übung2 (S.44)、簡単な作文、例文の作り替えなど</p> <p>課題2 : Lektion12の扉にある文章の発音を考え、音声教材で確認、練習しておく。意味も考える。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
2 1	11/24 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion12：過去形</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>課題1 : Übung (S.47)、他</p> <p>課題2 ; Lesetextの発音と意味を簡単に理解しておく。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
2 2	12/08 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion12：過去形の続き</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>課題1 : 簡単な作文、例文の作り替え他</p> <p>課題2 : 指定した動詞の現在人称変化と3基本形を確認する。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重 	大2-910

				<p>し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	
2 3	12/15 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習；課題の確認</p> <p>Lektion13：完了形</p> <p>課題 1：</p> <p>課題 2：指定した動詞の現在人称変化と3基本形を確認する。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	大2-910
2 4	12/22 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion13：完了形の続き</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>課題：</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <p>○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。</p> <p>○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。</p>	大2-910
2 5	01/05 (火) 1/2限	講義	大林 侑平	<p>復習：課題の確認</p> <p>Lektion14：zu不定詞</p> <p>課題 1：Übung (S.55)</p> <p>課題 2：冬休み中に学習したことを見ないように復習する。</p>	大2-910

			<p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	
2 6	01/12 (火) 1/2限	講義	<p>復習：後期第二回小テスト、答え合わせ、解説</p> <p>Lektion14 : zu不定詞の続き</p> <p>補足的な説明、語彙、練習</p> <p>ペア：読み物の読解</p> <p>課題1：別冊の指定した範囲に関する</p> <p>課題2：Lekiton11-14の扉にある文章の発音と意味の確認</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 	大2-910
2 7	01/19 (火) 1/2限	講義	<p>復習：Lektion9-14の練習</p> <p>補足：Lektion15以降の補足</p> <p>ペア：読み物の読解、比較続き</p> <p>ペア：作文</p> <p>課題1：未定</p> <p>課題2：Lekiton11-14の例文の発音と意味の確認</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ○ 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 	大2-910

				A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	
	01/26 (火) 3限	試験	大林 侑平	定期試験	大2-603

フランス語

[教育目標]

フランス語はこれまでの英語学習と違い、発音が比較的簡単に思える反面、文法的にはかなり難しく感じられるかもしれない。しかし週に一度はあるが、基本的な文法を一通り理解して、繰り返し発音練習をすることで、将来、医療の現場でフランス人とのコミュニケーションを取らざるを得ないときに役に立つこともあると思う。異国で医者にかかった際に、母国語を理解してくれる医者に出会えることの心強さを相手に与えるためにも、英語以外のヨーロッパの外国語を学ぶことで、視野を広げ、さまざまな分野に生かせるような文化的多様性を育んでもらえればと思う。

[授業の方法]

講義 なお、講義の中でフランス語を用いたプレゼンテーションやグループワークなどのアクティヴ・ラーニングを実施する。

[学修目標]

日常生活での挨拶やごく簡単なやりとりができるようになることを目指す。
文法的なレベルとしては、フランス語検定の5級程度が目標となる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

授業ごとに学習した冠詞や代名詞の用法などを復習するようにしてください。
特に、「動詞の活用」を復習する習慣をつけておくようにしてください。
約30分程度を目安とする。

[評価]

平常点30%、定期試験70%（中間試験を実施する場合は「中間試験20%、期末試験50%」）で評価する。

[フィードバックの方法]

定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

『新・彼女は食いしん坊！1』、藤田裕二（著）、朝日出版社

[推薦参考書]

『クラウン仏和辞典』（三省堂）

『ディコ仏和辞典』（白水社）

『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）

[使用する教室]

大学2号館9階909講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
佐々木 稔 客員講師	火曜	※授業終了後に対応	授業を実施した教室

[授業日程]

<フランス語>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/21 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	ガイダンス フランス語のアルファベ 自己紹介	大2-909
2	04/28 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	発音と綴り字① 単母音字、複母音字の読み方	大2-909
3	05/12 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	発音と綴り字② 鼻母音、子音、半母音の読み方	大2-909
4	05/19 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	主語人称代名詞と動詞の活用 動詞êtreの活用	大2-909

5	05/26 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	国籍と職業の表し方 「性数一致」について	大2-909
6	06/02 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	国籍・職業の表現とêtreを使った練習問題	大2-909
7	06/09 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	動詞avoirの活用 名詞の性と数：不定冠詞と定冠詞	大2-909
8	06/16 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	形容詞の性数一致 指示代名詞ce	大2-909
9	06/23 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	名詞・形容詞の性数一致を使った練習	大2-909
10	06/30 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	第1群規則動詞 (-er動詞) の活用 所有形容詞	大2-909
11	07/07 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	フランス語の疑問文	大2-909
12	07/14 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	家族に関する表現	大2-909
13	07/21 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	これまでの復習と応用問題	大2-909
	07/28 (火) 3限	試験	佐々木 稔	中間試験	大2-603
14	09/29 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	基礎文法の復習① 発音と綴り字の復習	大2-909
15	10/06 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	基礎文法の復習② 定冠詞・不定冠詞・部分冠詞・指示形容詞	大2-909
16	10/13 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	基礎文法の復習③ 動詞の活用：être, avoir, -er動詞	大2-909
17	10/20 (火)	講義	佐々木 稔	形容詞の位置と特殊形	大2-909

	1/2限				
1 8	10/27 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	フランス語の否定文	大2-909
1 9	11/10 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	形容詞と否定文を使った練習	大2-909
2 0	11/17 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	指示形容詞 (ce[t], cette, ces) 前置詞と定冠詞の縮約 (au, au x/du, des)	大2-909
2 1	11/24 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	強勢形人称代名詞 動詞aller、venirの活用 近接未来、近接過去	大2-909
2 2	12/08 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	近い過去、近い未来についての表現練習	大2-909
2 3	12/15 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	疑問代名詞 (qui, que)	大2-909
2 4	12/22 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	疑問副詞 (quand, où, comme nt, pourquoi, combien) 中性代名詞y	大2-909
2 5	01/05 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	様々な疑問文の練習	大2-909
2 6	01/12 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	まとめ① 動詞の活用の総復習	大2-909
2 7	01/19 (火) 1/2限	講義	佐々木 稔	まとめ② フランス語の様々な文の作り方 フランス語の統辞構造について	大2-909
	01/26 (火) 3限	試験	佐々木 稔	定期試験	大2-603

中国語

[教育目標]

中国語の初級段階を総合的に学習し、音声・文法・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的知識の習得及び運用能力の養成を目標とする。「読む」「書く」「聴く」「話す」の4技能をバランスよく身に付け、中国語に親しむことを目指す。また、視聴覚メディア等を通じて、文化・習俗・歴史・社会事情等についても学び、国際的視野を涵養する一歩とする。

[授業の方法]

講義 なお、講義の中で、アクティブラーニングとしてペアワーク、グループワーク等を実施する。

[学修目標]

- (1)中国語のピンインの綴りを習得し、正確に発音できる。
- (2)中国語の語順・基本文型を習得し、平易な文章を読解することができる。
- (3)中国語の基本文型を用いて、日常表現や基本的な会話を行うことができる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

指示に従い事前課題及び復習課題に取り組むこと。課題には単元ごとに設けられている練習問題や課文の朗読、暗誦等が含まれる。それぞれ30分程度を目安とする。

[評価]

中間試験、定期試験の成績のほか、授業への貢献度、出席状況などを総合的に評価する。

[フィードバックの方法]

- ・各種試験については評価後フィードバックを行い、疑義のある場合は対応する。
- ・課題レポート等の成果物については評価後返却し、不足の多い場合は再提出を求めることがある。

[教科書]

『二ーハオ！ニッポン 一ふりむけば、中国語。』相原茂・朱怡穎著（朝日出版社）

[推薦参考書]

推薦参考書・辞書については、別途授業で紹介する。

[使用する教室]

大学2号館8階810講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
勝川 裕子 客員准教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<中国語>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/21 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	発音（1）：声調、単母音、複母音 中国語論概説（1）	大2-810
2	04/28 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	発音（2）：子音、鼻母音 中国語論概説（2）	大2-810
3	05/12 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	発音（3）：軽声、声調変化、 発音総まとめ 中国語論概説（3）	大2-810
4	05/19 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「日本到着—成田空港」（1） 文法項目：人称代名詞、“～是～”、“的”、動詞述語文、語氣助詞“吧”	大2-810
5	05/26	講義	勝川 裕子	「日本到着—成田空港」（2）	大2-810

	(火) 1/2限			言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	
6	06/02 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「ホテルチェックイン」（1） 文法項目：助動詞“想”、“姓”と“叫”、動詞“在”、指示代名詞	大2-810
7	06/09 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「ホテルチェックイン」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
8	06/16 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「夜景が綺麗」（1） 文法項目：疑問詞の“多”、数の数え方、経験の“过”、形容詞述語文	大2-810
9	06/23 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「夜景が綺麗」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
10	06/30 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「電車で」（1） 文法項目：連動文、量詞、動詞“有”、時間量の言い方	大2-810
11	07/07 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「電車で」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
12	07/14 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「化粧品売り場で」（1） 文法項目：疑問詞、中国のお金の単位、“二”と“两”	大2-810
13	07/21 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「化粧品売り場で」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
	07/28 (火) 3限	試験	勝川 裕子	中間試験	大2-603
14	09/29 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	中間試験フィードバック 「花火大会」（1） 文法項目：年月日・曜日の言い方、理由を問う“怎么”、年齢の言い方	大2-810
15	10/06 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「花火大会」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
1	10/13	講義	勝川 裕子	「日本の雑貨」（1）	大2-810

6	(火) 1/2限			文法項目：“也”と“都”、実現の“了”、副詞の“不”と“没”、前置詞“在”	
1 7	10/20 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「日本の雑貨」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
1 8	10/27 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「おいしい和牛をどうぞ」 (1) 文法項目：時刻の言い方、変化の“了”、反復疑問文、動詞の重ね型	大2-810
1 9	11/10 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「おいしい和牛をどうぞ」 (2) 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
2 0	11/17 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「日本の人気デザート」（1） 文法項目：進行の表し方、“～还是～”、“喜欢”	大2-810
2 1	11/24 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「日本の人気デザート」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
2 2	12/08 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「着物体験」（1） 文法項目：持続の“～着”、方位詞、可能の助動詞“会”“能”“可以”	大2-810
2 3	12/15 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「着物体験」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
2 4	12/22 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「温泉に入る」（1） 文法項目：結果補語、方向補語、副詞“得”	大2-810
2 5	01/05 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「温泉に入る」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
2 6	01/12 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「日帰りバスツアー」（1） 文法項目：様態補語、“又～又～”、比較構文	大2-810
2 7	01/19 (火) 1/2限	講義	勝川 裕子	「日帰りバスツアー」（2） 言語活動：暗誦朗読、ペアワーク、ドリル等	大2-810
	01/26 (火) 3限	試験	勝川 裕子	定期試験	大2-603

ポルトガル語

[教育目標]

日本には約20万人のブラジル人が住んでおり、特に東海地方には多くの集住地域があります。医療の現場において、ブラジル・ポルトガル語圏の外国人に対応できるような言語習得の関心が高まっている。そのため、本講義では、基本的なポルトガル語の表現とブラジルや中南米の諸国の文化に関しての意識を養成する。ブラジル・ポルトガル語学習を通して、国際的視野を広げ、異文化を背景とする人々と適切な意思疎通が行えるよう中身のあるコミュニケーション能力を身につけるのが目標である。

[授業の方法]

グループによる対話の実践練習を行い、ロールプレイとディスカッションがこの授業の基礎点となる。

[学修目標]

異国の歴史、社会や文化を学びながら、世界観を広げ、心の中にある差別と偏見をなくす。
日常的な会話によく使われる表現を使うことができる。
ポルトガル語の医学用語やブラジル・ポルトガル語の基本点を理解し、自分で簡単な文書を作ることができる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

- ・ 関連資料（プリント）を多く配布するので、ファイルを用意して保管する。
- ・ 指示された課題は必ず自力でやっていること。週1時間程度を目安とする。

[評価]

実践力をどこまで身に付けたかを判定する中間試験、定期試験の成績のほか、授業への取り組み姿勢（会話練習の態度等）、課題の提出状況、出席状況等を総合的に評価する。

[フィードバックの方法]

- ・小テスト後に解答および解説を示す。
- ・小テストはコメントをつけて返却する。
- ・宿題や課題についての解説を行う。

[教科書]

重松由美 /瀧藤千恵美 /Felipe Ferrari 『ブラジル・ポルトガル語を話そう！ 改訂版』朝日出版社
ISBN: 978-4-255-55505-8

[推薦参考書]

なし

[使用する教室]

大学2号館8階809講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
FERRARI GO 客員講師		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<ポルトガル語>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/21 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	挨拶と自己紹介	大2-809
2	04/28 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	アルファベットと発音	大2-809
3	05/12 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	名詞の性と数	大2-809
4	05/19 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	冠詞と数字	大2-809

5	05/26 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	ser動詞	大2-809
6	06/02 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	人称代名詞と疑問文	大2-809
7	06/09 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	形容詞の性と数	大2-809
8	06/16 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	所有形容詞と家族の紹介	大2-809
9	06/23 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	指示代名詞と今までのまとめ	大2-809
10	06/30 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	小テスト	大2-809
11	07/07 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	規則動詞 (1)	大2-809
12	07/14 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	前置詞	大2-809
13	07/21 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	前期の総復習	大2-809
	07/28 (火) 3限	試験	FERRARI GO	中間試験	大2-603
14	09/29 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	規則動詞 (2)	大2-809
15	10/06 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	副詞	大2-809
16	10/13 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	不規則動詞 ir	大2-809
17	10/20 (火)	講義	FERRARI GO	未来を表すir動詞	大2-809

	1/2限				
18	10/27 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	不規則動詞 ter	大2-809
19	11/10 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	不規則動詞 fazer	大2-809
20	11/17 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	疑問詞	大2-809
21	11/24 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	頻度を表す表現	大2-809
22	12/08 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	不規則動詞 poder	大2-809
23	12/15 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	不規則動詞 querer	大2-809
24	12/22 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	小テスト	大2-809
25	01/05 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	不規則動詞 estar (1)	大2-809
26	01/12 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	不規則動詞 estar (2)	大2-809
27	01/19 (火) 1/2限	講義	FERRARI GO	後期の総復習	大2-809
	01/26 (火) 3限	試験	FERRARI GO	定期試験	大2-603

数学

[教育目標]

「自然は数学の言葉で書かれている」と言われるように、自然科学の様々な分野の根底にある学問が数学であり、数学は、現象を正確に記述し、正確に伝えるために極めて有効である。

準備教育モデル・コア・カリキュラム（平成13年度版）では「医学・歯学教育における教養教育の意義」として「医師、歯科医師又は研究者となる前に人としての素養を培っていくもの」とされており、この教育内容ガイドラインに挙げられた各項目を習得していく際、自然科学の様々な分野の根底にある学問としての数学の習得は重要である。

また、医学教育モデル・コア・カリキュラムにおいてA～Eで分類された各項目において、数学的知識、考え方を用いる場面は少なくなく、医師として求められる基本的な資質としても、数学の習得は重要といえる。

以上のような観点から、医師として、また教養として必要な数学の知識、考え方を習得することを目標とし、本科目では、数学の中でも、大学初年時に学ぶべき基本となる「線形代数学」、「微分積分学」および「確率統計学」の基礎を中心に学ぶ。

[授業の方法]

講義 なお、講義の中で、問題演習等において、アクティブラーニングとして、ディスカッション、グループワークを実施する。また、レポートや課題の出題とその解答例の提示等において、ICT教育として、e-learningを利用する。

[学修目標]

線形代数学の基本概念を理解し、演算ができる。

微分積分学の基本概念を理解し、演算ができる。

確率論的なものの見方を理解し、確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解する。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：「物理学」の担当教員と連携し、相互補完的な教育を意識している。

垂直統合：統計学の内容に関しては、「医学統計学」の担当教員と連携し、「数学」で基礎的な理論を学び、「医学統計学」で実際への応用を学ぶ。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

数学の理解のためには、概念について深く考えること、自ら手を動かして演算してみることが重要となる。このようなことの繰り返しを通じて、少しづつ理解が深まっていくものである。そのため、講義の前に教科書を一読すること、講義の後に理解の確認と関連する例題を解いてみることが大事である。それぞれ30分以上を目安とする。

[評価]

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-8）、パフォーマンス・レベルD

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)演習レポート；（卒業コンピテンシー V-1, 3）、パフォーマンス・レベルC

演習では、どのレベルまで自ら問題点を発掘し、かつそれに答えるべく努力をしたかをレポートから判定し、演習評価の主なポイントとする。

(3)講義および演習態度；（卒業コンピテンシー I -4, 5, 6）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、演習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

[フィードバックの方法]

- ・ レポートや課題の解答例を提示する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

[教科書]

「線形代数入門 基礎と演習」吉本武史・豊泉正男（学術図書）

「第2版 微分積分学 思想・方法・応用」吉本武史（学術図書）

「新版 基本統計学」本多勝・石田崇（産業図書）

[推薦参考書]

「線型代数学」佐武一郎（裳華房）

「線型代数入門講義－現代数学の《技法》と《心》－」長岡亮介（東京図書）

「解析概論」高木貞治（岩波書店）

「微分積分講義」南和彦（裳華房）

「確率統計学」須子統太・鈴木誠・浮田善文・小林学・後藤正幸（オーム社）

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・数学>

担当者名	曜日	時間	場所
鏡 裕行 准教授	火曜	12:30~13:15	大学2号館9階906

[授業日程]

<数学>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/13 (月) 3限	講義	鏡 裕行	線形代数学(1) ベクトルと行列、行列の積と逆行列 <ul style="list-style-type: none"> ●ベクトルの基本概念を理解し、演算ができる。 ●行列の基本概念を理解し、演算ができる。 ●行列の積の定義を理解し、演算ができる。 ●逆行列の意味を理解し、演算ができる。 	大2-701
2	04/20 (月) 3限	講義	鏡 裕行	線形代数学(2) 行列式 <ul style="list-style-type: none"> ●行列式の概念を理解し、演算ができる。 ●余因子の概念を理解し、演算ができる。 	大2-701
3	04/27 (月) 3限	講義	鏡 裕行	線形代数学(3) 連立1次方程式と行列の階数 <ul style="list-style-type: none"> ●行列を用いた連立1次方程式の解法を理解し、演算ができる。 ●階数の概念を理解できる。 	大2-701
4	05/11 (月) 3限	講義	鏡 裕行	線形代数学(4) 固有値と固有ベクトル <ul style="list-style-type: none"> ●固有値と固有ベクトルの概念を理解し、演算ができる。 ●行列の対角化を理解し、演算ができる。 	大2-701
5	05/18 (月) 3限	講義	鏡 裕行	微分積分学(1) 数と集合、数列、関数と連続性 <ul style="list-style-type: none"> ●数、集合、数列、関数、連続性の概念を理解できる。 	大2-701
6	05/25 (月)	講義	鏡 裕行	微分積分学(2) 1変数関数の微分、テーラー展開	大2-701

	3限			<ul style="list-style-type: none"> ● 1変数関数の微分を理解し、演算ができる。 ● テーラー展開を理解し、演算ができる。 	
7	06/01 (月) 3限	講義	鏡 裕行	微分積分学(3) 1変数関数の積分 <ul style="list-style-type: none"> ● 1変数関数の積分を理解し、演算ができる。 	大2-701
8	06/08 (月) 3限	講義	鏡 裕行	微分積分学(4) 多変数関数の微分積分 <ul style="list-style-type: none"> ● 多変数関数の微分を理解し、演算ができる。 ● 多変数関数の積分を理解し、演算ができる。 	大2-701
9	06/15 (月) 3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(1) 確率変数と確率分布 B-1-1) 統計の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な確率分布を説明できる。 ● 事象と標本空間の定義を説明できる。 ● 確率の概念と加法定理を説明できる。 ● 離散型確率変数と連続型確率変数を定義し、それらの分布を説明できる。 ● 確率変数の期待値と分散・標準偏差の定義と性質を説明できる。 ● 統計量と標本分布を説明できる。 	大2-701
10	06/22 (月) 3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(2) 標本平均の分布と中心極限定理 B-1-1) 統計の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な確率分布を説明できる。 ● 正規母集団からの標本平均の分布を計算できる。 ● 中心極限定理と標本平均の正規近似を説明できる。 	大2-701
11	06/29 (月) 3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(3) 統計的推定 B-1-1) 統計の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ○ 正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。 ● 正規分布でない母集団における平均の信頼区間を計算できる。 	大2-701

1 2	07/06 (月) 3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(4) 仮説検定1 B-1-1) 統計の基礎 ○ 基本的な仮説検定の構造を説明できる。 ● 母平均を検定できる。	大2-701
1 3	07/13 (月) 3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(5) 仮説検定2 B-1-1) 統計の基礎 ○ 基本的な仮説検定の構造を説明できる。 ● 母集団の分散と標本分散の違いを説明でき、正規性を検定できる。 ● カイ2乗検定法を説明できる。	大2-701
1 4	07/20 (月) 3限	講義	鏡 裕行	確率統計学(6) 条件付確率とベイズの定理 ● 条件付確率と乗法定理を説明できる。 ● ベイズの定理を理解し、演算ができる。	大2-701

情報処理の基礎

[教育目標]

Evidence Based Medicine (EBM) の考え方に基づいた医療が定着し、より良い診療・研究を行う上で、情報処理能力が必須となっています。今後の医療を担う皆さんには従来の医学・医療の知識に加え、統計学・疫学・EBMに関する理解とコンピュータでの情報収集、情報処理、情報発信能力が求められています。

1学年の「情報処理の基礎」では、情報機器の機能と仕組み、ネットワークの基礎知識、情報を扱う上での倫理など情報処理に関する基礎的な能力および論理的な思考力の修得を目指しています。加えて、医療人として必須の医療情報システムの概略について知識と理解を深めていただきます。医療情報の特質を把握し、オーダリングシステム、PACS、電子カルテ、IHE、情報セキュリティなどの医療従事者としての基礎的なスキルを身につけていただきます。

[授業の方法]

授業は、TBL (Team Based Learning :チーム基盤型学修) 形式を取り入れています。授業資料は、iPadの資料配信システムを用いて事前に配信いたします。また、eラーニングシステムのMoodleも活用し、予習確認テスト(iRAT,tRAT)、双方向学修の手段としてiPadのクリッカーシステムを用いて行います。その他、Moodle (eラーニングシステム) のアンケート機能、投票機能なども同様の目的で利用します。

[学修目標]

医学・医療におけるコンピュータ利用の意義を説明できる。

コンピュータの基本構成とインターネットの基本的事項を理解し、情報機器を活用した情報の収集、整理、活用、伝達に習熟する。

マルウェア感染、情報漏洩などのインシデント事例を知り、情報セキュリティの重用性を理解し、実践できる。
医療情報の電子化について、システムの概略を理解し説明できる。

医学・医療における情報科学研究の応用事例を知り、情報科学研究の概略を理解し説明できる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：2学年における医学統計学、疫学、および3学年での予防医学、公衆衛生学等と関連を持たせた系統的授業のひとつである。

垂直統合：医療人として必須の情報処理能力や医療情報システムの理解に必要な知識を学んでいることを示している。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習]

授業は、TBL（Team Based Learning :チーム基盤型学修）形式で行います。TBLでは、能動的な学修が必要で、予習は必須となります。予習と復習を支援するために、全ての詳細な授業計画、学修資料はeラーニング上で閲覧できるようにしています。eラーニング上の資料を活用し1時間程度予習して下さい。

[評価]

評価点を定めるに当たり、定期試験（または再試験）の成績、ポートフォリオの内容、eラーニングによる予習確認テスト（iRAT,tRAT）、および応用課題、学生間相互評価（ピア評価）、受講態度等を総合的に判断して最終評価点を決定します。

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-6）、パフォーマンス・レベルD

知識量および理解度の両面をペーパーテストで判定する。

(2)演習レポート；（卒業コンピテンシー V-1, 2, 3）、パフォーマンス・レベルD/E

演習では、どのレベルまで自ら問題点を発掘し、かつそれに答えるべく努力したかをレポート、リフレクション・シートから判定し、演習評価の主なポイントとする。

(3)講義および演習態度；（卒業コンピテンシー I -1, 6）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、演習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

[フィードバックの方法]

- ・ 小テスト後に解答および解説を示す。
- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・ 定期試験結果についてはオフィスアワーにおいて各自にフィードバックし、個人の理解度に応じた学習指導を行う。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。
- ・ 本科目について作成したe-learningを学習する。

[教科書]

ハンドアウトをiPadの資料配信システム上に配布します。

e ラーニング、eポートフォリオシステムを活用します。

[使用する教室]

大学2号館12階IT学習室

[コーディネーター]

中野 高志 准教授（情報科学）

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・情報科学>

担当者名	曜日	時間	場所
中野 高志 准教授	月曜～金曜	13:00～17:00	大学2号館12階1203
鈴木 茂孝 教授	水曜	※講義終了後に対応	大学2号館13階モニターリ

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20、17:10～	大学2号館8階807

<医療科学部・医療経営情報学科 医療情報学>

担当者名	曜日	時間	場所
堀場 文彰 講師	火曜・木曜	12:00～17:00	大学2号館12階1204

[授業日程]

<情報処理の基礎>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
	04/15 (水) 5限	ガイダンス	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●本学のICT学修環境を把握し、活用できる。 ●大学の電子メールを使ったレポートの提出ができる。 ●eラーニングシステムの活用ができる。 ●個人の端末にOffice365を導入し利用ができる。 ●クラウドストレージが利用できる。 ●医学における情報処理の役割	大2-1201IT学習室
	04/15 (水) 6限	ガイダンス			

				<p>が説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学内外のICTを活用した学修サービスが利用できる（LMS, ポートフォリオなど）。 ●アカウント、パスワードの重要性を理解し管理できる。 	
1	05/13 (水) 5限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●インターネットの仕組みを理解し安全に活用できる。 ●VPN接続を理解し設定できる。 ●レポートを作成し、書類をクラウドに保管できる。 	大2-1201IT学習室
2	05/13 (水) 6限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<p>B-1-1) 統計の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。 ●目的に合った集計処理が行え、結果をグラフ、図案化し考案できる。 ●散布図を描き回帰式、相関と寄与率について説明できる。 ●統計的推定、統計的検定について説明できる。 ●簡単な関数を用い、基本統計量を求めることができる。 	大2-1201IT学習室
3	05/20 (水) 5限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●集計処理した表、グラフを用いてプレゼンテーション資料を作成することができる。 ●目的に合ったデータ収集、集計処理が行え、結果をグラフ、図案化し考案できる。 ●分かりやすく説明することができる。 	大2-1201IT学習室
4	05/20 (水) 6限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●コンピュータの情報処理が理解できる。 ●二進数、論理回路について説 	大2-1201IT学習室
5	05/27 (水) 5限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●コンピュータの情報処理が理解できる。 ●二進数、論理回路について説 	大2-1201IT学習室
6	05/27 (水) 6限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●コンピュータの情報処理が理解できる。 ●二進数、論理回路について説 	大2-1201IT学習室
7	06/03 (水) 5限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●コンピュータの情報処理が理解できる。 ●二進数、論理回路について説 	大2-1201IT学習室
8	06/03	講義			

	(水) 6限			明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ●デジタルの特性やデジタル化を説明できる。 ●コンピュータにおけるデータ表現を説明できる。 	
9	06/10 (水) 5限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	●コンピュータのハードウェアについて説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ●ソフトウェアとその技術について説明できる。 ●プログラミングの基本を学び、情報処理ができる。 	大2-1201IT学習室
10	06/10 (水) 6限	講義			
11	06/17 (水) 6限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	F-3-3) 診療録（カルテ） <ul style="list-style-type: none"> ○プライバシー保護とセキュリティーに充分配慮できる。 ●脅威について理解し、事例をあげ説明できる。 ●脅威の対策を知り、対策を実践できる。 ●暗号化について説明できる。 	大2-1201IT学習室
12	06/24 (水) 5限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	A-3-1) 全人的実践的能力 <ul style="list-style-type: none"> ○診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-orientedmedicalrecord)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 ●情報管理の原則（情報開示、プライバシー保護、取り扱い倫理、セキュリティ）を説明できる。 ●日本における社会保障制度の概略を理解する。 ●診療情報の電子化と管理について説明できる。 ●医療情報システムの歴史について概説できる。 ●電子カルテの基本を理解し長短所を説明できる。 ●医療情報のコード化、規格について説明できる。 	大2-1201IT学習室
13	07/01 (水) 6限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	F-3-3) 診療録（カルテ） <ul style="list-style-type: none"> ○プライバシー保護とセキュリティーに充分配慮できる。 ●個人情報の漏えい、著作権の 	大2-1201IT学習室

				<p>侵害について説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個人情報、著作権について理解する。 ●個人情報の漏えいについて事例をあげ対応策を説明できる。 	
1 4	07/08 (水) 6限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<ul style="list-style-type: none"> ●人工知能に仕組みを理解し、医学における応用を説明できる。 ●機械学習について説明できる。 ●深層学習について説明できる。 ●人工知能の医学応用について説明できる。 	大2-1201IT学習室
1 5	07/15 (水) 6限	講義		<ul style="list-style-type: none"> ●人工知能に仕組みを理解し、医学における応用を説明できる。 ●機械学習について説明できる。 ●深層学習について説明できる。 ●人工知能の医学応用について説明できる。 	
1 6	07/22 (水) 6限	講義	中野 高志 鈴木 茂孝 若月 徹	<ul style="list-style-type: none"> ●医学研究における情報処理技術を理解する。 ●医学データベースについて説明できる。 ●システム生物学について説明できる。 ●バイオインフォマティクスについて説明できる 	大2-1201IT学習室

読書ゼミナール

[教育目標]

日本語を母国語とする私たちは、思考に用いる言語として日本語を使うことをごく当然のことのように考えている。しかし考え方を変えれば、私たちは外国語の授業時間以外は生まれて以降絶えず日本語のトレーニングをしてきたのであり、現在も日々の生活の中でそれを実践していることになる。そのような状況でも、例えば英語を得意とする人と不得意とする人がいるのと同様、トレーニングの違いから日本語の得意な人、不得意な人がいるのは当然のことかもしれない。

この“読書ゼミナール”的授業の目的は、「医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力の涵養と言語による表現力を啓発する」ことにある。医療の世界には広くインフォームド・コンセントが浸透しており、医療従事者には、患者さんや御家族の心情を汲み取った上で適切かつ的確に、かつ曖昧さを極力排して、言葉や文章によって説明できるという能力が強く求められている。このような時代に対応し、学生諸君の思考の基本となる日本語の力が更に鍛磨されることを期待して、この“読書ゼミナール”がカリキュラムに加えられている。講師と一緒にテキストを読み、内容の要旨や論点を把握し、討論や文章作成等の過程を通じて、医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力を高めてもらいたい。

[授業の方法]

1グループ7~10名での演習形式でおこなう。選択したテキストについて、必要に応じて事前学習し、学生自身の司会で、内容の発表とそれについての討論、より発展したテーマについての意見交換を行い、そのまとめを文章として作成する。

[学修目標]

感情や事象の言語による表現に関心を持つようになる。
文章の要点の把握が出来るようになる。
自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現できるようになる。
論理的かつ明晰な文章を作る努力を厭わない持久力を身につける。
課題を決められた様式に従って文書または口頭で発表できる。
医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。
テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。
討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：読書ゼミナールは科学研究の基礎Ⅰの1科目として、日本語によって論理的に考えかつ自分の意見を表現する力を養うとともに、グループ内での円滑なコミュニケーションを学び、専門職連携につながるアセンブリⅠと相互補完的な内容になっている。

垂直統合：科学研究の基礎Ⅰのひとつとして自己学習態度および情報や知識を検証する能力を養い、科学研究の基礎Ⅱ（Human Biology）、科学研究の基礎Ⅲ（医学研究入門、医学研究演習）に発展させる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[授業形態]

- 各グループ当りの学生数：約8名（全体で16グループ）

- テキストの選択

担当教員と使用するテキストのリストが担当教員の項に示されている。それを基に学生自身がそれぞれの担当教員に登録する。

登録者数が不均一の場合は、各グループ間で人数の過不足が無いように調整を行う。テキストを早く読了してしまった場合は新しいテキストを担当教員と学生とで決めることがある。そのグループの構成メンバーを再度他の班に割り振ることはしない。

- 医学部入学後、初めて体験する少人数形式の授業となる。

[準備学習（予習・復習等）]

必要に応じてテキストを事前に読み、関連項目を調べるなどの予習および復習課題を出すことがある。それ各自分程度。担当者の指示に従うこと。

[評価]

演習および演習態度；（卒業コンピテンシー I-4, 5、V-1、パフォーマンス・レベルC・V-3、パフォーマンス・レベルD）

評価は14コマ全部終了した時点で実施する。

どの程度テキストを理解したか、議論に積極的に参加したか、文章作成が的確であったか等を担当教員が総合的に判定する。段階評価による点数制であるため、消極的な議論参加では減点となる。点数の計算法は担当教員に配付してあるが、担当教員が学生の評価に用いる主な項目は以下のとおりである。

- 1) 周到に準備したか？
- 2) テキストの内容を正確に把握したか？
- 3) ストーリーを的確に説明したか？
- 4) ポイントをつく発言をしたか？
- 5) 積極的に討論へ参加したか？
- 6) 人の意見をうのみにせずに吟味したか？
- 7) 討論を上手にまとめたか？
- 8) 感想やまとめを文章化したか？
- 9) 文章による表現が的確であったか？

[フィードバックの方法]

- 問題があればオフィスアワーにおいて対応する。

[注意事項]

この“読書ゼミナール”は実習扱いとする。欠席した場合には速やかに担当教員に申し出て指示を受けること。

[教科書]

・前半7コマ 1時間目

- 角川裕造 『単純な脳、複雑な「私」』 池谷裕二、講談社ブルーバックス
大熊真人 『思考の整理学』 外山滋比古、ちくま文庫
中島 昭 『進化しすぎた脳 一中高生と語る大脳生理学の最前線一』 池谷裕二、講談社ブルーバックス
鏡 裕行 『「余剰次元」と逆二乗則の破れ 我々の世界は本当に三次元か?』 村田次郎、講談社ブルーバックス
若月 徹 『天声人語2019年7月-12月』 朝日新聞論説委員室、朝日新聞出版
佐藤 労 『死ねない時代の哲学』 村上陽一郎、文春新書
石嶺久子 『オー・ヘンリー傑作選』 オー・ヘンリー、大津栄一郎（翻訳）、岩波文庫
吉田友昭 『あるがままに 自閉症です』 東田直樹、（株）エスコアール出版部

・前半7コマ 2時間目

- 下野洋平 『フェルマーの最終定理』 サイモン・シン、青木薰（翻訳）、新潮文庫
守口匡子 『進化から見た病気』 栢内新、講談社ブルーバックス
近藤一直 『ケーキの切れない非行少年たち』 宮口幸治、新潮新書
古澤彰浩 『「科学的思考」のレッスン 学校では教えてくれないサイエンス』 戸田山和久、NHK出版新書
齊藤 成 『新・細胞を読む—「超」顕微鏡で見る生命の姿』 山科正平、講談社ブルーバックス
深澤元晶 『データの見えざる手：ウエアラブルセンサが明かす人間・組織・社会の法則』 矢野 和男、草思社文庫
港 雄介 『FACTFULNESS（ファクトフルネス）10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣』 ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド、上杉周作（翻訳）、関美和（翻訳）、日経BP社
飯塚成志 『すらすら読める徒然草』 中野孝次、講談社文庫

・後半7コマ 1時間目

- 若月 徹 前半7コマと同一テキストを使用
吉田友昭 『小泉八雲集』 小泉 八雲、上田 和夫（翻訳）、新潮文庫
平田ゆかり 『運命を拓く』 中村天風、講談社文庫
一瀬千穂 『アルジャーノンに花束を』 ダニエル・キイス、小尾 芙佐（翻訳）、ハヤカワ文庫
大熊真人 前半7コマと同一テキストを使用
秦 龍二 『人を動かす』 D・カーネギー、山口博（翻訳）、創元社（文庫版）
鏡 裕行 前半7コマと同一テキストを使用
佐藤 労 前半7コマと同一テキストを使用

・後半7コマ 2時間目

- 藤江里衣子 『プロカウンセラーの共感の技術』 杉原保史、創元社
近藤一直 『ヌメロ・ゼロ』 ウンベルト・エーコ、中山 エツコ（翻訳）、河出文庫
八代耕児 『山月記・李陵 他九篇』 中島敦、岩波文庫
濱島 誠 『残酷な進化論』 更科 功、NHK出版新書
古澤彰浩 前半7コマと同一テキストを使用
下野洋平 『サピエンス全史（上）』 ユバール・ノア・ハラリ、柴田裕之（翻訳）、河出書房新社
守口匡子 前半7コマと同一テキストを使用

[使用する教室]

大学2号館13階SGL室など

[コーディネーター]

一瀬 千穂 准教授（薬理学）

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階706
角川 裕造 教授	月曜～金曜	16:00～18:30	大学2号館7階703
守口 匡子 准教授	月曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階703

<医学部・化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～18:00	大学2号館8階803,805

<医学部・生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	大学2号館8階803

<医学部・物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
古澤 彰浩 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (火、水、木、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903

<医学部・数学>

担当者名	曜日	時間	場所
鏡 裕行 准教授	火曜	12:30~13:15	大学2号館9階906

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30~13:20、17:10～	大学2号館8階807

<医学部・倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 労 教授	火曜、水曜、金曜	16:00~18:00	大学2号館8階806

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 教授	月曜～木曜	12:40~13:10	大学2号館9階907

<医学部・解剖学 I >

担当者名	曜日	時間	場所
秦 龍二 教授	月曜、火曜、水曜日	13:00~14:00	大学1号館8階815

<医学部・解剖学 II >

担当者名	曜日	時間	場所
齊藤 成 講師	月曜/火曜	17:20~18:30	大学1号館8階806
石嶺 久子 助教	月曜～金曜（前期） 月曜/火曜（後期）	12:30~13:20, 16:00~17:00 (前期) 17:20~18:30 (後期)	大学1号館8階806
深澤 元晶 講師	月曜/火曜	17:20~18:30	大学1号館8階806

<医学部・生理学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
大熊 真人 講師	隨時：時間指定の場合は m-ohkuma@fujita-hu.ac.jpに連絡	隨時：時間指定の場合は m-ohkuma@fujita-hu.ac.jpに連絡	大学1号館6階604
日高 聰 講師	平日，水曜以外	16:00から	大学1号館6階604

<医学部・生化学>

担当者名	曜日	時間	場所
下野 洋平 教授	月曜日～木曜日	12:30～13:20 17:00～19:00	大学1号館6階605

<医学部・薬理学>

担当者名	曜日	時間	場所
近藤 一直 教授	月曜～金曜	12:30～13:20	大学1号館5階505
一瀬 千穂 准教授	火曜～木曜	16:00～18:00	大学1号館5階504

<医学部・微生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
港 雄介 講師	月曜～金曜	17:00～18:00	大学1号館 8階809

<医学部・法医学>

担当者名	曜日	時間	場所
平田 ゆかり 助教	水曜以外	10:00～17:00	大学1号館地下2階205
濱島 誠 助教	火曜・金曜	16:00～18:00	大学2号館地下2階207

<医学部・医療コミュニケーション>

担当者名	曜日	時間	場所

藤江 里衣子	講師	木曜	12:30~13:20	大学2号館10階1005
--------	----	----	-------------	--------------

[授業日程]

<読書ゼミナール>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/20 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 下野 洋平 近藤 一直 港 雄介	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
2	04/27 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 下野 洋平 近藤 一直 港 雄介	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
3	05/11 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305

			鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 下野 洋平 近藤 一直 港 雄介	○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	大2-1306 大2-1307 大2-1308
4	05/18 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匠子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 下野 洋平 近藤 一直 港 雄介	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
5	05/25 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 角川 裕造 守口 匠子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 下野 洋平 近藤 一直 港 雄介	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
6	06/01 (月)	実習	吉田 友昭 角川 裕造	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力	大2-1301 大2-1302

	1/2限	守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 下野 洋平 近藤 一直 港 雄介	○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
7	06/08 (月) 1/2限	実習 吉田 友昭 角川 裕造 守口 匡子 中島 昭 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 飯塚 成志 齊藤 成 石嶺 久子 深澤 元晶 大熊 真人 下野 洋平 近藤 一直 港 雄介	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
8	06/15 (月) 1/2限	実習 吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 秦 龍二 大熊 真人 日高 聰 下野 洋平 近藤 一直 一瀬 千穂 平田 ゆかり 濱島 誠 藤江 里衣子	読書ゼミナール A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308

9	06/22 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 秦 龍二 大熊 真人 日高 聰 下野 洋平 近藤 一直 一瀬 千穂 平田 ゆかり 濱島 誠 藤江 里衣子	読書ゼミナー <ol style="list-style-type: none"> A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
10	06/29 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 秦 龍二 大熊 真人 日高 聰 下野 洋平 近藤 一直 一瀬 千穂 平田 ゆかり 濱島 誠 藤江 里衣子	読書ゼミナー <ol style="list-style-type: none"> A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
11	07/06 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 秦 龍二 大熊 真人 日高 聰 下野 洋平 近藤 一直 一瀬 千穂 平田 ゆかり	読書ゼミナー <ol style="list-style-type: none"> A-2-1) 課題探求・解決能力 <ul style="list-style-type: none"> ○必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ●医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ●テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ●討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308

			瀬島 誠 藤江 里衣子	じて自分の考えを分かり易く表現できる。	
1 2	07/13 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 秦 龍二 大熊 真人 日高 聰 下野 洋平 近藤 一直 一瀬 千穂 平田 ゆかり 瀬島 誠 藤江 里衣子	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な課題を自ら発見できる。 <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
1 3	07/20 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 秦 龍二 大熊 真人 日高 聰 下野 洋平 近藤 一直 一瀬 千穂 平田 ゆかり 瀬島 誠 藤江 里衣子	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な課題を自ら発見できる。 <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 ● テキストを読み。内容の要旨や論点を理解できる。 ● 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かり易く表現できる。 	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308
1 4	07/27 (月) 1/2限	実習	吉田 友昭 守口 匡子 八代 耕児 古澤 彰浩 鏡 裕行 若月 徹 佐藤 労 秦 龍二 大熊 真人 日高 聰 下野 洋平 近藤 一直	<p>読書ゼミナール</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な課題を自ら発見できる。 <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な事項について理解を深める。 	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308

一瀬 千穂
平田 ゆかり
濱島 誠
藤江 里衣子

- テキストを読み、内容の要旨や論点を理解できる。
- 討論や文章作成等の過程を通じて自分の考えを分かりやすく表現できる。

人の行動と心理 I

[教育目標]

医師が患者とコミュニケーションを取っていく際、患者の思いを理解していくことが大切になる。医療的な知識やスキルが有効に作用する時、そのベースに「理解されている」という安心感や信頼感に支えられた医師－患者関係があることは言うまでもない。そして、患者の思いを理解していくとする場合、人の心の動きについての知識が求められることとなる。

本講義は大きく二部構成になっている。第一部は、心理学の基本的な知識について学んでいく。心理学では「人の行動の背景にはどのような心のメカニズムがあるのか」というテーマについて、実証的なデータが蓄積されてきた。第一部ではこのテーマについて、心の捉え方の歴史、心の発達過程、個人差、社会的関係など多様な観点から概説していく。

第二部では、医療現場で求められるコミュニケーションについて、より具体的に学んでいく。まずはコミュニケーションの概念と技法を概観することから始まり、医師－患者関係の他、チーム医療で求められることについても触れていく。なお、本大学病院において医師の実務経験を有する教員が講義を行う。

なお、本大学病院において医師の実務経験を有する教員が講義を行う。

[授業の方法]

講義。なお講義の中で、アクティブラーニングとして、授業で扱う心理学的知見を体験したり、内容に関して自らの考えをまとめるようなグループワークも実施する。

[学修目標]

心理学の基礎的な知識について学ぶ。

医師－患者関係の特徴について理解する。

良好な医師－患者関係を実現するコミュニケーションスキルについて学ぶ。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：関連する早期臨床体験の担当教員と連携し、学術的知見と現場での学びを相互に補完できる教育内容にしている。

垂直統合：前半8回は内容に関連する具体的な場面・事例を、後半6回は医療現場でのコミュニケーションについて扱い、現場における人間の理解や様々なコミュニケーションに必要な知識を学んでいることを示している。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

講義で学んだところは、配布資料を読み返したり、引用文献に目を通したりすることで理解を深めること。約20～30分程度を目安とする。分からぬところは自分で調べるか、講義後の時間を使って質問すること。

[評価]

知識；(卒業コンピテンシー I-1,4, II-1,3, IV-3)、パフォーマンスレベルD

知識量および理解度の両面を問う定期試験に加え、講義の出席状況、態度をもとに総合的に判定する。

[フィードバックの方法]

- 定期試験終了後、解答および解説を告知する。
- 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。
- 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

特になし

[推薦参考書]

講義の際に随時紹介する。

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室

第10回～第13回のみ、大学2号館6階602講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・医療コミュニケーション>

担当者名	曜日	時間	場所
藤江 里衣子 講師	木曜	12:30～13:20	大学2号館10階1005

<医学部・医学教育企画室>

担当者名	曜日	時間	場所

後藤 和恵	看護長	月曜～金曜	10:00～15:00	大学2号館14階1402
-------	-----	-------	-------------	--------------

[授業日程]

<人の行動と心理 I >

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/16 (木) 5限	講義	藤江 里衣子	人の行動と心理を学ぶ視点 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●人の行動や心理を理解するための視点を概観する。	大2-701
2	04/30 (木) 5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論 1 (社会心理学) A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●対人関係の形成や集団が人の行動に与える影響など、社会的な関係という視点から人の行動や心理を学ぶ。	大2-701
3	05/07 (木) 5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論 2 (発達心理学) C-5-5) 生涯発達 ○ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題を概説できる。 ●人が人生において直面するテーマや成長のプロセス等、発達という視点から人の行動と心理を学ぶ。	大2-701
4	05/14 (木) 5限	講義	藤江 里衣子	心理学各論 3 (動機づけ) C-5-3) 動機付け ○生理的動機（個体保存、種族保存）、内発的動機（活動、感性、好奇、操作等）及び社会的動機（達成、親和、愛着、支配等）を概説できる。 ○動機付けを例示できる。 ●行動を生起させる要因やモチベーションに関連する要因など、動機づけという視点から人の行動や心理を学ぶ。	大2-701
5	05/21 (木)	講義	藤江 里衣子	心理学各論 4 (学習) C-5-1) 人の行動	大2-701

	5限			<ul style="list-style-type: none"> ○行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。 ●行動が習慣付く時や新しい行動を獲得する時のメカニズムなど、学習という視点から人の行動と心理を学ぶ。 	
6	05/28 (木) 5限	講義	藤江 里衣子	<p>心理学各論 5 (認知心理学) C-5-1) 人の行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。 ●人が記憶し、推論し、意思決定をする際に生じるメカニズムなど、認知という視点から人の行動と心理を学ぶ。 	大2-701
7	06/18 (木) 5限	講義	藤江 里衣子	<p>心理学各論 6 (個人差) C-5-6) 個人差</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パーソナリティの類型と特性を概説できる。 ○パーソナリティの形成を概説できる。 ●パーソナリティなど、人の行動や心理の背景にある個人差について学ぶ。 	大2-701
8	06/23 (火) 4限	講義	藤江 里衣子	<p>心理学各論 7 (臨床心理学) A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ●心の問題を解釈する視点やそれに対する治療など、人の行動や心理への治療的アプローチについて学ぶ。 	大2-701
9	06/25 (木) 5限	講義	藤江 里衣子	<p>コミュニケーションの概要 A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 <p>C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○効果的な対人コミュニケーションを説明できる。 ●コミュニケーションの構成要素やその種類を理解すること 	大2-701

				により、医師—患者関係の基礎を学ぶ。	
1 0	07/02 (木) 5限	講義	藤江 里衣子	<p>コミュニケーションの技法</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○ 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 <p>C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。 ● コミュニケーションの具体的な技法を理解することにより、医師—患者関係の基礎となるスキルを学ぶ。 	大2-602
1 1	07/09 (木) 5限	講義	藤江 里衣子 後藤 和恵	<p>医師文化と患者の心理</p> <p>A-1-2) 患者中心の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 <p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○ 患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ● 医師の世界や医師文化、患者の世界や心理について理解することで、医師—患者関係で留意すべき点について学ぶ。 	大2-602
1 2	07/09 (木) 6限	講義	藤江 里衣子 後藤 和恵	<p>医師—患者関係</p> <p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○ 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 ○ 患者のプライバシーに配慮できる。 ● 医師と患者の良好な関係やその意義を学ぶことで、医師—患者関係において求められる基礎を理解する。 	大2-602
1 3	07/16 (木)	講義	藤江 里衣子 後藤 和恵	医療現場で求められるコミュニケーション	大2-602

	5限			<p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者に分かりやすい言葉で説明できる。 ○ 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チーム医療の意義を説明できる。 ○ 自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 ● 医療現場で求められるコミュニケーションの具体例を学ぶことにより、医療コミュニケーションについての理解を深める。 	
1 4	07/16 (木) 6限	講義	藤江 里衣子	<p>医師の心のセルフケア</p> <p>A-6-3) 医療従事者の健康と安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。 <p>C-5-4) ストレス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人生、日常生活や仕事におけるストレッサーとその健康への影響を例示できる。 ○ ストレス対処法を概説できる。 ● 医療現場で陥りやすい心理状態や、それへの対応を理解することで、医師の心のセルフケアを学ぶ。 	大2-701

医学教育入門

[教育目標]

学問や科学技術の進歩と社会の変化に対応した生涯学習者としての態度を理解することを目標とします。生涯学習とは、学校において行われる学習のみならず、地域・社会で行われている学習をも含んだ包括的な概念です。科学技術の発展に伴い、医学の情報量も飛躍的に増加しています。医学部在学中に学んだ知識を基にして、卒業後も積極的に自己学習を行う必要があります。大学における学習方法は高校までの学習方法とは異なること、大学卒業後も自分で発見した課題を自己学習によって解決するための能力が必要とされることを理解する必要があります。

[授業の方法]

PBL体験授業だけでなく最終回のまとめ授業では、教員から提示された課題に対して、自ら調査した資料を基にして8名程度のグループでディスカッションを行い、その結果を他のグループに対してプレゼンテーションを行う。また、文献検索の授業では、パソコンを用いて文献情報の検索方法を学ぶ。これはPBL体験授業および最終回のまとめ授業に用いる文献の検索には有効である。

[学修目標]

医学教育の仕組みを理解することができる。

自分の将来像を見据えてキャリア・デザインを考えることができる。

レポートの書き方、文献検索方法など、大学生にとり不可欠な学習方法を実践できる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：早期臨床体験の授業内容の理解を補完できる教育内容にしている。

垂直統合：2年生以降で学ぶ基礎医学・臨床医学の講義や病院実習の重要性を理解できる教育内容にしている。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

疑問に思ったことは質問し、分からないまま放置しないこと。また、事前課題が出された場合は、15分程度を目安に取り組むこと。講義中の指示をしっかりと聞き、守ること。

[評価]

(卒業コンピテンス I-5、III-1、V-1, 2, 3)、パフォーマンス・レベルD
レポートとポートフォリオを評価する。

[フィードバックの方法]

ポートフォリオとレポートについて、評価して返却する。

[教科書]

なし

[推薦参考書]

なし

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室、12階IT学習室、13階SGL室

[実習場所]

大学2号館14階スキルスラボ

[コーディネーター]

中島 昭 教授 (生理化学)

[担当教員・オフィスアワー]

<大学・図書情報課>

担当者名	曜日	時間	場所
湯川 望 兼任講師		※講義終了後に対応	

中島 志保	兼任講師		※講義終了後に対応	
奥澤 喜代	兼任講師		※講義終了後に対応	

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
角川 裕造 教授	月曜～金曜	16:00～18:30	大学2号館7階703
守口 匡子 准教授	月曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階703

<医学部・生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	大学2号館8階803

<医学部・物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鴨下 淳一 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (水、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20、17:10～	大学2号館8階807

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 教授	月曜～木曜	12:40～13:10	大学2号館9階907
石原 慎 教授	月曜・水曜・金曜	部屋前に掲示	大学2号館10階1006

<医学部・臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所

大槻 真嗣 教授	水曜	12:30~13:20, 16:40~18:00	大学2号館10階1007
----------	----	--------------------------	--------------

<医学部・生化学>

担当者名	曜日	時間	場所
林 孝典 講師	月曜日～木曜日	12:30～13:20 17:00～19:00	大学1号館6階605

<医学部・薬理学>

担当者名	曜日	時間	場所
近藤 一直 教授	月曜～金曜	12:30～13:20	大学1号館5階505
狩野 泰輝 助教	月～金曜	16:00～18:00	大学1号館5階505

<医学部・小児科学>

担当者名	曜日	時間	場所
吉川 哲史 教授	月曜日～金曜日	9:00～16:30	小児科学医局（医局秘書に取次ぎを依頼すること）

<医学部・腎泌尿器外科学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐々木 ひと美 教授	月曜～土曜	9：30～17：00	C-12 泌尿器科医局、又は講義終了後に対応

<医学部・耳鼻咽喉科・頭頸部外科学>

担当者名	曜日	時間	場所
岩田 義弘 講師	木曜日	15:00～17:00	スタッフ館Ⅱ5階 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局

<医学部・医学教育企画室>

担当者名	曜日	時間	場所
後藤 和恵 看護長	月曜～金曜	10:00～15:00	大学2号館14階1402

<医学部・生理学 I >

担当者名	曜日	時間	場所
河田 美穂 助教	月曜～金曜	17:00～19:00	大学1号館4階410

[授業日程]

<医学教育入門A>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/13 (月) 1限	講義	中島 昭	カリキュラム概論 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ●本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考にして編成されていることを説明できる。	大2-701
2	04/13 (月) 4限	講義	佐々木 ひと美	女性医師のキャリアデザイン A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ●医師としての多様なキャリアを説明できる。	大2-701
3	04/16 (木) 3限	講義	角川 裕造 中島 昭	基礎医学展望：生物学と生理学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ●生理学を理解するために生物学の知識が必要であることを説明できる。 ●基礎医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	大2-701
4	04/24 (金) 6限	講義	近藤 一直	研究者としての道 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 ○研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的	大2-701

				として行われるべきことを説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ●医師としての多様なキャリアを説明できる。	
5	04/27 (月) 4限	講義	吉川 哲史	研修医の生活 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ●医師としての多様なキャリアを説明できる。	大2-701
6	05/01 (金) 6限	講義	鴨下 淳一 岩田 義弘	臨床医学展望：物理学と耳鼻咽喉科学の関係 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ●耳鼻咽喉科学を理解するため物理学の知識が必要であることを説明できる。 ●臨床医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。	大2-701
7	05/08 (金) 6限	講義	石原 慎	臨床医としての道 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯学習の重要性を説明できる。 ●医師としての多様なキャリアを説明できる。	大2-701
8	05/15 (金) 3限	講義	守口 匠子 若月 徹 飯塚 成志 大槻 真嗣 林 孝典 狩野 泰輝 河田 美穂	PBLの説明と実践(1) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 ●藤田式PBLを理解できる。 ●PBLの教育方法と教育効果を説明できる。	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308 大2-1309 大2-1310

					大2-1311 大2-1312
9	05/29 (金) 3限	講義	守口 匡子 若月 徹 飯塚 成志 大槻 真嗣 林 孝典 狩野 泰輝 河田 美穂	PBLの説明と実践(2) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 ●PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ●藤田式PBLを理解できる。	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312
10	06/12 (金) 1限	講義	湯川 望 中島 志保 奥澤 喜代	図書館の利用と文献検索方法 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 ●国内外の教科書・論文を検索して収集することができる。	大2-1201IT学習室
11	06/19 (金) 5限	講義	中島 昭 石原 慎 後藤 和恵	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ●OSCEとCBTの目的を説明できる。 ●知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	大2-1201IT学習室 大2-14階シミュレーション
12	06/19 (金) 6限	講義	中島 昭 石原 慎 後藤 和恵	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ●OSCEとCBTの目的を説明できる。 ●知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	大2-14階シミュレーション
13	06/26 (金) 2限	講義	中島 昭 後藤 和恵	グループワーク：キャリア・デザインの構築 A-2-2) 学修の在り方	大2-809 大2-810

				<p>○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯学習の重要性を説明できる。</p> <p>●医師のキャリアを説明できる。</p>	
1 4	06/26 (金) 3限	講義	中島 昭 後藤 和恵	<p>グループワーク：キャリア・デザインの構築</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <p>○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯学習の重要性を説明できる。</p> <p>●医師のキャリアを説明できる。</p>	大2-809 大2-810

<医学教育入門B>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/13 (月) 1限	講義	中島 昭	<p>カリキュラム概論</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯学習の重要性を説明できる。</p> <p>●本学のカリキュラムが医学教育モデル・コアカリキュラムを参考にして編成されていることを説明できる。</p>	大2-701
2	04/13 (月) 4限	講義	佐々木 ひと美	<p>女性医師のキャリアデザイン</p> <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <p>○チーム医療の意義を説明できる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <p>○生涯学習の重要性を説明できる。</p> <p>●医師としての多様なキャリアを説明できる。</p>	大2-701
3	04/16 (木) 3限	講義	角川 裕造 中島 昭	<p>基礎医学展望：生物学と生理学の関係</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <p>○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位</p>	大2-701

				<p>付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生理学を理解するために生物学の知識が必要であることを説明できる。 ● 基礎医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。 	
4	04/24 (金) 6限	講義	近藤 一直	<p>研究者としての道</p> <p>A-8-1) 医学研究への志向の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。 	大2-701
5	04/27 (月) 4限	講義	吉川 哲史	<p>研修医の生活</p> <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チーム医療の意義を説明できる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。 	大2-701
6	05/01 (金) 6限	講義	鴨下 淳一 岩田 義弘	<p>臨床医学展望：物理学と耳鼻咽喉科学の関係</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 耳鼻咽喉科学を理解するため物理学の知識が必要であることを説明できる。 ● 臨床医学を理解する上で基礎科学の知識が重要であることを説明できる。 	大2-701
7	05/08 (金) 3限	講義	守口 匡子 若月 徹 飯塚 成志 大槻 眞嗣 林 孝典 狩野 泰輝 河田 美穂	<p>PBLの説明と実践(1)</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な課題を自ら発見できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ● 藤田式PBLを理解できる。 	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308 大2-1309

					大2-1310 大2-1311 大2-1312
8	05/08 (金) 6限	講義	石原 慎	臨床医としての道 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師としての多様なキャリアを説明できる。	大2-701
9	05/22 (金) 3限	講義	守口 匡子 若月 徹 飯塚 成志 大槻 真嗣 林 孝典 狩野 泰輝 河田 美穂	PBLの説明と実践(2) A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● PBLの教育方法と教育効果を説明できる。 ● 藤田式PBLを理解できる。	大2-1301 大2-1302 大2-1303 大2-1304 大2-1305 大2-1306 大2-1307 大2-1308 大2-1309 大2-1310 大2-1311 大2-1312
10	06/05 (金) 5限	講義	中島 昭 石原 慎 後藤 和恵	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● OSCEとCBTの目的を説明できる。 ● 知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	大2-1201IT学習室 大2-14階シミュレーション
11	06/05 (金) 6限	講義	中島 昭 石原 慎 後藤 和恵	座学から臨床実習へ：OSCEとCBTの理解 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○ 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ● OSCEとCBTの目的を説明できる。 ● 知識・技能・態度の中でCBTでは知識が、OSCEでは技能・態度が評価されることを説明できる。	大2-14階シミュレーション

1 2	06/19 (金) 1限	講義	湯川 望 中島 志保 奥澤 喜代	<p>図書館の利用と文献検索方法</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な課題を自ら発見できる。 ● 国内外の教科書・論文を検索して収集することができる。 	大2-1201IT学習室
1 3	07/03 (金) 2限	講義	中島 昭 後藤 和恵	<p>グループワーク：キャリア・デザインの構築</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師のキャリアを説明できる。 	大2-909 大2-910
1 4	07/03 (金) 3限	講義	中島 昭 後藤 和恵	<p>グループワーク：キャリア・デザインの構築</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習の重要性を説明できる。 ● 医師のキャリアを説明できる。 	大2-909 大2-910

生老病死の人間学

[教育目標]

現代日本における、さまざまな医学・医療のあり方について考える。とくに「生」「老」「病」「死」の問題を把握し、それらの視点から人間の生命のあり方を学び、より充実した生とは何かを考える。

[授業の方法]

講義 なお、講義の中で、アクティブラーニングとして（グループワーク）を実施する。

[学修目標]

1. 現代の「生」「老」「病」「死」の本質について考えることができる。
2. 不可避の「死」を自覚し、「生」を充実させること、そして他者の生命の尊さに気付き、死の危機にある人々や、悲嘆のプロセスにある人を援助する力を身につけることができる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：関連する生命倫理学の担当教員と連携し、相互補完的な教育内容にしている。

垂直統合：プロフェッショナリズムⅠおよびⅡおよびⅢと関連している。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[作業形態]

「講義」を中心として各分野で著名な特別講師をお願いしてある。視聴覚教材の活用も必要に応じて行う。講義内容についての「討論・発表会」を2回設定している。小グループに分けて討論し・発表するので、そのつもりで毎回の講義を聴き、自分の意見を作り出のこと。異なった他人の意見に耳を傾け、より深い理解と意見の形成を目指す。

出席票とメモを毎回記載する。レポートは前期・後期に指定された講演についてMSWordにより提出する。医療検査学科2年生との合同授業である。藤田学園のアセンブリ教育、チーム医療の育成を目的としている。

[準備学習（予習・復習等）]

シラバスを見てテーマについて予習する。討論会に備えて復習する。それぞれ約30分を目安とする。

[評価]

レポートと、授業への出席状況・態度などを総合的に評価して評価し、成績に応じて再試験を行う。（卒業コンピテンシー I-1～7、II-1～3、III-1～3、V-1、VII-2）、パフォーマンスレベルD

[フィードバックの方法]

- ・レポートや課題についての解説を行う。

[教科書]

なし

[推薦参考書]

随時指示する

[使用する教室]

フジタホール500、大学2号館8階、9階、12階中教室

[コーディネーター]

佐藤 労 教授（倫理学）

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所
佐藤 労 教授	火曜、水曜、 金曜	16:00～18:00	大学2号館8階806

<医学部・外科・緩和医療学>

担当者名	曜日	時間	場所

東口 高志 教授	火曜日	10:20~11:30、11:40~12:50	スタッフ館Ⅱ7階 外科・緩和医療学医局
----------	-----	-------------------------	---------------------

<医学部・臨床薬剤科>

担当者名	曜日	時間	場所
山田 成樹 教授	月曜	16:00~17:00	病院薬剤部

<治験・臨床研究支援センター>

担当者名	曜日	時間	場所
脇之菌 真理 助手		※講義終了後に対応	701講義室

<医学部・移植・再生医学>

担当者名	曜日	時間	場所
剣持 敬 教授	月曜日	13:00~17:00	C棟12階 移植・再生医学医局

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
大谷 貴子 客員教授		※講義終了後に対応	
長谷川 ふき子 客員教授		※講義終了後に対応	
内海 真 客員教授		※講義終了後に対応	
丹羽 咲江 客員准教授		※講義終了後に対応	
萬屋 育子 客員講師		※講義終了後に対応	
三浦 久幸 客員教授		※講義終了後に対応	
永田 雅子 客員教授		※講義終了後に対応	
杉本 直子 兼任講師		※講義終了後に対応	
山田 真由美 客員講師		※講義終了後に対応	

<医療科学部・医療検査学科 臨床病態解析学>

担当者名	曜日	時間	場所
大江 瑞恵 准教授	月曜日～金曜日	12:15～12:45	大学3号館-3F-304

[授業日程]

<生老病死の人間学>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/14 (火) 5限	講義	佐藤 労	倫理学教授 「生老病死の人間学」ガイダンス A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ 医学・医療の歴史的な流れ とその意味を概説できる。 F-2-16) 緩和ケア ○ 死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。	施設-フジタホール500
2	04/21 (火) 5限	講義	佐藤 労 大谷 貴子 大江 瑞恵	全国骨髄バンク推進連絡協議会会長 「元白血病患者から見た医療者への期待」 A-1-2) 患者中心の視点 ○ 患者の自己決定権の意義を説明できる。 A-4-2) 患者と医師の関係 ○ 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	施設-フジタホール500
3	04/28 (火) 5限	講義	佐藤 労 東口 高志 大江 瑞恵	外科・緩和医療学教授 「末期癌患者さんの日々から学ぶこと」 ● 緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む）を概説できる。 ● 全人的苦痛を説明できる。	施設-フジタホール500
4	05/12 (火) 5限	講義	佐藤 労 三浦 久幸 大江 瑞恵	国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長 「地域連携とアドバンス・ケア・プランニング」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○ 患者と家族の精神的・身体	施設-フジタホール500

				的苦痛に十分配慮できる。 ○患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	
5	05/19 (火) 5限	講義	佐藤 労 丹羽 咲江 大江 瑞恵	咲江レディスクリニック院長、 愛知・思春期研究会会長 「愛、性、避妊、中絶」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者のプライバシーに配慮できる。 ○患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	施設-フジタホール500
6	05/26 (火) 5限	講義	佐藤 労 杉本 直子 大江 瑞恵	ダウン症とその他の染色体しようがい児・者親の会「エンジエル」代表 「ダウン症の娘とともに」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者のプライバシーに配慮できる。	施設-フジタホール500
7	06/02 (火) 5限	講義	佐藤 労 剣持 敬 大江 瑞恵	移植・再生医学 「移植医療の現状と課題」 A-1-2) 患者中心の視点 ○患者の自己決定権の意義を説明できる。 A-1-3) 医師としての責務と裁量権 ○医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	施設-フジタホール500
8	06/09 (火) 5限	講義	佐藤 労 脇之園 真理 大江 瑞恵	討論・発表会① A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 ○研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	大2-603 大2-701 大2-809 大2-810 大2-909 大2-910
9	06/16	講義	佐藤 労	愛知県地域医療支援センター長	施設-フジタホール50

	(火) 5限	内海 真 大江 瑞恵	「HIVとともに生きる」 A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ○課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。	0
1 0	06/23 (火) 5限	講義 佐藤 労 萬屋 育子 大江 瑞恵	子どもの虐待防止ネットワーク あいち (CAPNA) 代表 「子どもを虐待から守る ~児童相談所・関係機関の役割と連携について~」 A-4-1) コミュニケーション ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者のプライバシーに配慮できる。	施設-フジタホール50 0
1 1	06/30 (火) 5限	講義 佐藤 労 永田 雅子 大江 瑞恵	名古屋大学 心の発達支援研究実践センター 「周産期のこころのケア」 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	施設-フジタホール50 0
1 2	07/07 (火) 5限	講義 佐藤 労 長谷川 ふき子 大江 瑞恵	弁護士 「医療訴訟に弁護士としてかかわって」 E-9-1) 生物的死と社会的死 ○新薬開発の必要性を理解できる。 ●人間に対する薬の実験的投与の条件を整理できる。	施設-フジタホール50 0
1 3	07/14 (火) 5限	講義 佐藤 労 山田 成樹 大江 瑞恵	薬剤部部長、臨床薬剤科教授 「薬害と治験」 ●人間に対する薬の実験的投与の条件を整理できる。	施設-フジタホール50 0
1 4	07/21 (火)	講義 佐藤 労 山田 真由美	若年性認知症・当事者 「認知症（老年・若年）を知	施設-フジタホール50 0

	5限		大江 瑞恵	り、どう寄り添うか」 A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。	
1 5	07/28 (火) 5限	講義	佐藤 労 脇之園 真理 大江 瑞恵	討論・発表会② A-2-1) 課題探求・解決能力 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	大2-603 大2-701 大2-809 大2-810 大2-909 大2-910

生命倫理学

[教育目標]

倫理学とは「人倫の理法」の省略形であり、人倫とは「人のみち」の意味である。ギリシャ語ではエーツ（慣習）の学であり、生活の規則を対象とする学問である。そして生命倫理学は、人間の生命に関する慣習を扱う。ただし、現在ではこの生命に関する価値観は、医療の高度化にともない再考を迫られている。それゆえ現在の倫理観だけでなく、将来の倫理観を考察するのも、生命倫理学の目的でもある。

授業では、生命に関する倫理観を、さまざまな角度から考察する。そして、医療に携わる人間が持つべき基本的な思考方法を身につけてもらう。そのために、この授業では、たんに講義を聞くだけではなく、自ら考える姿勢を育てるために、グループワークを取り入れている。

授業は、大きく4つのテーマに分けられる。生殖補助医療の倫理学、人工妊娠中絶の倫理学、移植医療の倫理学、終末期医療の倫理学である。各テーマは、講義・視覚教材・討論発表を基本ユニットとする。討論発表では、コアケースを用意するので、それをもとにグループでケースを想像し発展させ、発表してもらう。コアケースを発展させるために、調べて、理由づけを深めてもらう。

また、臨床で働くコメディカル（看護師、移植コーディネーター、臨床研究センター）から話を聞く場も設けているので、より専門的な話題を聞くことが出来る。

2学年から動物実験を行うことが少なくないので動物実験とともに動物の倫理学と、医学研究の倫理学を最後に講義する。

[授業の方法]

講義 なお、講義の中で、アクティブラーニングとして（ディスカッション／プレゼンテーション／グループワーク）を実施する。

[学修目標]

- (1) 医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。
- (2) 患者の基本的権利を熟知し、これらに関する現状の問題点を学ぶ。
- (3) 患者のために全力を尽くす医師に求められる医師の義務と裁量権に関する基本的態度、習慣、考え方と知識を身につける。
- (4) 将来、患者本位の医療を実践できるように、適切な説明を行った上で主体的な同意をうるために、対話能力と必要な態度、考え方を身につける。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：関連する「生老病死の人間学」と連携し、相互補完的な教育内容にしている。

垂直統合：「プロフェッショナリズムⅡ」「プロフェッショナリズムⅢ」での症例問題により、より発展的な知識を学ぶ予定である。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

予習は、各テーマについて十分に事前学習をしておくこと。復習は、配布資料を熟読すること。それぞれ30分程度を目安とする。

[評価]

(卒業コンピテンス I-1～7、III-1～3、V-1)、パフォーマンス・レベルD
提出物とレポート、定期試験、授業態度などで総合的に評価する。

[フィードバックの方法]

- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

[教科書]

隨時資料配布

[使用する教室]

大学2号館 7階701講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<治験・臨床研究支援センター>

担当者名	曜日	時間	場所
脇之薙 真理 助手		※講義終了後に対応	701講義室

<医学部・倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所

佐藤 労	教授	火曜、水曜、金曜	16:00~18:00	大学2号館8階806
------	----	----------	-------------	------------

<第1・看護内視鏡センター>

担当者名	曜日	時間	場所
渡邊 美佳 主任		※講義終了後に対応	701講義室

<第1・看護移植センター>

担当者名	曜日	時間	場所
林 未佳子 副主任		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<生命倫理学>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/07 (水) 2限	講義	佐藤 労	生命倫理学とは何か A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ 医学・医療の歴史的な流れ とその意味を概説できる。 ○ 臨床倫理や生と死に関わる 倫理的問題を概説できる。 ○ ヒポクラテスの誓い、ジュ ネーブ宣言、医師の職業倫 理指針、医師憲章等医療の 倫理に関する規範を概説で きる。	大2-701
2	10/21 (水) 2限	講義	佐藤 労	倫理的価値の序列・家系図 A-1-2) 患者中心の視点 ○ リスボン宣言等に示された 患者の基本的権利を説明で きる。 ○ 患者の自己決定権の意義を 説明できる。 ○ 選択肢が多様な場合でも適 切に説明を行い患者の価値 観を理解して、患者の自己 決定を支援する。	大2-701
3	10/28 (水) 2限	講義	佐藤 労	生殖補助医療の倫理学（講義） A-1-3) 医師としての責務と裁量 権	大2-701

				<ul style="list-style-type: none"> ○患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ○医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 	
4	11/04 (水) 4限	講義	佐藤 労	<p>生殖補助医療の倫理学（ビデオ鑑賞・ワーク）</p> <p>A-1-2) 患者中心の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。 	大2-701
5	11/11 (水) 4限	講義	佐藤 労	<p>生殖補助医療の倫理学（ケース作成）</p> <p>A-2-1) 課題探求・解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○必要な課題を自ら発見できる。 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 	大2-701
6	11/18 (水) 4限	講義	佐藤 労	<p>人工妊娠中絶の倫理学（講義）</p> <p>A-1-3) 医師としての責務と裁量権</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 	大2-701
7	11/25 (水) 4限	講義	佐藤 労	<p>人工妊娠中絶の倫理学（ビデオ鑑賞・ワーク）</p> <p>A-1-3) 医師としての責務と裁量権</p> <ul style="list-style-type: none"> ○患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 ○医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 	大2-701
8	12/09	講義	佐藤 労	人工妊娠中絶の倫理学（ケース	大2-701

	(水) 2限			作成) A-1-2) 患者中心の視点 ○患者の自己決定権の意義を説明できる。 ○選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	
9	12/16 (水) 2限	講義	佐藤 労 渡邊 美佳 林 未佳子	移植医療の倫理学（講義） A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	大2-701
10	12/23 (水) 2限	講義	佐藤 労	移植医療の倫理学（ビデオ鑑賞・ワーク） A-2-2) 学修の在り方 ○得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	大2-701
11	01/06 (水) 2限	講義	佐藤 労	移植医療の倫理学（ケース作成） A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。 ○患者に分かりやすい言葉で説明できる。	大2-701
12	01/13 (水) 2限	講義	佐藤 労	終末期医療の倫理学（講義） A-4-2) 患者と医師の関係 ○患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ○医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	大2-701
13	01/20 (水) 2限	講義	佐藤 労	終末期医療の倫理学（ビデオ鑑賞・ワーク） A-2-1) 課題探求・解決能力 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方	大2-701

				法を発見し、課題を解決できる。	
1 4	01/27 (水) 2限	講義	佐藤 労	終末期医療の倫理学（ケース作成） A-2-2) 学修の在り方 ○ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	大2-701
1 5	01/27 (水) 3限	講義	脇之園 真理 佐藤 労	動物実験の倫理、研究倫理、まとめ A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ○ 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ○ ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 ○ 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。 B-3-1) 倫理規範と実践倫理 ○ 医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。	大2-701

プロフェッショナリズムⅠ

[教育目標]

医師のプロフェッショナルとして必要な医療コミュニケーションには、医師－患者・家族間、医師－医師間やチーム医療としての多職種間のコミュニケーションがあります。そのような多様なコミュニケーションを良好に築くためには、まず社会の中で生きる人としての自己を確立する必要があります。そして、患者・家族、同僚、他職種とのコミュニケーションを確立する必要があります。この授業では様々なテーマの「実習」を通して医療コミュニケーションの基礎を習得します。なお、本大学病院において医師の実務経験を有する教員が講義を行う。

[授業の方法]

アクティブラーニングとして、ラーニングトリオやグループディスカッションから発表を行う能動型学修に重点を置いた実習を行う。

[学修目標]

協調性、社会性を有して行動できる。

お互いの立場を尊重して、相手から信頼される関係を築ける。

陰性感情の人とコミュニケーションできる。

患者中心の医療の基礎を理解できる。

他の医療従事者となる学生と専門職の立場から良好なコミュニケーションを実践できる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：アセンブリⅠ、人の行動と心理Ⅰと連動している。

垂直統合：これを基礎としてプロフェッショナリズムⅡ、ⅢやアセンブリⅡ、Ⅲが実施される。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

関係項目を各自30分程度予習・復習を行うこと。

[評価]

- (1)記述試験（卒業コンピテンシーIII-2,3）パフォーマンスレベルD
(2)「振り返りシート」、「レポート」（卒業コンピテンシーI-1,4,5,6 II-1）、パフォーマンスレベルC
実習を振り返り感じたこと気づいたことを記載する「振り返りシート」、「レポート」の提出状況や内容を評価する。
(3)学修態度；（卒業コンピテンシーI-1,4,6 II-1）、パフォーマンスレベルC
遅刻や名札忘れがないか、医学生として常識ある受講態度であったか、実習に積極的に参加したかを評価する。

[フィードバックの方法]

レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。

[教科書]

特になし

[推薦参考書]

特になし

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室(病院実習の出席確認時)

[実習場所]

大学2号館6階601、602、603講義室
大学3号館4階アクティブラーニング室
藤田医科大学第一教育病院

[コーディネーター]

石原 慎 教授（地域医療学）

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・倫理学>

担当者名	曜日	時間	場所

佐藤 労 教授	火曜、水曜、金曜	16:00~18:00	大学2号館8階806
---------	----------	-------------	------------

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
半谷 真七 客員准教授		※講義終了後に対応	
亀井 浩行 客員講師		※講義終了後に対応	

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
石原 慎 教授	月曜・水曜・金曜	部屋前に掲示	大学2号館10階1006

<医学部・医療コミュニケーション>

担当者名	曜日	時間	場所
藤江 里衣 子 講師	木曜	12:30~13:20	大学2号館10階1005

<医学部・地域医療学>

担当者名	曜日	時間	場所
田口 智博 講師	月曜日～水曜日	月：13:00-17:00、火：14:30-17:00、水：9:00-12:00	スタッフ館I 604 連携地域医療学医局

[授業日程]

<プロフェッショナリズムⅠ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	09/28 (月) 1/2限	実習	石原 慎	ガイダンス 医師のプロフェッショナリズム とは A-1-1) 医の倫理と生命倫理 ○ヒポクラテスの誓い、ジュ ネーブ宣言、医師の職業倫 理指針、医師憲章等医療の	大2-701

				<p>倫理に関する規範を概説できる。</p> <p>A-4-2) 患者と医師の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 ● プロフェッショナリズム I ガイダンス 	
2	10/05 (月) 1/2限	実習	石原 慎 藤江 里衣子	<p>怒る人とのコミュニケーション (Aグループ)</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <p>C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。 ○ 主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。 ○ 効果的な対人コミュニケーションを説明できる。 ○ 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。 	大2-602
3	10/12 (月) 1/2限	実習	石原 慎 藤江 里衣子	<p>怒る人とのコミュニケーション (Bグループ)</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <p>C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。 ○ 主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。 	大2-602

				<p>○効果的な対人コミュニケーションを説明できる。</p> <p>○話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。</p> <p>●自己概念について説明できる。</p>	
4	10/14 (水) 2限	実習	佐藤 労 半谷 真七子 亀井 浩行 石原 慎 藤江 里衣子 田口 智博	<p>専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習</p> <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 	大2-601 大2-603
5	10/14 (水) 3限	実習	佐藤 労 半谷 真七子 亀井 浩行 石原 慎 藤江 里衣子 田口 智博	<p>専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習</p> <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 	大2-601 大2-603
6	10/14 (水) 4限	実習	佐藤 労 半谷 真七子 亀井 浩行 石原 慎 藤江 里衣子 田口 智博	<p>専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習</p> <p>A-5-1) 患者中心のチーム医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 	大2-601 大2-603

				○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	
7	10/14 (水) 5限	実習	佐藤 労 半谷 真七子 亀井 浩行 石原 慎 藤江 里衣子 田口 智博	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	大2-601 大2-603
8	10/14 (水) 6限	実習	佐藤 労 半谷 真七子 亀井 浩行 石原 慎 藤江 里衣子 田口 智博	専門職連携Basic:名城大学薬学部学生との合同実習 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 ○医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 ○自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	大2-601 大2-603
9	10/19 (月) 1/2限	実習	石原 慎 藤江 里衣子	拒絶的な人とのコミュニケーション（Aグループ） A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 C-5-7) 対人関係と対人口コミュニケーション	大2-602

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。 ○ 主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。 ○ 効果的な対人コミュニケーションを説明できる。 ○ 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。 	
1 0	10/26 (月) 1/2限	実習	石原 慎 藤江 里衣子	<p>拒絶的な人とのコミュニケーション（Bグループ）</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 <p>C-5-7) 対人関係と対人コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。 ○ 主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。 ○ 効果的な対人コミュニケーションを説明できる。 ○ 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。 	大2-603
1 1	11/02 (月) 1/2限	実習	石原 慎	<p>臨床現場を体験する（Aグループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医師の仕事を見学する。 	大2-701
1 2	11/09 (月) 1/2限	実習	石原 慎	<p>臨床現場を体験する（Bグループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医師の仕事を見学する。 	大2-701
1 3	11/16 (月) 1/2限	実習	石原 慎 田口 智博	<p>患者中心の視点</p> <p>A-1-2) 患者中心の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 ○ 患者の自己決定権の意義を説明できる。 ○ 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値 	大2-603

観を理解して、患者の自己決定を支援する。

- インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。

A-1-3) 医師としての責務と裁量権

- 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。

- 患者及びその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、常に患者 中心の立場に立つ

早期臨床体験

[教育目標]

- チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る能力を身につける。
- 患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別の背景を理解し、問題点を把握する能力を身につける。
- 医師になるための動機付けを高め、チーム医療の実際を学ぶために必要な考え方や態度を身につける。
なお、本大学病院にて医師の実務経験を有する教員が講義を行う。

[授業の方法]

講義と実習 なお講義の中で、アクティブラーニングとしてディスカッション／プレゼンテーション／グループワークを実施する。また、ICT教育として、課題として手技を動画配信し、グループで手技を撮影してファイルを提出する双方向IT実習を実施する。

[学修目標]

- 病院の機能を知る。（知識）看護部・臨床検査部・食養部・放射線部・薬剤部・事務局
- チーム医療を支える様々な医療職に触れ、チーム医療の必要性を理解し、臨床現場を見学・体験する。（知識・態度）
- 医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の確立に役立つ能力を身につける。（知識・態度）
- 社会人としてのマナーを守る。（態度）自己紹介、挨拶、時間の厳守、服装
- 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。（態度）
- 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。（態度）
- 患者に分かりやすい言葉で対話できる。（態度）
- 医療スタッフと適切なコミュニケーションができる。（態度）

[水平統合・垂直統合]

水平統合：関連する医学教育入門・プロフェッショナリズムの担当教員と連携し、相互補完的な教育内容についている。

垂直統合：1年後期から高学年にわたって続くプロフェッショナリズム教育カリキュラムへの効果的な導入となることを企図する。

[概要]

卒業後、大部分が臨床医としての道を選ぶ本学医学部生に対して、入学した早期の段階より医療（臨床）の現場を体験させることを目的として行われるのが、Early Clinical Exposure（早期臨床体験）である。

学生がグループ毎に大学病院内の各部門において、その日常業務を見学・体験するなど、大学病院各部門の現場体験をすることにより、医学部に入学したという実感を持ち、近い将来尊敬されるべき医師となるための自覚を促す。

医学的知識をほとんど持っていない時期に行われる実習であり、専門的な知識や手技の修得を目的としたものではない。チーム医療の実践を学ぶために必要な考え方や態度を身につけ、学生自身が今後何をなすべきか考えることを主眼としている。

さらに年間を通して学生が交代で大学病院中央玄関前に立ち、患者・家族に対する挨拶と他職種と共同して必要に応じた援助を行い、接遇の基本を学ぶ。

なお、本大学病院において医師の実務経験を有する教員が講義を行う。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

- ・藤田医科大学病院の概要等について確認しておく。
- ・実習内容の概要を理解しておく。
- ・実習後、疑問に感じたことなどがあれば、調べてそのままにしない。
それぞれ約30分程度を目安とする。

[評価]

・医師としてのプロフェッショナリズム・コミュニケーション・専門職連携・個人情報保護・医療安全にかかわる項目：

実習において、すべての項目を理解、遵守し、行動しているかどうかを集合時間遵守、や容姿服装、実習態度、レポート内容などから総合的に評価する。（卒業コンピテンシーI-1～6, II-1, 2 III-1, 2, IV-6, VI-8）、パフォーマンスレベルC）

・社会から期待される医師の役割・意思疎通についてはレポート・発表により評価する。（卒業コンピテンシーI-7, II-3）、パフォーマンスレベルC

・患者の問題を多職種で解決する取り組み・病歴聴取・基本的臨床手技については、定められた見学実習にすべて参加することを必須とするが、評価は行わない。（卒業コンピテンシーIII-3, V-1, 3, VI-1, 2, 7, VII-3）、パフォーマンスレベルE

・授業が終了するごとにレポートを作成すること。（400字詰め原稿用紙1枚程度、必ず冒頭実習場所・実習日・班名・学籍番号・氏名を記入。必ず手書きペン書きとし、修正の際は修正液等を使用すること）

課題レポートは指定の場所に翌週の月曜日13時までに提出すること。提出期限を過ぎたものや不備のあるものは受け取らない。また、誤字脱字があった場合には再提出とする。

・課題レポートは原本を提出する。早期臨床体験ポートフォリオにはコピーをとりファイルしておく。

[フィードバックの方法]

- ・Moodleに提出されるレポートについては、不備な点等にコメントを入れることがあるため必ず確認すること。

- ・実習で良い点、逆に問題点が指摘された場合、文書が発行されるので、指示に従い振り返り／反省を行うこと。内容によっては面談指導を行う。

[コーディネーター]

正コーディネーター	飯塚 成志	教授（臨床医学総論）
コーディネーター	大槻 真嗣	教授（臨床総合医学）
コーディネーター	稻熊 容子	講師（臨床総合医学）
コーディネーター	後藤 和恵	兼任講師（医学教育企画室）

[学年担当者]

医学部学務課 1学年担当
緊急時の連絡先 0562-93-2634
事務手続き取扱い時間 8：30～16：45
※事務手続き取扱い時間内に連絡すること。

[教科書]

特になし。必要な資料はオリエンテーション時に配布する。

[注意事項]

- ・医学部生としての自覚を持ち、良識と責任ある行動をとること。
- ・必ず清潔でしわのない指定された白衣と医療用シーツ、名札を着用し、医学部生らしい身だしなみを整えること。
- ・病院内では安全管理のため患者さんのプライバシーを守り、指導者の指示に従い、勝手な行動や私語は慎むこと。
- ・実習授業があるので欠席をしないこと。発熱など体調不良で欠席する場合には、まず学務課学年担当まで連絡し、その後の対応についてはコーディネーターに確認すること。

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室

[実習場所]

藤田医科大学病院
大学2号館14階クリニカルシミュレーションフロア

[一般目標]

医師となるための動機付けを高め、チーム医療の実際を学ぶために必要な考え方や態度を身につける。

[行動目標]

1. 社会人としてのマナーを守る。
自己紹介、挨拶、時間の厳守、服装（身だしなみ）
2. 病院の機能を知る。
看護部・臨床検査部・食養部・放射線部・薬剤部・事務局
3. 医療（臨床）の現場を見学・体験する。

[授業形態]

Aグループ（A班～E班）、Bグループ（F班～J班）が金曜日の1～3限に1週交代での実習を行う。
看護部・臨床検査部・食養部・放射線部・薬剤部の各部門をローテイトしすべての部門を見学・体験する。実習終了後、レポートを提出する。
全てのローテイトが終了した時点で、実習での気づきについて全体発表会にてまとめを行う。

[指導責任者]

(看護部) 眞野 恵好 看護部長
(臨床検査部) 畠 忠善 臨床検査部長
(食養部) 鈴木 敦詞 食養部長
(放射線部) 外山 宏 放射線部長
(薬剤部) 山田 成樹 薬剤部長

[前期授業内容]

○看護部

集合場所：大学2号館3階⇒各自が指示された病棟

集合時間：8:15 オリエンテーション

<見学・実習>

- ・申し送り
- ・環境整備
- ・バイタルサイン測定
- ・全身清拭
- ・体位変換
- ・患者移送
- ・与薬
- ・回診介助
- ・点滴交換 など

12:00 実習終了・課題レポート

○臨床検査部

集合場所：検査棟 1 階

集合時間：8:45 オリエンテーション

<見学・実習>

- ・検体系検査
- ・生理系検査
- ・ME管理室
- ・病理部 など

12:00 実習終了・課題レポート

○食養部

集合場所：外来棟502 会議室

集合時間：8:45 オリエンテーション

<見学・実習>

- ・食事残量の調査
- ・治療食について
- ・配膳準備
- ・できれば検食 など

12:00 実習終了・課題レポート

○放射線部

集合場所：低侵襲画像診断・治療センター（放射線棟） 2 階受付

集合時間：8:30 オリエンテーション

<見学・実習> 小グループ

- ・一般撮影・ポータブル撮影部門
- ・放射線治療部門
- ・C T部門
- ・M R I部門
- ・ハイブリット手術（血管造影）部門
- ・核医学検査部門
- ・X線透視部門

12:00 実習終了・課題レポート

○薬剤部

集合場所：外来棟B1階 薬剤部部員室

集合時間：8:45 オリエンテーション

<見学・実習>

- ・病棟薬剤管理指導について
- ・調剤の実際
- ・TPN（中心静脈栄養）の調製
- ・抗がん剤の調製
- ・麻薬管理について
- ・医薬品情報管理（D I）について など

12:00 実習終了・課題レポート

【全体授業】

4月24日（金）1～3 早期臨床体験実習ガイドンス・大学病院の概要について

5月 1日（金）1～3 大学病院事務局の役割・車椅子操作訓練・身だしなみチェック

[Aグループ・ローテイト表]

5月 8日（金）1～3 A班：看護部、B班：薬剤部、C班：放射線部、D班：食養部、E班：臨床検査部
5月22日（金）1～3 A班：臨床検査部、B班：看護部、C班：薬剤部、D班：放射線部、E班：食養部
6月 5日（金）1～3 A班：食養部、B班：臨床検査部、C班：看護部、D班：薬剤部、E班：放射線部
6月19日（金）1～3 A班：放射線部、B班：食養部、C班：臨床検査部、D班：看護部、E班：薬剤部
7月 3日（金）1～3 A班：薬剤部、B班：放射線部、C班：食養部、D班：臨床検査部、E班：看護部

[Bグループ・ローテイト表]

5月15日（金）1～3 F班：看護部、G班：薬剤部、H班：放射線部、I班：食養部、J班：臨床検査部
5月29日（金）1～3 F班：臨床検査部、G班：看護部、H班：薬剤部、I班：放射線部、J班：食養部
6月12日（金）1～3 F班：食養部、G班：臨床検査部、H班：看護部、I班：薬剤部、J班：放射線部
6月26日（金）1～3 F班：放射線部、G班：食養部、H班：臨床検査部、I班：看護部、J班：薬剤部
7月10日（金）1～3 F班：薬剤部、G班：放射線部、H班：食養部、I班：臨床検査部、J班：看護部

一看護体験実習一

第1教育病院看護部の協力のもと、前期の定期試験の直後（9月30日・10月1日）に行われる実習である。

[目的]

- ・チームの一員として大学病院において看護業務を体験する。

[目標]

1. 患者の基本的ニーズを知る。
2. 入院患者の生活状況を見学する。
3. 看護師の24時間業務を体験する。
4. 看護師の勤務交代時の看護業務の引継に加わる。
5. チームの一員としての看護師の役割にふれる。
6. 看護の評価方法として看護記録があることを知る。

[授業形態]

Aグループ、Bグループの2組（各約60名）に分け実施する。

グループ分け・集合時間・集合場所は別途知らせる。

実習終了後、課題レポートを提出する。

提出に関する詳細は、看護体験オリエンテーションにて指示する。

[オリエンテーション]

9月中旬予定 担当：飯塚・大槻・稻熊・後藤

[授業日程]

—後期—（4コマ）

9月30日（木） Aグループ 夜勤（9/30 17:00～10/1 8:45）

10月 1日（金） Bグループ 夜勤（10/1 17:00～10/2 8:45）

*病院のスケジュールの都合で、日程が変更される場合がある。

— ホスピタリティ実習 —

ホスピタリティ実習は、2～3名が1組となり、午前7時20分より午前8時20分まで大学病院東玄関等に立ち、患者さんや家族へのあいさつ・案内・介助・説明を行う。

[ホスピタリティ実習の目的]

- ①患者さんや家族と適切に接する能力（患者さんや家族との接遇）を身につける。
- ②患者さんや家族の状態を把握する能力を身につける。
- ③同僚に実習内容や必要事項を申し送る能力を身につける。
- ④同僚から実習内容や必要事項の説明を受ける能力を身につける。
- ⑤指導者へ実習内容の概要を示す能力を身につける。

[実習場所]

大学病院東玄関等前（変更の可能性あり、指示に従うこと）

[授業形態]

- ①実習前日に、看護部長室へ挨拶に行く。
 - ②実習当日は、午前7時20分看護部長室へ集合。夜勤看護長に挨拶し、ホスピタリティ実習評価票（指導者用）を提出し、注意点の確認等を行う。
 - ③中央玄関の担当看護師等に挨拶をし、指示に従う。
- 1) 実習内容
 - ・患者さんや家族への挨拶をする。
 - ・患者さんが受診しやすくなるように説明や案内をする。
 - ・必要に応じて、車椅子介助や受診案内などを行う。
 - ・求められれば、速乾性手指消毒薬の使用方法の説明をする。
 - ・その他
 - 2) 午前8時15分、実習終了。

3) 全員で看護部長室を訪問し、実習終了の報告を行う。

実習後

次に実習を行なうグループに、別途指示する“引き継ぎ先一覧表”とともに、自分たちが行ったホスピタリティ実習の注意事項などをチェックリストに基づき引き継ぐ。次のグループへの引き継ぎをもって、実習が終了となる。

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・臨床医学総論>

担当者名	曜日	時間	場所
飯塚 成志 教授	月曜～木曜	12:40～13:10	大学2号館9階907

<医学部・臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大槻 真嗣 教授	水曜	12:30～13:20, 16:40～18:00	大学2号館10階1007
稻熊 容子 講師	月曜～金曜	13:00～17:00	大学2号館10階1004

<医学部・医学教育企画室>

担当者名	曜日	時間	場所
後藤 和恵 看護長	月曜～金曜	10:00～15:00	大学2号館14階1402

<医学部>

担当者名	曜日	時間	場所
松井 俊和 名誉教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<早期臨床体験A>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/24 (金) 1限	実習	飯塚 成志 大槻 真嗣 稻熊 容子 後藤 和恵 松井 俊和	早期臨床体験実習ガイダンス(1) オリエンテーション	大2-701
2	04/24 (金)	実習			

	2限				
3	04/24 (金) 3限	実習			
4	05/01 (金) 1限	実習			
5	05/01 (金) 2限	実習	飯塚 成志 大槻 真嗣 稻熊 容子 後藤 和恵 松井 俊和	早期臨床体験実習ガイダンス(2) 大学病院事務局の役割 車椅子操作訓練・身だしなみチ エック	大2-701
6	05/01 (金) 3限	実習			
7	05/08 (金) 1限	実習		早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行 動に及ぼす影響を概説でき る。 ○ コミュニケーションを通じ て良好な人間関係を築くこ とができる。 ○ 患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。 A班：看護部、B班：薬剤部、 C班：放射線部、D班：食養 部、E班：臨床検査部	
8	05/08 (金) 2限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵		
9	05/08 (金) 3限	実習			
10	05/22 (金) 1限	実習		早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行 動に及ぼす影響を概説でき る。 ○ コミュニケーションを通じ て良好な人間関係を築くこ とができる。 ○ 患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。 A班：看護部、B班：薬剤部、 C班：放射線部、D班：食養 部、E班：臨床検査部	
11	05/22 (金) 2限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵		
12	05/22 (金) 3限	実習			

1 3	06/05 (金) 1限 06/05	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A班：食養部、B班：臨床検査部、C班：看護部、D班：薬剤部、E班：放射線部	
1 5	06/05 (金) 3限	実習			
1 6	06/19 (金) 1限	実習			
1 7	06/19 (金) 2限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A班：放射線部、B班：食養部、C班：臨床検査部、D班：看護部、E班：薬剤部	
1 8	06/19 (金) 3限	実習			
1 9	07/03 (金) 1限	実習			
2 0	07/03 (金) 2限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A班：薬剤部、B班：放射線部、C班：食養部、D班：臨床検査部、E班：看護部	
2 1	07/03 (金) 3限	実習			

2 2	07/17 (金) 1限	実習	飯塚 成志 大槻 真嗣 稻熊 容子 後藤 和恵	早期臨床体験実習のまとめ A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○臨床実習で経験したことを見察し、自己の課題を明確にする。	大2-701
2 3	07/17 (金) 2限	実習			
2 4	07/17 (金) 3限	実習			

<早期臨床体験B>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/24 (金) 1限	実習	飯塚 成志 大槻 真嗣 稻熊 容子 後藤 和恵 松井 俊和	早期臨床体験実習ガイダンス(1) オリエンテーション	大2-701
2	04/24 (金) 2限	実習			
3	04/24 (金) 3限	実習			
4	05/01 (金) 1限	実習	飯塚 成志 大槻 真嗣 稻熊 容子 後藤 和恵 松井 俊和	早期臨床体験実習ガイダンス(2) 大学病院事務局の役割 車椅子操作訓練・身だしなみチェック	大2-701
5	05/01 (金) 2限	実習			
6	05/01 (金) 3限	実習			
7	05/15 (金) 1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	
8	05/15 (金) 2限	実習		○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	
9	05/15	実習			

	(金) 3限		F班：看護部、G班：薬剤部、 H班：放射線部、I班：食養 部、J班：臨床検査部	
1 0	05/29 (金) 1限	実習	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。 F班：臨床検査部、G班：看護 部、H班：薬剤部、I班：放射 線部、J班：食養部、	
1 1	05/29 (金) 2限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。 F班：臨床検査部、G班：看護 部、H班：薬剤部、I班：放射 線部、J班：食養部、
1 2	05/29 (金) 3限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。 F班：臨床検査部、G班：看護 部、H班：薬剤部、I班：放射 線部、J班：食養部、
1 3	06/12 (金) 1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。 F班：臨床検査部、G班：看護 部、H班：薬剤部、I班：放射 線部、J班：食養部、
1 4	06/12 (金) 2限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。 F班：臨床検査部、G班：看護 部、H班：薬剤部、I班：放射 線部、J班：食養部、
1 5	06/12 (金) 3限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。 F班：臨床検査部、G班：看護 部、H班：薬剤部、I班：放射 線部、J班：食養部、
1 6	06/26 (金) 1限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。
1 7	06/26 (金) 2限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。
1 8	06/26 (金)	実習	飯塚 成志 後藤 和恵	早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○コミュニケーションの方法 と技能（言語的と非言語 的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説でき る。 ○コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くこ とができる。 ○患者・家族の話を傾聴し、 共感することができる。

	3限			F班：放射線部、G班：食養部、H班：臨床検査部、I班：看護部、J班：薬剤部	
1 9	07/10 (金) 1限	実習		早期臨床体験実習 A-4-1) コミュニケーション ○ コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○ コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ○ 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 F班：薬剤部、G班：放射線部、H班：食養部、I班：臨床検査部、J班：看護部	
2 0	07/10 (金) 2限	実習	飯塚 成志 後藤 和恵		
2 1	07/10 (金) 3限	実習			
2 2	07/17 (金) 1限	実習		早期臨床体験実習のまとめ A-5-1) 患者中心のチーム医療 ○ チーム医療の意義を説明できる。 A-9-1) 生涯学習への準備 ○ 臨床実習で経験したことを見直し、自己の課題を明確にする。	
2 3	07/17 (金) 2限	実習	飯塚 成志 大槻 眞嗣 稻熊 容子 後藤 和恵		大2-701
2 4	07/17 (金) 3限	実習			

生物学

[教育目標]

生命現象全般を取り扱う「生物学」は、ヒトを対象とする「医学」の基本となる学問である。生物学の講義では、生命現象を支える生体高分子の基礎とその代謝、生命体の基盤をなす細胞の構造と機能、そして細胞の有機的な集団である個体について、生命現象全体に対する階層的な理解を深める。そして生命現象がすべて、DNAに書かれた遺伝情報の発現という共通システムによって支配されていることを学ぶ。さらに、地球上の生物がこの共通システムを用いながら、どのようにして今日のような多様性を生み出してきたのか、生物の「しなやかさ」と「したたかさ」について理解する。また、後期には「生物学実習」を実施し、問題の設定とその探究方法を学ぶことで、医療現場で必要とされる問題解決能力を身につける。

[授業の方法]

毎回授業の最初に、前回の講義で与えられた課題について担当者による発表について教室内でディスカッションするアクティブラーニングを実施する。また授業内容に関する質問をスマホで受け付け、次回の講義でその内容について回答することで問題の共有化をはかる。

[学修目標]

高校で生物学を履修してこなかった学生を対象に「入門コース」、履修してきた学生を対象に「標準コース」を設け、それぞれ異なった講義を行う。「入門コース」は「標準コース」より多くの講義時間数を充てることで、講義終了時には「標準コース」の学生と遜色のない学力が身についていることを目指す。「生物学」を暗記物と捉えることなく、学んだことを有機的に関連づけ、生物学の全体像を把握することによって、今後学んでいく「基礎医学」や「臨床医学」の礎を固めることを目標とする。具体的には、以下に掲げる項目を中心に学習を進める。

生体構成成分の構造と働きを理解する。

細胞の構造と働きを理解する。

エネルギー獲得の反応を例にして生体で起こる代謝を理解する。

遺伝子からタンパク質への情報の流れに基づいて生命現象を理解する。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：化学・物理学の担当教員と連携し、相互補完的な教育内容にしている。

垂直統合：疾患は正常な生命現象の破綻であることを示し、基礎医学・臨床医学習得の一助となるような教育内容にしている。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

生物学入門コース受講者向けに、生物学履修に必要となる専門用語を学内のネットワーク（Moodle）にアップロードしておくので、講義内容の理解の目安として、復習に用いるとよい。この用語集は入門コースの定期試験の出題範囲でもある。受講済みの講義内容が理解できていないと次回の講義の理解が困難になるので、毎回15-30分程度の復習をすること。

生物学標準コースでは各講義プリント末尾の課題を宿題として提出する。次回の講義までに30分程度の時間をかけて、課題を検討すること。

[評価]

(1)知識；（卒業コンピテンシー IV-1, 2、V-1）、パフォーマンス・レベルD

中間試験と、講義・実習内容の統合試験である定期試験とを課し、総合評価を行う。

(2)実習；（卒業コンピテンシー IV-1、V-1, 3）、パフォーマンス・レベルC

生物学実習では、毎回の小テストとレポートおよび実習終了後的小試験により評価する。

(3)実習態度；（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンス・レベルC

講義および実習に積極的に参加したかという受講態度を評価する。

[フィードバックの方法]

入門コースでは、5コマ程度の講義のごとにまとめや演習の時間を設けて課題を提示するので、まずは各自で回答を試み、次に、グループディスカッションで知識の共有を行う。講義後半では、数人の解答例を提示してもらいながら解説を詳細に行うので、時間内にしっかりと理解するよう心がけること。

標準コースでは学期末の定期試験の他に、実習の試験を含めて3回の中間試験を実施する。毎回試験の採点終了後、教員研究室において教員とマンツーマンで試験の解答内容の確認を行う。解答用紙は返却しない。

[教科書]

入門コースは「医療・看護系のための生物学」田村 隆明（裳華房）と

「基礎からしっかり学ぶ生化学」成田 央、山口 雄輝（羊土社）の2冊、

標準コースは「Essential細胞生物学 原書第4版」中村 桂子 他 監訳（南江堂）

[使用する教室]

大学2号館 7階701講義室

大学2号館 9階909講義室

[実習場所]

大学1号館 地下1階実習室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
守口 匡子 准教授	月曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階703
角川 裕造 教授	月曜～金曜	16:00～18:30	大学2号館7階703
吉田 友昭 教授	火曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階706

<医学部・化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～18:00	大学2号館8階803,805

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
小川 久光 客員教授		※講義終了後に対応	

[授業日程]

<生物学(入門)>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/14 (火) 3限	講義	守口 匡子	生物学とは <ul style="list-style-type: none"> ●生物学の基本的な枠組みを理解する。 ●科学的思考を理解する。 	大2-701
2	04/15 (水) 2限	講義	守口 匡子	生体を構成する物質(1) <ul style="list-style-type: none"> ●生体を構成する物質や元素を説明できる。 ●水分子の性質を説明できる。 ●糖質と脂質の基本構造と機能を説明できる。 	大2-701
3	04/16 (木) 4限	講義	守口 匡子	生体を構成する物質(2) <ul style="list-style-type: none"> ●アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ●タンパク質の構造について説明できる。 	大2-701

				●核酸の構成成分を説明できる。	
4	04/21 (火) 3限	講義	守口 匡子	生命の基本単位-細胞-(1) C-2-1)-(1) 細胞膜 <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 <p>●細胞膜の構造と機能を説明できる。</p>	大2-701
5	04/22 (水) 2限	講義	守口 匡子	生命の基本単位－細胞-(2) C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 	大2-701
6	04/28 (火) 3限	講義	守口 匡子	生命の基本単位－細胞-(3) C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 	大2-701
7	04/30 (木) 4限	講義	守口 匡子	生命の基本単位－細胞-まとめ	大2-701
8	05/07 (木) 4限	講義	吉田 友昭	栄養素と代謝 I C-2-5) 生体物質の代謝 <ul style="list-style-type: none"> ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ クエン酸回路を説明できる。 ○ グリコーゲンの合成と分解 	大2-701

				の経路を説明できる。 ●低酸素下での乳酸生成とその代謝を説明できる。	
9	05/12 (火) 3限	講義	吉田 友昭	栄養と代謝Ⅱ C-2-5) 生体物質の代謝 <ul style="list-style-type: none"> ○電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。 ○五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。 ○脂質の合成と分解を説明できる。 <p>●植物が光合成で作った化学物質の持つ、還元エネルギーを利用してATPを得ていることを説明できる。</p> <p>●乳酸を肝臓や腎臓でグルコースに「再生」するコリ回路を説明できる。</p>	大2-701
10	05/13 (水) 2限	講義	吉田 友昭	栄養と代謝Ⅲ C-2-5) 生体物質の代謝 <ul style="list-style-type: none"> ○五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。 ○ビタミン、微量元素の種類と作用を説明できる。 <p>●NADPHという還元担体がエネルギー消費と貯蔵のバランスを握る、一つのカギであることを説明できる。</p>	大2-701
11	05/14 (木) 4限	講義	吉田 友昭	栄養と代謝Ⅳ C-2-5) 生体物質の代謝 <ul style="list-style-type: none"> ○アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。 <p>●脂質の腸管での吸収に胆汁酸が重要であることを説明できる。</p> <p>●グルコースの腸管での吸収に二次能動輸送が重要であることを説明できる。</p>	大2-701
12	05/19 (火) 3限	講義	吉田 友昭	まとめとグループ討論	大2-701
13	05/20 (水) 2限	講義	守口 匠子	多細胞生物への道(1) C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 <ul style="list-style-type: none"> ○細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○アクチンフィラメント系に 	大2-701

				よる細胞運動を説明でき る。 ○ 細胞内輸送システムを説明 できる。 ○ 微小管の役割や機能を説明 できる。	
1 4	05/21 (木) 4限	講義	守口 匡子	多細胞生物への道(2) ● DNA複製の概要を説明でき る。 ● 体細胞分裂の過程を説明でき る。 ● 細胞周期のチェックポイント を説明できる。	大2-701
1 5	05/26 (火) 3限	講義	守口 匡子	多細胞生物への道(3) C-2-4) 個体の発生 ○ 配偶子の形成から出生に至 る一連の経過と胚形成の全 体像を説明できる。 ● 減数分裂の過程を説明でき る。 ● ES細胞とiPS細胞について説 明できる。	大2-701
1 6	05/27 (水) 2限	講義	吉田 友昭	細胞間情報伝達と恒常性 I C-2-3)-(1) 情報伝達の基本 ○ 情報伝達の種類と機能を説 明できる。 ○ 受容体による情報伝達の機 序を説明できる。 D-12-1) 構造と機能 ○ 各内分泌器官の位置を図示 し、そこから分泌されるホ ルモンを列挙できる。 ○ 視床下部ホルモン・下垂体 ホルモンの名称、作用と相 互関係を説明できる。	大2-701
1 7	05/28 (木) 4限	講義	吉田 友昭	細胞間情報伝達と恒常性 II C-2-3)-(4) ホメオスタシス ○ 生体の恒常性維持と適応を 説明できる。 ○ 恒常性維持のための調節機 構（ネガティブフィードバ ック調節）を説明できる。 ● インスリンによる血糖下降機 構を説明できる。	大2-701
1 8	06/02 (火) 3限	講義	吉田 友昭	ヒトの組織と器官 I C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造 と機能	大2-701

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 <p>D-6-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血液による酸素と二酸化炭素の運搬の仕組みを説明できる。 ● ヘモグロビンの酸素解離曲線を説明できる。 	
1 9	06/03 (水) 2限	講義	吉田 友昭	<p>ヒトの組織と器官Ⅱ</p> <p>D-1-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。 ● 血漿と血清を説明できる。 ● ミオグロビンの酸素解離曲線を説明できる。 ● コリ回路を説明できる。 	大2-701
2 0	06/04 (木) 4限	講義	吉田 友昭	まとめとグループ討論	大2-701
2 1	06/09 (火) 3限	講義	吉田 友昭	<p>細胞内外のイオン濃度と神経伝導</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 <p>C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動電位の発生機構と伝導を説明できる。 ● ミエリン鞘が絶縁体として機能することで、鞘の間(ランギ工絞輪)のNaチャネルが飛び飛びに開口する跳躍伝導が起き、伝導速度を上げていることを説明できる。 	大2-701
2 2	06/10 (水) 2限	講義	吉田 友昭	<p>神経細胞間のシナプスと骨格筋収縮Ⅰ</p> <p>C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 	大2-701

				C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 ○シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。 ○軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。 ●神経接合部で始まった活動電位が電位依存性Naチャネルで筋細胞表面を広がることを説明できる。 ●EPSP、IPSPを説明できる。	
2 3	06/16 (火) 3限	講義	吉田 友昭	神経細胞間のシナプスと骨格筋収縮Ⅱ C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 ○細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○細胞内輸送システムを説明できる。 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 ●T管の構造と意義について説明できる。	大2-701
2 4	06/17 (水) 2限	講義	吉田 友昭	まとめとグループ討論	大2-701
2 5	06/18 (木) 4限	講義	守口 匠子	遺伝(1) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。 ○遺伝型と表現型の関係を説明できる。	大2-701
2 6	06/23 (火) 3限	講義	守口 匠子	遺伝(2) ●連鎖や伴性遺伝、不完全優性について説明できる。 ●家系図から遺伝様式を推定で	大2-701

			きる。	
2 7	06/24 (水) 2限	講義	守口 匡子	遺伝子の正体(1) <ul style="list-style-type: none"> ● DNAの構造を説明できる。 ● DNAと遺伝子、ゲノムの関係性を説明できる。
2 8	06/25 (木) 4限	講義	守口 匡子	遺伝子の正体(2) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ● DNAとRNAの化学構造の違いとその機能的意義を説明できる。
2 9	06/30 (火) 3限	講義	守口 匡子	遺伝子の複製 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleicacid)の複製と修復を概説できる。 ● DNA複製の詳細を説明できる。 ● DNAの末端問題とテロメアについて説明できる。
3 0	07/01 (水) 2限	講義	守口 匡子	遺伝子の発現(1) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 <ul style="list-style-type: none"> ○ デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleicacid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。 ● 原核生物と真核生物の遺伝子発現過程の違いを説明できる。 ● 選択的スプライシングについて説明できる。
3 1	07/02 (木) 4限	講義	守口 匡子	遺伝子の発現(2) <ul style="list-style-type: none"> ● 原核生物の遺伝子発現調節について説明できる。 ● 真核生物の遺伝子発現調節について説明できる。
3	07/07	講義	守口 匡子	遺伝子に関するまとめと演習。

2	(火) 3限				
3 3	07/08 (水) 2限	講義	守口 匡子	<p>遺伝子工学 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。 ● 制限酵素や逆転写酵素、リガーゼについて説明できる。 ● プラスミドベクターについて説明できる。 ● PCR法について説明できる。 	大2-701
3 4	07/09 (木) 4限	講義	守口 匡子	<p>進化-生命誕生の謎- C-1-2)-(1) 生物の進化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 進化の基本的な考え方を説明できる。 ○ 生物種とその系統関係を概説できる。 ○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。 ● 進化学の視点から疾患を考察できる。 	大2-701
3 5	07/14 (火) 3限	講義	守口 匡子	<p>がん C-4-6) 腫瘍</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 ○ 癌の原因や遺伝子変化を説明できる。 ○ 癌の転移を説明できる。 	大2-701
3 6	07/15 (水) 2限	講義	守口 匡子	<p>生体防御 C-2-3)-(3) 生体防御の機序</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生体の非特異的防御機構を説明できる。 ○ 体液性と細胞性免疫応答を説明できる。 <p>C-3-2)-(1) 免疫系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。 <p>C-3-2)-(2) 自己と非自己の識別に関与する分子とその役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主要組織適合遺伝子複合体(majorhistocompatibility complex)クラスIとクラスIIの基本構造、抗原提示経路の違いを説明できる。 	大2-701

3 7	07/16 (木) 4限	講義	守口 匡子	復習と演習(1)	大2-701
3 8	07/21 (火) 3限	講義	守口 匡子	復習と演習(2)	大2-701
	07/22 (水) 2限	小テスト	守口 匡子	小テスト	大2-603

<生物学(標準)>

N. O.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/15 (水) 3限	講義	角川 裕造	序論 ヒトのことを良く知るために ●認識について認識できる。	大2-909
2	04/22 (水) 3限	講義	角川 裕造	生物学の基本的枠組み A-2-1) 課題探求・解決能力 ○必要な課題を自ら発見できる。 ○自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ○課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 C-1-2)-(1) 生物の進化 ○進化の基本的な考え方を説明できる。 ○生物種とその系統関係を概説できる。 ○アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。	大2-909
3	04/24 (金) 4限	講義	角川 裕造	生体の構成成分(1) 水 ●生体や細胞を構成している元素, 分子を概説できる。 ●水の性質, 水溶液, 水素結合が説明できる。	大2-909
4	05/01 (金) 4限	講義	角川 裕造	生体の構成成分(2) 炭素化合物 ●生体高分子について, 单量体と重合体を説明できる。 ●脂質の構造と機能を説明できる。 ●糖質の構造と機能を説明でき	大2-909

				る。	
5	05/08 (金) 4限	講義	角川 裕造	生体の構成成分(3) タンパク質, 核酸 <ul style="list-style-type: none"> ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ● ペプチド結合, タンパク質の階層構造を説明できる。 ● 核酸の構成成分を説明できる。 ● DNAとRNAの違いを説明できる。 	大2-909
6	05/13 (水) 3限	講義	角川 裕造	生物の構成単位 細胞 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○ 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○ 細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 ● 細胞内輸送システムを説明できる。 	大2-909
7	05/15 (金) 4限	講義	角川 裕造	生体膜の構造と機能 C-2-1)-(1) 細胞膜 <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 	大2-909
8	05/20 (水) 3限	講義	角川 裕造	細胞, 組織, 器官 C-2-3)-(4) ホメオスタシス <ul style="list-style-type: none"> ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ● 腎の機能を細胞で説明でき 	大2-909

				る。	
9	05/22 (金) 4限	講義	角川 裕造	生命活動の源 代謝(1) エネルギー生産 C-2-5) 生体物質の代謝 <ul style="list-style-type: none"> ○ 酵素の機能と調節を説明できる。 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ エネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝を説明できる。 	大2-909
10	05/27 (水) 3限	講義	角川 裕造	生命活動の源 代謝(2) エネルギー生産と分解 C-2-5) 生体物質の代謝 <ul style="list-style-type: none"> ○ クエン酸回路を説明できる。 ○ 電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。 ○ 脂質の合成と分解を説明できる。 	大2-909
11	05/29 (金) 4限	講義	角川 裕造	多細胞生物への道(1) 細胞は動く C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動 <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○ 細胞内輸送システムを説明できる。 ○ 微小管の役割や機能を説明できる。 ● 筋肉が収縮するしくみを説明できる。 	大2-909
12	06/03 (水) 3限	講義	角川 裕造	多細胞生物への道(2) 細胞は増える <ul style="list-style-type: none"> ● 細胞の分裂過程を説明できる。 	大2-1205

				<ul style="list-style-type: none"> ● 細胞周期とチェックポイントを説明できる。 ● 体細胞分裂と減数分裂の違いを説明できる。 	
1 3	06/04 (木) 5限	講義	角川 裕造	<p>多細胞生物への道(3) 細胞は伝える</p> <p>C-2-3)-(1) 情報伝達の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報伝達の種類と機能を説明できる。 ○ 細胞内シグナル伝達過程を説明できる。 	大2-909
1 4	06/05 (金) 4限	講義	角川 裕造	<p>神経伝達のメカニズム</p> <p>C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動電位の発生機構と伝導を説明できる。 ○ シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。 ○ 軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。 	大2-909
1 5	06/10 (水) 3限	講義	角川 裕造	<p>遺伝(1) 遺伝子の正体</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遺伝子の正体がDNAであることを証明した実験を概説できる。 ● 遺伝子, タンパク質, 形質の関係を説明できる。 ● DNAの二重らせん構造を説明できる。 	大2-909
	06/12 (金) 4限	試験	角川 裕造	中間試験(1)	大2-603
1 6	06/17 (水) 3限	講義	角川 裕造	<p>遺伝(2) 遺伝子の複製</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 	大2-1205
1 7	06/19 (金) 4限	講義	角川 裕造	<p>遺伝(3) 減数分裂とメンデル遺伝</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Mendel の法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンテ 	大2-1205

				<p>イング及び多因子遺伝を説明できる。</p> <p>○ 遺伝型と表現型の関係を説明できる。</p> <p>○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。</p> <p>● 家系図から遺伝様式を推定できる。</p>	
1 8	06/24 (水) 3限	講義	角川 裕造	<p>遺伝子の発現(1) 転写</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <p>○ デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。</p> <p>● 原核生物と真核生物の転写過程の違いを説明できる。</p>	大2-909
1 9	06/26 (金) 4限	講義	角川 裕造	<p>遺伝子の発現(2) 翻訳</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <p>○ デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。</p> <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <p>○ タンパク質の合成と分解を説明できる。</p> <p>● タンパク質の翻訳後修飾、品質管理を説明できる。</p>	大2-1205
2 0	07/01 (水) 3限	講義	角川 裕造	<p>遺伝子の発現(3) 遺伝子工学</p> <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <p>○ 染色体分析・DNA 配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。</p> <p>● 制限酵素、遺伝子組換えが説明できる。</p> <p>● クローニングについて説明できる。</p> <p>● PCR法が説明でき、その応用について概説できる。</p>	大2-909

2 1	07/03 (金) 4限	講義	角川 裕造	遺伝子の発現(4) 原核生物遺伝子の発現調節 ●プロモーター、転写因子などによる遺伝子の発現調節のしくみを説明できる。 オペロン説について説明できる。	大2-909
2 2	07/08 (水) 3限	講義	角川 裕造	遺伝子の発現(5) 真核生物遺伝子の発現調節 ●真核生物での遺伝子の発現調節の機構を概説できる。	大2-909
2 3	07/10 (金) 4限	講義	角川 裕造	発生のしくみ(1) 形態形成 C-2-4) 個体の発生 ○配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。 ●発生過程を遺伝子の発現変化として捉えることができる。 ●クローン生物を説明できる。 ●細胞分化のマスター遺伝子を説明できる。	大2-909
2 4	07/14 (火) 4限	講義	角川 裕造	発生のしくみ(2) 再生医療 ●組織幹細胞、ES細胞を説明できる。 ●クローン胚、iPS細胞が説明できる。	大2-909
2 5	07/15 (水) 3限	講義	角川 裕造	生体防御 C-2-3)-(3) 生体防御の機序 ○生体の非特異的防御機構を説明できる。 ○特異的防御機構である免疫系の役割を説明できる。 ○体液性と細胞性免疫応答を説明できる。 ●遺伝子再編成について説明できる。	大2-909
2 6	07/17 (金) 4限	講義	角川 裕造	がん C-4-6) 腫瘍 ○自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 ○癌の原因や遺伝子変化を説明できる。 ○癌の転移を説明できる。	大2-909
2 7	07/22 (水)	講義	角川 裕造	まとめ と 振り返り	大2-909

	3限				
	07/29 (水) 3限	試験	角川 裕造	中間試験(2)	大2-603

<生物学(実習)>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/09 (金) 4限	実習	守口 匠子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	顕微鏡操作法 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○ 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。	大1-B1実習室
2	10/09 (金) 5限	実習			
3	10/09 (金) 6限	実習			
4	10/16 (金) 4限	実習	守口 匠子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	細胞のダイナミズム（原形質流動・染色体・細胞分裂の観察） ● 原形質流動を説明できる。 ● 細胞周期を説明できる。 ● 細胞分裂過程を説明できる。	大1-B1実習室
5	10/16 (金) 5限	実習			
6	10/16 (金) 6限	実習			
7	10/30 (金) 4限	実習	守口 匠子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光	生命活動とエネルギー（アルコール発酵の測定） C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能と調節を説明できる。 ○ 解糖の経路と調節機構を説明できる。 ○ クエン酸回路を説明できる。 ○ 電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。	大1-B1実習室
8	10/30 (金) 5限	実習			
9	10/30 (金) 6限	実習		● 解糖系・発酵によるATPの产生過程を説明できる。 ● NAD+の再生法による代謝の違いを説明できる。 ● 酵素の機能と代謝調節を説明できる。 ● 好気呼吸の過程を説明でき	

				る。	
1 0	11/06 (金) 4限	実習		遺伝子は形質を支配する (DNAの精製と形質転換) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ● プラスミドDNA単離の原理を説明できる。 ● 遺伝子操作技術の原理を説明できる。 ● 形質転換の意義を説明できる。	
1 1	11/06 (金) 5限	実習	守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光		大1-B1実習室
1 2	11/06 (金) 6限	実習			
1 3	11/13 (金) 4限	実習		遺伝子を切って、見る (制限酵素によるDNAの切断と電気泳動) C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○ 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ○ 染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。 ● 遺伝子操作に関連した酵素を説明できる。 ● 電気泳動の原理を説明できる。	
1 4	11/13 (金) 5限	実習	守口 匡子 角川 裕造 八代 耕児 小川 久光		大1-B1実習室
1 5	11/13 (金) 6限	実習			
	11/19 (木) 6限	中間試験	守口 匡子 角川 裕造	中間試験 (3)	大2-603

物理学

[教育目標]

物理学は全ての自然科学を学ぶ基礎となるものであり、教科内容は多岐にわたる。本講義では教科内容をいくつかの部分にわけ、それぞれに教育目標を設定する。前期には物理学の基礎として力学、波、流体、電気、原子核や放射線について学び、後期には表面張力と熱力学を中心に、基礎医学に関連の深い現象を学ぶ。

各分野での目標は以下の通りである。

1. 力学

自然現象を数理的に理解する能力を高めるために、その基礎となる数学的手法を学ぶとともに、論理的・数理的自然観を学ぶ。

論理的に構成された自然科学の理論体系のお手本として力学を学ぶ。

2. 波

超音波、電磁波(光、電波、X線) 等を理解するため、波動現象に関わる物理量や数理的扱いを習得する。

音や電磁波を利用した医療用検査機器の基本原理を説明できるようにする。

3. 流体

静止流体の性質と運動する流体に成り立つ法則を理解する。

医学基礎科目の理解に必要とされる流体関連の基礎知識を説明できるようにする。

4. 電磁気

電荷、電場、磁場、電流、電位など物理量の意味を理解する。

電磁気の法則を理解し、説明できるようにする。

電磁気現象の医学基礎科目や医療への応用について説明できるようにする。

5. 原子核・放射線

原子核の構造や放射線の種類、医療への応用を理解し説明できるようにする。

6. 表面張力

肺や血管・心臓の物理的なメカニズムを理解するための基礎知識として、液体の表面張力や弾性体膜の張力について説明できるようにする。

7. 熱力学

エントロピーや自由エネルギーの概念を理解し説明できるようにする。

分子の熱運動や拡散・浸透圧など、生体内のイオンや分子の移動等に関連した現象を理解するための基礎知識を理解し説明できるようにする。

[授業の方法]

講義と演習。知識の確認や理解度を高めるため、講義の中で課題を与え、その内容や関連事項について議論し、その場でフィードバックする。

[学修目標]

力学：力と運動を表す物理量および物理量の相互関係を理解し、説明することができる。

力学：ニュートンの運動の3法則といろいろな力の性質および、そこから導かれる法則や保存則を理解し、運動を分析、予想することができる。

力学：剛体の回転を含む運動の表し方と法則を理解し、現象に当てはめて説明することができる。

力学：弾性体のひずみと応力の関係を説明できる。

流体：静止流体および流体内にある物体に働く力とその釣り合いを分析することができる。

流体：連続の式及びベルヌーイの定理を理解し、流体の運動を考察することができる。

流体：粘性流体に働く力を理解し、圧力勾配と流量の関係、特にハーゲン-ポアズイユの法則を説明できる。

波動：波動現象を振動の伝搬として理解し、波の諸現象（反射、透過など）を説明できる。

波動：重ね合わせの原理と、干渉、回折現象について説明できる。

波動：電磁波や音波を利用した医療機器の原理を説明できる。

電気：静電気力と関連する物理量を説明できる。

電気：電気回路におけるオームの法則とキルヒ霍フの法則を理解し、回路で生じる現象を説明できる。

原子核・放射線：原子核の構造、崩壊と放射線について説明できる。

原子核・放射線：検査や治療における放射線の利用について説明できる。

表面張力：表面張力と膜に蓄えられるエネルギーについて説明できる。

表面張力：ラプラスの法則を用いて、血管や肺胞などの力学現象を説明できる。

熱力学：熱力学の基本法則を理解し、不可逆過程とエントロピーの関係を説明できる。

熱力学：自由エネルギーの概念を理解し、状態の変化の向きと平衡状態を推定することができる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：数学、化学、生物学の担当教員と連携し、相互補完的な教育内容にしている。

垂直統合：流体、表面張力、電気回路、熱力学など折に触れ、生理学や生化学などで必要な知識を学んでいることを示している。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[クラス編成]

前期は「標準コース」と「入門コース」の2クラスに分かれ、それぞれ異なった授業が実施される。標準コースでは大学受験の際に物理を選択したことを前提として、また、入門コースでは選択していないことを前提として、授業が行なわれる。入門コースの学生も、前期終了時には標準コースの学生と同程度の数理的処理能力や物理的な考え方を身につけていることが要求される。そのため入門コースではより多くの時間が割り当てられ、より多くの課題が課せられ、細かい指導がなされる。入門コースの方が簡単で楽であるということではないし、試験に通りやすいということでもない。

後期においても2クラスに分けて講義を行うが、標準・入門の区別なく共通した内容の講義を実施する。

[準備学習（予習・復習等）]

講義形式の授業が中心になるので、各自、授業中に取り上げた新しい内容について復習することが求められる。以前の単元が次の単元の内容に関係することもあるので、こまめに復習すること（30分程度）。また、必要に応じて入学以前に学習した内容について振り返った上で授業に出席することが望ましい。

次の単元に進む際に、教科書の該当部分を通読し予習すること（30分程度）。ただし、この予習の段階においては、理解できない部分があっても、その部分で留まらずに一通り読み通せばよい。この予習において、当該部分の内容の概略を把握することを予習の第一目的とする。そして、分からぬ事項や疑問点があればそれを教科書や自分のノートなどにメモしておいた上で講義を受講すること。そして、講義を受けた後、予習段階で自分が持った疑問が解決したかどうか、疑問が解決したのならどのように解決したのか、自分が何を知らなかつた為に疑問に思っていたのか等を復習し考えることを推奨する。予習・復習ともに30分程度の所要時間を目安とする。

[評価]

卒業コンピテンシーIV-1,6(パフォーマンス・レベルD)

卒業コンピテンシー V-1,4(パフォーマンス・レベルD)

中間試験、定期試験、レポート、受講態度などを総合的に評価する。

[フィードバックの方法]

- ・ 中間試験・定期試験結果や問題内容の解説を希望する学生に対して、オフィスアワーにおいてフィードバックし、個人の理解度に応じた学習指導を行う。
- ・ 中間試験・定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 中間試験・定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。

[教科書]

標準コース

「医歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田浩 著（東京教学社）

入門コース

「物理学基礎（第4版）」 原康夫 著（学術図書出版社）

「医歯系の物理学」 赤野松太郎、鮎川武二、藤城敏幸、村田浩 著（東京教学社）

[推薦参考書]

「医歯薬系の物理学」 林 一編（丸善）

「ライフサイエンス物理学」 ケイン・スター・ハイム 著 石井千穎 監訳（広川書店）

「物理学」 小出昭一郎 著（裳華房）：標準的な大学教養課程の教科書

「シップマン自然科学入門－新物理学」 勝守寛 監訳（学術図書）：数式を余り使わない分かりやすい説明

（補足）

高校の教科書も参考になることがあるが、流体力学などは載っていない。

後期は、特に指定しないが、生理学・生化学に関する標準的な教科書・参考書を参考にすることができる。

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室、9階909講義室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
鴨下 淳一 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (水、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903
古澤 彰浩 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (火、水、木、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903

[授業日程]

<物理学(入門)>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/14 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	1. 物理量の記述、2. 単位・次元・次元解析 <ul style="list-style-type: none">●物理学がどのような科学か説明できる。●SI基本単位系の定義と意義が説明できる。●基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。	大2-909
2	04/15 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3. 運動の記述 (1) <ul style="list-style-type: none">●変位、速度、加速度（ベクトル量）を説明できる。●質点の運動を式やグラフで表すことができる。●変化率・累積量を計算できる（微分積分）。	大2-909
3	04/16 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3. 運動の記述 (2) <ul style="list-style-type: none">●変位、速度、加速度（ベクトル量）を説明できる。●質点の運動を式やグラフで表すことができる。●変化率・累積量を計算できる（微分積分）。	大2-909

4	04/21 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4. 運動の法則（1） ●力（ベクトル量）の合成と分解ができる。 ●物体に働く、いろいろな力を調べることができる。 ●物体に働く力のつり合いを説明できる。	大2-909
5	04/22 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4. 運動の法則（2） ●作用反作用の法則を説明できる。 ●慣性の法則を説明できる。 ●力と加速度とが比例することを説明できる。	大2-909
6	04/28 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述（1） ●質点の運動を運動方程式で記述できる。 ●簡単な運動方程式を解くことができる。（等加速度運動など）	大2-909
7	04/30 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述（2） ●質点の平面運動（放物運動など）の運動方程式を記述できる。 ●簡単な運動方程式を解き、運動の様子を調べることができる。	大2-909
8	05/07 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述（3） ●空気抵抗などが働く場合の運動方程式を記述できる。 ●運動方程式から、運動の定性的な変化の様子を調べることができます。	大2-909
9	05/12 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5. 力と運動の記述（4） ●微分方程式を解くことやその解について説明できる。 ●運動方程式を微分方程式として解くことができる。 ●運動方程式の解を考察し、運動の様子を調べることができます。	大2-909
10	05/13 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象（1） ●振動に関する物理量（周期、振動数、振幅など）を説明できる。 ●振動を式やグラフで表すことができる。	大2-909

1 1	05/14 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象（2） ●復元力が働くときの運動方程式を記述できる。 ●復元力とは何かを説明できる。 ●単振動について説明できる。	大2-909
1 2	05/19 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6. 振動現象（3） ●単振動の運動方程式の解について説明できる。 ●単振動をする質点の運動の具体例をあげ、運動方程式を立て、振動の様子を調べることができる。	大2-909
1 3	05/20 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	7. 力積と運動量 ●運動量の定義とその意味を説明できる。 ●力積と運動量の関係を説明できる。	大2-909
1 4	05/21 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8. 仕事とエネルギー（1） ●仕事の定義を説明できる。 ●運動エネルギーと位置エネルギーについて、力学的エネルギー保存則と関連づけて説明できる。 ●エネルギーとは何か、仕事とエネルギーの関係を説明できる。	大2-909
1 5	05/26 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8. 仕事とエネルギー（2） ●力学的エネルギー保存則と運動方程式の関係を説明できる。 ●力学的エネルギー保存則を用いて質点の運動を考察できる。	大2-909
1 6	05/27 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 回転運動の記述（1） ●力のモーメントを説明し、計算できる。 ●力のモーメントのつり合いの式を記述できる。	大2-909
1 7	05/28 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 回転運動の記述（2） ●力のモーメントがつり合っていない場合に対して、物体の回転を定性的に考察できる。 ●回転運動に関する物理量として、角速度、角加速度を説明できる。	大2-909

				●慣性モーメントについて説明できる。	
1 8	06/02 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 回転運動の記述（3） ●回転運動の運動方程式を記述できる。 ●トルクが作用するときの剛体の運動を説明できる。	大2-909
1 9	06/03 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9. 回転運動の記述（4） ●質点と剛体の角運動量を説明できる。 ●角運動量の保存則を説明できる。	大2-909
2 0	06/04 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	10. 弹性体 ●応力とひずみの関係をフックの法則で説明できる。 ●弾性体の変形について、伸縮、ずれ、たわみ、ねじれ等を説明できる。 ●ヤング率を説明できる。 ●身近にある物体の変形に対して、応力とひずみの関係と関連付けて考察できる。	大2-909
2 1	06/09 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11. 静止流体（1） ●流体とは何か、説明できる。 ●静止流体の高さと圧力の関係を説明できる。 ●圧力の単位（Pa、mmHgなど）について説明できる。	大2-909
2 2	06/10 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11. 静止流体（2）、12. 流体の力学（1） ●静止流体の圧力と静止流体中の物体に働く力について説明できる。 ●浮力を説明できる。 ●圧力、流量、流速を説明できる。 ●流体の物理的性質（圧縮性や粘性）による分類を説明できる。 ●流線、流管を説明できる。 ●連続の式を説明できる。	大2-909
2 3	06/16 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12. 流体の力学（2） ●流れている流体が持つエネルギーについて説明できる。 ●ベルヌーイの定理を説明できる。	大2-909

				●連続の式とベルヌーイの定理の応用例として、ベンチュリ管について説明できる。	
2 4	06/17 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12. 流体の力学（3） ●流体から物体が受ける抵抗（粘性抵抗、慣性抵抗）を説明できる。 ●レイノルズ数について説明できる。	大2-909
2 5	06/18 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	13. 波動の記述 ●ばねや単振り子の運動を説明できる。 ●波の回折・干渉・屈折を説明できる。 ●波を式やグラフで表すことができる。	大2-909
2 6	06/23 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	14. 音波（1） ●超音波の性質を説明できる。 ●波が運ぶエネルギー、エネルギー強度について説明できる。 ●音の性質を説明できる。 ●反射率・透過率について説明できる。	大2-909
2 7	06/24 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	14. 音波（2） ●可聴音の音の強さ、デシベルについて説明できる。 ●ドップラー効果について説明できる。	大2-909
2 8	06/25 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	15. 光・電磁波（1） ●光の性質について説明できる。 ●電磁波の分類と波長（振動数）との関係を説明できる。 ●物質による光の吸収について説明できる。	大2-909
2 9	06/30 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	15. 光・電磁波（2） ●物質による光の吸収について説明できる。 ●吸収係数について説明できる。 ●X線レントゲンと吸収係数の関係を定性的に説明できる。	大2-909
3 0	07/01 (水)	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	15. 光・電磁波（3） ●X線CTの原理を定性的に説明	大2-909

	2限			できる。 ●パルスオキシメータの原理を定性的に説明できる。	
3 1	07/02 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16. 静電気の記述（1） ●電荷保存則を説明できる。 ●クーロンの法則を説明できる。 ●電場とは何か、説明できる。	大2-909
3 2	07/07 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	16. 静電気の記述（2）、17. 電流（1） ●電場が電化にする仕事と電位差の関係を説明できる。 ●オームの法則、ジユールの法則を説明できる。	大2-909
3 3	07/08 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	17. 電流（2） ●キルヒホッフの法則を使った回路計算ができる。 ●コンデンサを概説できる。	大2-909
3 4	07/09 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	18. 電場と磁場（1） ●磁場とは何か、説明できる。 ●電磁波とは何か、説明できる。 ●電流が磁場から受ける力について説明できる。	大2-909
3 5	07/14 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	18. 電場と磁場（2） ●ファラデーの電磁誘導の法則を説明できる。	大2-909
3 6	07/15 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	18. 電場と磁場（3） ●ファラデーの電磁誘導の法則の応用例を説明できる。	大2-909
3 7	07/16 (木) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線（1） ●放射線の種類と性質を説明できる。 ●原子核の構造を説明できる。 ●放射性同位元素を説明できる。 ●放射線の医療への応用について説明できる。	大2-909
3 8	07/21 (火) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線（2） ●原子核の構造を説明できる。 ●放射性同位元素を説明できる。 ●放射線の種類と性質を説明で	大2-909

				きる。 ●放射線の医療への応用について説明できる。	
3 9	07/22 (水) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19. 原子核の構造、原子核崩壊と放射線（3） ●原子核の構造を説明できる。 ●放射性同位元素を説明できる。 ●放射線の種類と性質を説明できる。 ●放射線の医療への応用について説明できる。	大2-909

<物理学(標準)>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/15 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	1.物理学の構成、2.単位・次元・次元解析 ●物理学がどのような科学か説明できる。 ●S I 基本単位の定義とその意義を説明できる。 ●基本単位を組み合わせた組立単位を説明できる。 ●次元解析の方法を説明できる。	大2-701
2	04/22 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	3.運動の記述 ●運動の記述に必要な物理量の定義を理解し、それらの間の関係を説明できる。	大2-701
3	04/24 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	4.運動の法則 ●力（ベクトル量）の合成と分解ができる。 ●慣性の法則を理解し、その法則が成り立つ現象を例示できる。 ●力と加速度の間に比例関係があることを説明できる。 ●物体の運動を運動方程式で記述することができる。 ●作用・反作用の法則を説明できる。	大2-701
4	05/01 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	5.さまざまな運動 ●抵抗力のある場合の落下運動を説明できる。 ●微分方程式の意味を考察でき	大2-701

				る。 ●微分方程式の解を求めるこ とができる。	
5	05/08 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	6.仕事とエネルギー ●仕事の定義を説明できる。 ●保存力について説明できる。 ●運動エネルギーと位置エネルギーについて、力学的エネルギーと保存法則と関連づけて説明できる。 ●運動量の変化と力積の関係を説明できる。	大2-701
6	05/13 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	7.二体問題と剛体 ●質点系と剛体の運動方程式を導くことができる。 ●弾性衝突と非弾性衝突の違いを説明できる。 ●運動量保存則を説明できる。	大2-701
7	05/15 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	8.回転運動 ●力のモーメントを説明し、計算できる。 ●質点と剛体の角運動量を説明できる。 ●中心力と角運動量保存則の関係を説明できる。	大2-701
8	05/20 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	9.弾性変形と弾性率 ●応力とひずみの関係をフックの法則を使って説明できる。 ●ヤング率とポアソン比を説明できる。 ●ずれ弾性率、体積弾性率を説明できる。	大2-701
9	05/22 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	10.静止流体と圧力 ●圧力の単位の換算ができる。 ●静止流体の高さと圧力の関係を説明できる。	大2-701
10	05/27 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	11.ベルヌーイの定理 ●連續の式を説明できる。 ●ベルヌーイの定理を説明できる。	大2-701
11	05/29 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	12.粘性流体 ●圧力、流量、流速と粘性抵抗を説明できる。 ●ハーゲン-ポアズイユの法則を説明できる。	大2-701

				<ul style="list-style-type: none"> ●レイノルズ数について説明できる。 ●流体による抗力を説明できる。 	
1 2	06/03 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>13.振動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バネや単振り子の運動を説明できる。 ●振動をグラフや数式で表すことができる。 ●角振動数や波数、周期などの量を説明できる。 	大2-701
1 3	06/05 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>14.波動の基本的性質</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周期的波動のフーリエ変換について説明できる。 ●進行波と定在波の違いを説明できる。 ●波動を数式で表し、その基本的な量について説明できる。 ●波の減衰について考察できる。 	大2-701
1 4	06/10 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>15.音</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音の性質、音の合成によるうなりを説明できる。 ●超音波の性質を説明できる。 ●ドップラー効果を説明できる。 	大2-701
1 5	06/12 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>16.光</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電磁波を定義し、実例を列挙できる。 ●光の反射と散乱を説明できる。 ●光の屈折とその性質を説明できる。 ●光の全反射とその応用例を説明できる。 	大2-701
1 6	06/17 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>17.光の回折と干渉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●薄膜や2重スリットによる回折と干渉を説明できる。 ●丸穴による回折と干渉について説明できる。 ●視力について説明できる。 ●分解能を説明できる。 	大2-701
1 7	06/19 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>18.電荷と物質構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電荷保存則を説明できる。 ●クーロンの法則を説明できる。 	大2-701

				●電気素量について説明できる。	
1 8	06/24 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	19.電場と電位 ●近接作用と、電場の概念を説明できる。 ●電場のする仕事と電位の関係を説明できる。 ●電場に関するガウスの法則を説明できる。	大2-701
1 9	06/26 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	20.導体と誘電体 ●静電誘導と誘電分極の違いを説明できる。 ●コンデンサーを概説できる。 ●導体の性質を説明できる。	大2-701
2 0	07/01 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	21.定常電流 ●オームの法則を説明できる。 ●ジュールの法則を説明できる。 ●起電力を説明できる。 ●キルヒホッフの法則を用いて回路を流れる電流を計算できる。 ●直流と交流の違いを説明できる。	大2-701
2 1	07/03 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	22.磁場 ●磁場のガウスの法則とアンペールの法則を説明できる。 ●磁気の基本的性質について説明できる。 ●電流がつくる磁場について説明できる。	大2-701
2 2	07/08 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	23.電流と磁場 ●ファラデーの電磁誘導の法則を説明できる。	大2-701
2 3	07/10 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	24.電磁誘導 ●コイルを含む回路について計算できる。 ●インダクタンスについて説明できる。	大2-701
2 4	07/15 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（1） ●原子核の構造を説明できる。 ●放射性同位元素を説明できる。 ●原子核崩壊と放射線の種類について説明できる。	大2-701

2 5	07/17 (金) 4限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（2） ●質量とエネルギーの関係を説明できる。 ●原子核崩壊における保存法則について説明できる。	大2-701
2 6	07/22 (水) 3限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	25.原子核、放射線（3） ●放射性同位元素の医療への応用例を説明できる。 ●PETやSPECTの基本原理を説明できる。	大2-701

<物理学>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/09 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（1） ●液体の表面張力を分子間力から説明できる。 ●表面張力の定義を説明できる。 ●表面張力とエネルギーとの関係を説明できる。	大2-701 大2-909
2	10/16 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（2） ●液体表面に蓄えられるエネルギーと表面の形状の安定性について定性的に考察できる。 ●表面張力による現象（毛細管現象など）を説明できる。	大2-701 大2-909
3	10/23 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（3） ●ラプラスの法則を理解し、膜に囲まれた流体の内圧を計算できる。 ●肺コンプライアンスについて説明できる。 ●肺胞の界面活性物質の役割を説明できる。	大2-701 大2-909
4	10/30 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	液体の表面張力・弾性体膜の張力（4） ●気道抵抗について説明できる。 ●血液循環における血管の弾性の役割を説明できる。	大2-701 大2-909
5	11/06	講義	鴨下 淳一	熱力学（1）	大2-701

	(金) 2限		古澤 彰浩	<ul style="list-style-type: none"> ● 気体の熱運動を説明できる。 ● 熱とは何か説明できる。 ● 理想気体の状態方程式を説明できる。 	大2-909
6	11/13 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>熱力学（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部エネルギーを説明できる。 ● 生命現象におけるエネルギー変化に対しても熱力学法則が適用できることを概説できる。 ● 热力学第一法則を応用できる。 ● 热の出入りと仕事を計算できる。 	大2-701 大2-909
7	11/20 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>熱力学（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 可逆過程と不可逆過程について説明できる。 ● 热力学のエントロピーを説明できる。 ● 热力学の第2法則を説明できる。 	大2-701 大2-909
8	11/27 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>熱力学（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 拡散を熱運動から説明できる。 ● 統計力学のエントロピーを説明できる。 	大2-701 大2-909
9	12/11 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>熱力学（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エンタルピー、エントロピーを説明できる。 ● 反応が進む条件を説明できる。 	大2-701 大2-909
10	12/18 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>熱力学（6）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ギブスの自由エネルギーを説明できる。 ● 反応が進む条件を自由エネルギーの観点から説明できる。 	大2-701 大2-909
11	01/08 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>熱力学（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 浸透圧を自由エネルギーから説明できる。 	大2-701 大2-909
12	01/15 (金) 2限	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>熱力学（8）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 膜電位を自由エネルギーから説明できる。 	大2-701 大2-909
13	01/22 (金)	講義	鴨下 淳一 古澤 彰浩	<p>熱力学（9）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 標準ギブスエネルギー変化と 	大2-701 大2-909

2限

- 平衡定数の関係を説明できる。
- 化学平衡を自由エネルギーから説明できる。
 - 反応が自発的に進む条件を検討できる。

化学

[教育目標]

化学は物質の構造、性質および反応性を知るための学問である。生体を構成する成分は20余種の元素からなっており、主な元素は炭素、水素、酸素、窒素、硫黄、リンなどである。生体は約60%が水分、約4%が無機質、そして残りが有機化合物、すなわちアミノ酸、タンパク質、糖質、脂質、核酸などからなっている。また、生体中の無機質や有機化合物は水の存在下で種々の生理的機能を発揮している。したがって、生体中の無機質や有機化合物の化学的な性質・反応性に関する知識をもつことは、生体の生理的機能を解明する学問である生化学や生理学、薬物の作用を解明する学問である薬理学、生体を取り巻いている環境と生体との関わりを解明する学問である公衆衛生学、病態を解明する学問である病理学、病態を生体内化学物質の検査値で推察する臨床検査学などを理解する上で必要である。以上のような観点から、医学生に対する初年次教育としての講義と実習を行う。

講義では生命と化学の接点、原子の構造と性質、化学結合、溶液の化学、酸・塩基と酸化・還元、反応速度と自由エネルギー、有機化合物の構造と種類、有機化学反応、生体構成物質の化学、活性酵素と生体内で生じるガス分子の化学について学ぶ。また、実習では分子模型や生体成分を使った実験を行って、基本的な有機化合物と生体成分の構造、性質および反応性を理解する。

[授業の方法]

講義と実習　・講義は大人数教育を避けるため、2クラス編成で行う（内容は同じ）。　・講義は教科書を中心につづめるが、補足資料はSmart Discussionで配信する。なお、講義の中で、アクティブラーニングとして指名による試問を頻繁に実施する。　・実習は内容により各自あるいは2～3人が1組になって実験を行い、報告書を作成する。

[学修目標]

原子の構造と性質を説明できる。

化学結合と分子間に働く相互作用を説明できる。

電離平衡・緩衝作用と酸化・還元を説明できる。

反応速度論を説明できる。

基本的な有機化合物をIUPAC命名法で命名できる。

基本的な有機化合物の構造と化学的性質を説明できる。

基本的な有機化学反応を説明できる。

主な生体構成成分の構造と化学的性質を説明できる。

生体内における活性酸素種の生成系・消去系と、それらの生体に対する作用を説明できる。

生体内における一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の生成系と、それらの生体に対する作用を説明できる。

医学研究や医学論文で用いられる基本的な化学用語を英語で表記できる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：生物学・物理学の担当教員と連携し、相互補完的な教育内容にしている。

垂直統合：次年度に学ぶ「人体を構成する物質と化学反応（生化学）」への導入的事項と基礎的事項、関連する「人体の生理（生理学）」・「生体と薬物（薬理学）」などへの準備的事項を教育内容に含んでいる。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

講義前に、あらかじめ教科書の該当部分を一読しておくこと。講義後は、教科書の章末問題を参考するなどして講義内容を復習すること。また、Smart Discussionで配信した資料中の化学英語の課題を完成させること。講義で理解できなかった部分については、教科書や資料を丹念に読み、また質問するなどして解決し、理解できないままに放置しないこと。

実習では、事前に実習書を読み、実験内容をよく把握しておくこと。実習後は、実習内容と関連する講義内容について実習書の章末問題で復習すること。

それぞれ約30分程度を目安とする。

[評価]

試験（卒業コンピテンシー IV-1、V-1,3,4、パフォーマンス・レベルD）

- ・講義内容に基づく中間試験（筆記）2回 [I : 6月、II : 前期試験期間]
- ・実習内容と実習に関連した講義内容に基づく定期試験（筆記）[後期試験期間]
- ・実習小テスト（多肢選択）[各実習時間]

によって、総合的に行う。ただし、定期試験が不合格である場合は、総合評価は不合格となる。

[フィードバックの方法]

- ・講義の中で行う試問で、学習過程の最中に理解度を確認させる。
- ・化学英語の課題は解答を示す。
- ・中間試験 I、II と定期試験の結果について、希望者に採点結果を解説する。
- ・実習小テストは解答および解説を示す。
- ・実習終了時に提出する報告書は確認後返却する。

[教科書]

「メディカル化学 — 医歯薬系のための基礎化学」齋藤勝裕、太田好次、山倉文幸、八代耕児、馬場 猛 著
(裳華房)

「医学部化学実験」（無償配布）

[推薦参考書]

「イラストレイテッド生化学 原書7版（リッピングコットシリーズ）」石崎泰樹、丸山敬 監訳（丸善）
「ライフサイエンスのための化学」安藤祥司、熊本栄一、坂本寛、弟子丸正伸 著（化学同人）
「絶対わかる化学の基礎知識」齋藤勝裕 著（講談社）
「絶対わかる化学結合」齋藤勝裕 著（講談社）
「絶対わかる無機化学」齋藤勝裕 著（講談社）
「絶対わかる有機化学」齋藤勝裕 著（講談社）

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室、9階909講義室

[実習場所]

大学1号館地下1階実習室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・化学>

担当者名	曜日	時間	場所
八代 耕児 准教授	月曜～金曜	16:00～18:00	大学2号館8階803,805

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
太田 好次 客員教授		※講義終了後に対応	

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
角川 裕造 教授	月曜～金曜	16:00～18:30	大学2号館7階703
守口 匡子 准教授	月曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階703

[授業日程]

<化学>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	04/15	講義	八代 耕児	生命と化学の接点	大2-701

	(水) 4限		太田 好次	<p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞の全体像を図示できる。 ○ 細胞膜の構造と機能を説明できる。 ● 生命の基本単位である細胞のしくみと生体分子の関連性を説明できる 	
2	04/24 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>原子の構造と性質</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>E-6-1) 生体と放射線</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。 ● 原子核の構造を概説できる。 ● 放射性同位元素を説明できる。 ● 電子のスピン、パウリの排他率とフントの法則を説明できる。 ● 電子の軌道を説明できる。 ● 周期表にしたがって、原子の大きさ、電気陰性度、イオン化エネルギーを説明できる。 ● 電子親和力を説明できる。 	大2-701 大2-909
3	05/01 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>化学結合と混成軌道①</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>● イオン結合、金属結合と共有結合を説明できる。</p>	大2-701 大2-909
4	05/08 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>化学結合と混成軌道②</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 	大2-701 大2-909

				<ul style="list-style-type: none"> ●炭素原子を例にとり、混成軌道を説明できる。 ●単結合、二重結合と三重結合を説明できる。 	
5	05/12 (火) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>結合のイオン性と分子間力 A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ●共有結合のイオン性を説明できる。 ●電気陰性度と電子の動きによる官能基の反応性を説明できる。 ●水素結合、ファンデルワールス相互作用等の弱い結合を説明できる。 ●n-n相互作用、疎水性相互作用等の分子間の相互作用を説明できる。 	大2-701 大2-909
6	05/13 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>配位結合と有機金属化合物 溶液の化学 A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <ul style="list-style-type: none"> ○細胞内液・外液のイオン組成を説明できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○配位結合を説明できる。 ●生体における錯体を説明できる。 ●微量元素の種類と作用を説明できる。 ●当量と当量濃度を説明できる。 ●浸透圧濃度と容量オスモル濃度を説明できる。 	大2-701 大2-909
7	05/20 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>酸・塩基と酸化・還元 A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p>	大2-701 大2-909

				<ul style="list-style-type: none"> ○ (電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。) ●電離平衡と緩衝作用を説明できる。 ●生体における溶液中の電離平衡を概説できる。 ●Henderson-Hasselbalch (ヘンダーソン・ハッセルバルヒ) の式を説明できる。 ●酸化還元電位と標準水素電極を説明できる。 	
8	05/22 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>反応速度①</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ●一次反応、二次反応等の反応速度や速度式を説明できる。 	大2-701 大2-909
9	05/27 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>反応速度②</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 酵素の機能を説明できる。 ●酵素反応の特徴を説明できる。 ●Michaelis-Menten (ミカエリス・メンテン) の式を説明できる。 ●Lineweaver-Burk (ラインウェーバー・バーカ) プロットを説明できる。 	大2-701 大2-909
10	05/29 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>有機化合物の構造と種類①</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ●炭化水素を分類し、その化学的性質を説明できる。 ●有機化合物の命名法を説明できる。 ●単結合、二重結合と三重結合を説明できる。 	大2-701 大2-909
1	06/09	講義	八代 耕児	有機化合物の構造と種類②	大2-701

1	(火) 4限		太田 好次	A-2-2) 学修の在り方 ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ●環状構造とその性質を説明できる。 ●芳香族性（ヒュッケル則）を説明できる。 ●主な芳香族化合物を列挙し、その化学的性質を説明できる。	大2-909
1 2	06/10 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類③ A-2-2) 学修の在り方 ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ●主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ●主なアルコール、フェノールおよびエーテルをIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ●主なアルコール、フェノールおよびエーテルを列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	大2-1205 大2-701
1 3	06/16 (火) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類④ A-2-2) 学修の在り方 ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ●主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ●主なアルデヒド、ケトンおよびカルボン酸とその誘導体をIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ●主なアルデヒド、ケトンおよびカルボン酸とその誘導体を列挙し、それらの化学的性質を説明できる。	大2-701 大2-909
1 4	06/17 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化合物の構造と種類⑤ A-2-2) 学修の在り方 ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容につ	大2-701 大2-909

				<p>いて、重要事項や問題点を抽出できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主な官能基を列挙し、その性質を説明できる。 ● 主なアミンとその関連化合物および硫黄化合物をIUPAC命名法にしたがって命名できる。 ● 主なアミンとその関連化合物および硫黄化合物を列挙し、それらの化学的性質を説明できる。 	
1 5	06/17 (水) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>有機化合物の異性体①</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 光学異性体、立体異性体と幾何異性体の性質と特徴を説明できる。 ● Fischer (フィッシャー) 投影式を説明できる。 ● RS絶対配置を説明できる。 	大2-701 大2-909
	06/24 (水) 4限	中間試験	八代 耕児 太田 好次	中間試験 I	大2-603
1 6	06/26 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>有機化合物の異性体②</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 立体配座異性体の性質と特徴を説明できる。 ● Newman (ニューマン) 投影式を説明できる。 	大2-1205 大2-701
1 7	06/30 (火) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>有機化学反応①</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 電気陰性度と電子の動きによる官能基の反応性を説明できる。 ● 置換反応と脱離反応を説明できる。 	大2-701 大2-909

1 8	07/01 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	有機化学反応② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ● 付加反応、転移反応と酸化還元反応を説明できる。 ● 生体内でみられる有機化学反応を分類できる。	大2-701 大2-909
1 9	07/01 (水) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	脂質① A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 脂質の種類と性質を説明できる。 ● 脂肪酸の種類と性質を説明できる。 ● 脂肪酸を慣用名と種々の表記法で命名できる。 ● 必須脂肪酸を説明できる。 ● 脂肪酸の過酸化反応を説明できる。	大2-701 大2-909
2 0	07/03 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	脂質② A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。	大2-701 大2-909
2 1	07/08 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	脂質③ 糖質① A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。	大2-701 大2-909

				<p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能を説明できる。</p> <p>C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (解糖の経路と調節機構を説明できる。) ○ (五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。) ○ (脂質の合成と分解を説明できる。) ● 脂質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● コリステロールの環状構造とその性質を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 生体膜中の脂質の役割を説明できる。 ● 単糖類の種類と性質を説明できる。 ● 単糖類の環状構造とその性質を説明できる。</p>	
2 2	07/08 (水) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>糖質②</p> <p>A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。</p> <p>C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (解糖の経路と調節機構を説明できる。) ○ (五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。) ● 单糖類の環状構造とその性質を説明できる。 ● Haworth (ハース) 投影式を説明できる。 ● 二糖類の種類と性質を説明できる。</p>	大2-701 大2-909
2 3	07/10 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>糖質③</p> <p>A-2-2) 学修の在り方 ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。</p> <p>C-2-5) 生体物質の代謝 ○ (グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。) ● 多糖類の種類と性質を説明で</p>	大2-701 大2-909

				<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高分子の立体構造を説明できる。 ●炭水化物の基本的な構造と機能を説明できる。 ●糖とタンパク質との非酵素的反応を説明できる。 	
2 4	07/15 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>アミノ酸とタンパク質①</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。) <ul style="list-style-type: none"> ●アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ●アミノ酸が両性電解質であることと等電点を説明できる。 ●必須アミノ酸を列挙できる。 	大2-701 大2-909
2 5	07/15 (水) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>アミノ酸とタンパク質②</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(タンパク質の合成と分解を説明できる。) <ul style="list-style-type: none"> ●タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる。 ●高分子の立体構造を説明できる。 ●水素結合、ファンデルワールス力等の弱い結合を説明できる。 ●タンパク質の変性を説明できる。 	大2-701 大2-909
2 6	07/17 (金) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>核酸①</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路を説明でき 	大2-701 大2-909

				<p>る。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。 ● ヌクレオチド構造を有する生理活性物質を列挙し、それらの働きを説明できる。 	
2 7	07/22 (水) 4限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>核酸②</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。 ○ デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 核酸の構造と機能を説明できる。 ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● 水素結合、ファンデルワールス力等の弱い結合を説明できる。 ● π-π相互作用や疎水性相互作用等の分子間の相互作用を説明できる。 	大2-701 大2-909
2 8	07/22 (水) 5限	講義	八代 耕児 太田 好次	<p>活性酸素の化学 生体内で生じるガス状シグナル分子の化学</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 <p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。 ○ 酸化ストレス(フリーラジカル、活性酸素)の発生と作用を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 活性酸素を列挙し、その化学 	大2-701 大2-909

				<p>構造と性質を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生体内におけるフリーラジカルと活性酸素の消去系を説明できる。 ●一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の化学構造と性質を説明できる。 ●生体内における一酸化窒素、一酸化炭素および硫化水素の生成系と作用を説明できる。 	
--	--	--	--	---	--

<化学(実習)>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	11/20 (金) 4限	実習	八代 耕児 太田 好次 角川 裕造 守口 匡子	<p>分子模型を用いての有機化合物の立体構造に関する実験</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 ●有機化合物の立体構造を説明できる。 	
2	11/20 (金) 5限	実習		<ul style="list-style-type: none"> ●光学異性体、立体異性体と幾何異性体の性質と特徴を説明できる。 ●RS絶対配置を説明できる。 ●環状構造とその性質を説明できる。 ●立体配座異性体の性質と特徴を説明できる。 	大1-B1実習室
3	11/27 (金) 4限	実習		<p>糖の化学的性質に関する実験</p> <p>A-2-2) 学修の在り方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 	
4	11/27 (金) 5限	実習	八代 耕児 太田 好次 角川 裕造 守口 匡子	<p>C-2-5) 生体物質の代謝</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(解糖の経路と調節機構を説明できる。) ●単糖類、二糖類と多糖類の種類と性質を説明できる。 ●炭水化物の基本的な構造を説明できる。 	大1-B1実習室
5	11/27 (金) 6限	実習		<ul style="list-style-type: none"> ●高分子の立体構造を説明できる。 ●糖の特異的反応を説明できる。 	
6	12/11 (金)	実習	八代 耕児 太田 好次	アミノ酸とタンパク質の化学的性質に関する実験	大1-B1実習室

	4限		角川 裕造 守口 匡子	A-2-2) 学修の在り方 ○実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○(タンパク質の合成と分解を説明できる。) ○(アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。) E-5-3)-(1) 中毒 ○重金属による中毒を概説できる。 ●アミノ酸の種類と性質を説明できる。 ●アミノ酸の薄層クロマトグラフィーの原理について説明できる。 ●タンパク質の特異的反応を説明できる。 ●水素結合、ファンデルワールス相互作用などの弱い結合を説明できる。 ●タンパク質の基本的な構造を説明できる。 ●高分子の立体構造を説明できる。	
7	12/11 (金) 5限	実習			
8	12/11 (金) 6限	実習			
9	12/18 (金) 4限	実習	八代 耕児 太田 好次 角川 裕造 守口 匡子	核酸の化学的性質に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子 ○(デオキシリボ核酸(deoxyribonucleic acid)の複製と修復を概説できる。) ○(デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleic acid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)を説明できる。)	大1-B1実習室
10	12/18 (金) 5限	実習		●塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドの種類と性質を説明できる。 ●核酸の構成成分の化学的性質を説明できる。 ●塩基の分光学的性質を説明できる。 ●Lambert-Beer (ランベル	
11	12/18 (金) 6限	実習			

				ト・ベール) の法則を説明できる。	
1 2	01/15 (金) 4限	実習		酵素反応に関する実験 A-2-2) 学修の在り方 ○ 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。 C-2-5) 生体物質の代謝 ○ 酵素の機能を説明できる。 ● 酵素反応の特徴を説明できる。 ● 電離平衡と緩衝作用を説明できる。	
1 3	01/15 (金) 5限	実習	八代 耕児 太田 好次 角川 裕造 守口 匡子		大1-B1実習室
1 4	01/15 (金) 6限	実習			

細胞の生理

[教育目標]

多細胞生物では体細胞は動物の皮膚に包まれた体内の海というべき細胞外液に浸かっている。一方、体細胞内にも大量の液体、すなわち細胞内液が存在しているが、細胞膜によって隔離されているために細胞外液と細胞内液の組成は大きく異なっている。生理学では内部環境を維持するための個々器官の複雑な相互作用を理解しなければならない。すなわち、内部環境を維持するためには、生体外の“不秩序”な環境から生体内の内部環境を“隔離”する必要があるが、一方、内部環境を維持するためには“開放系”として、酸素・栄養素・排泄物・熱の交換や情報の交換を行う必要がある。

細胞の生理では生命を維持する媒体として細胞外液や細胞内液の重要性を理解した上で、生理学の基本となる物質の移動や物質の膜透過を物理化学的に理解することを目標とする。この理解には細胞外液や細胞内液に存在する水、イオン、高分子やタンパク質だけでなく膜タンパク質を物理化学的な視点から理解することが必要であり、これも重要な目標とする。

[授業の方法]

アクティブラーニングとして、講義中に自分の左右に座っている学生3名とグループを作り、設問（問い合わせ）を相談しながら解答する。また、ICT教育の一環として、学生自身がデータベースに蓄積された情報を基にしてコンピュータによるタンパク質の立体構造予測等を行う。

[学修目標]

生理現象における体液の重要性を説明できる。
物質の膜透過により生じる生理現象を論理的に説明できる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：関連する物理学・化学の講義内容と、相互補完的な教育内容となっている。
垂直統合：2年生で履修する生理学の理解に必要な知識を学習する。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベルA～Fを記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

講義の前に参考資料を提示するので目を通してから講義に臨むこと。また、復習をしておくこと。目安としてそれぞれ30分程度の時間を要する。

[評価]

(1)知識（卒業コンピテンシー IV-1, 2, 4）、パフォーマンスレベルD

知識量と理解度を定期試験で評価する。実習レポート、実習中の態度などから総合的に評価する。

(2)講義と実習の態度（卒業コンピテンシー I -1）、パフォーマンスレベルC

医学生としての講義における受講態度、実習に積極的に参加したかの受講態度を評価する。

[フィードバックの方法]

定期試験結果については、希望者については学習指導を行う。

実習レポートについてはコメントを付けて返却をする。

[教科書]

なし

[推薦参考書]

「オックスフォード・生理学 4版」Pocock・Richards著 岡野・植村・鯉淵 監訳（丸善）（2年次の科目である生理学の指定教科書）

「ギャノング生理学 原書24版」Barrett・Barman・Boitano・Brooks著 岡田泰伸 監訳（丸善）（2年次の科目である生理学の指定教科書）

「カラー版 ボロン ブールペープ 生理学」Boron・Boulpaep著 泉井亮 総監訳（西村書店）

「症例問題から学ぶ生理学 原書3版」 鯉淵典之 監訳（丸善出版）

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室、12階IT学習室

[実習場所]

大学1号館 地下1階実習室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・生理化学>

担当者名	曜日	時間	場所
中島 昭 教授	月曜～金曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	大学2号館8階803

<医学部・生理学Ⅰ>

担当者名	曜日	時間	場所
亀山 俊樹 講師	月曜～木曜	13:00～18:00	大学1号館4階410
長崎 弘 教授	月曜、水曜	12:30～13:20, 16:00～18:00	大学1号館4階410
小谷 侑 講師	月曜～金曜	17:00～19:00	大学1号館4階410
河田 美穂 助教	月曜～金曜	17:00～19:00	大学1号館4階410

[授業日程]

<細胞の生理>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/09 (金) 1限	講義	中島 昭	細胞膜の役割（1） C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 ● 細胞膜の重要性を説明できる。	大2-701
2	10/16 (金) 1限	講義	中島 昭	細胞膜の役割（2） C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 ● 細胞膜の重要性を説明できる。 ● 細胞膜を介しての物質の拡散・浸透・透過を説明できる。	大2-701
3	10/23 (金)	講義	中島 昭	体内の水（1） C-2-3)-(4) ホメオスタシス	大2-701

	1限			<ul style="list-style-type: none"> ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○ 恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。 ● 体内の水分量の調節メカニズムを説明できる。 	
4	10/30 (金) 1限	講義	中島 昭	<p>体内の水 (2)</p> <p>C-2-3)-(4) ホメオスタシス</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生体の恒常性維持と適応を説明できる。 ○ 恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。 ● 水の構造・性質・運動を説明できる。 ● 水の重要性を説明できる。 	大2-701
5	11/06 (金) 1限	講義	中島 昭	<p>水和</p> <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ● 高分子の水和を説明できる。 ● イオンの水和を説明できる。 	大2-701
6	11/13 (金) 1限	講義	中島 昭	<p>生体高分子 (1)</p> <p>C-1-2)-(1) 生物の進化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。 <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 高分子の立体構造を説明できる。 ● タンパク質の基本的な構造と機能を説明できる。 ● アミノ酸の種類と性質を説明できる。 	大2-701
7	11/20 (金) 1限	講義	中島 昭 小谷 侑	<p>生体高分子 (2)</p> <p>C-1-2)-(1) 生物の進化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● タンパク質の二次構造を説明できる。 	大2-1201IT学習室
8	11/27	講義	中島 昭	生体高分子 (3)	大2-1201IT学習室

	(金) 1限		小谷 侑	C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ● 膜タンパク質の高次構造を理解できる。	
9	12/11 (金) 1限	講義	中島 昭	膜透過 (1) C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能 ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 ● 拡散と混合を説明できる。 ● 細胞膜の構造とその形成機序を説明できる。	大2-701
10	12/18 (金) 1限	講義	中島 昭	膜透過 (2) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ● 単純拡散と促通拡散を説明できる。 ● 拡散の法則を説明できる。 ● 能動輸送と二次的能動輸送を説明できる。	大2-701
11	01/08 (金) 1限	講義	中島 昭	膜電位 (1) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ● ネルンストの式と平衡電位を説明できる。 ● 膜電位を計算できる。	大2-701
12	01/15 (金) 1限	講義	中島 昭	膜電位 (2) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ○ 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。 ● ネルンストの式と平衡電位を説明できる。 ● 膜電位を計算できる。	大2-701
1	01/18	講義	中島 昭	浸透圧と有効浸透圧	大2-701

3	(月) 4限		C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ● 浸透圧と有効浸透圧の違いを説明できる。 ● 溶液の濃度を計算できる。	
---	-----------	--	---	--

<細胞の生理(実習)>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	01/20 (水) 4限	実習	中島 昭 長崎 弘 小谷 侑 河田 美穂	溶液作製および物質の膜透過に関する実験(実習) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止(膜)電位を説明できる。 ● 生理的代用液を作製できる。 ● 浸透圧を説明できる。	大1-B1実習室
2	01/20 (水) 5限	実習			
3	01/20 (水) 6限	実習			
4	01/22 (金) 4限	実習	中島 昭 長崎 弘 小谷 侑 河田 美穂	物質の拡散および物質の膜透過に関する実験 (実習) C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 ● ストークス・AINシュタインの式を説明できる。 ● 透過率と吸光度の関係を説明できる。 ● Lambert-Beerの法則、モル吸光係数を説明できる。 ● 溶血現象を応用した物質の膜透過現象を説明できる。	大1-B1実習室
5	01/22 (金) 5限	実習			
6	01/22 (金) 6限	実習			

細胞から個体へ

[教育目標]

解剖学教育の目標とは、「6年かけて臨床医学を学ぶために必要な人体の構造・機能・名称の基礎的知識の習得」です。人体の構造は細胞からつくられます。細胞が規則性をもって集まり4種類の組織がつくられ、さらにこれらの組織が規則性をもって集まり器官をつくられ、器官が組み合わさり器官系が、器官系が組み合わさりヒトという個体が、つくられています。組織標本を顕微鏡を用いて観察し、その構造と機能の関係から個体の構造を学ぶのが「組織学」という学問です。この「細胞から個体へ」においては、まず「組織学」を学びます。また、この人体の構造が胎児の時期にどの様な過程を経てできあがり、また先天異常という病態がなぜ起こるか、を時間軸上で考える学問である「発生学」も学びます。全体として、病気が構造と機能の異常であるということを学ぶきっかけをつくります。

[授業の方法]

講義と実習（実習が中心） 講義で座学を行い、その内容を実習において実際に顕微鏡で観察し記録します。実習においては、顕微鏡標本のスケッチと共に、各回の重要項目についてのレポートを作成し、提出する必要があります。また、疾患や病態に関連した課題の解決を学生間で相談し考えることにより知識の意義づけを行います。実習内容の理解は5択問題による小テストを実施することでフィードバックされます。ICT教育として、講義・実習の内容についての課題問題をMoodleによるe-ラーニングで配信するので、予習・復習に役立ててください。

[学修目標]

光学顕微鏡と電子顕微鏡の原理と、標本作製方法を説明できる。

細胞の構造と機能を説明できる。

細胞の生活現象（分泌・吸収・運動）と細胞の一生（細胞増殖・細胞死・組織の再生）を説明できる。

細胞の種類や細胞内構造を光学顕微鏡と電子顕微鏡写真において判別できる。

4種類の組織の構造と機能を説明できる。

4種類の組織を光学顕微鏡を用いて判別できる。

各器官の主な細胞について説明できる。

各器官を光学顕微鏡を用いて判別できる。

各器官の発生過程とその異常を説明できる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：共同利用研究設備サポートセンター、生化学教員と連携し、専門領域について教育を補完している。

垂直統合：症例問題を提示しその病態生理の理解に必要な知識を学んでいることを示している。

[身につける能力]

卒業コンピテンス・コンピテンシー参照

- I-1 パフォーマンスレベル C
- IV-1 パフォーマンスレベル D
- V-1,2 パフォーマンスレベル E

【授業形態】

授業では講義と実習があります。講義で学んだ内容について実習を行います。画像としての情報を提供し講義時間内で全体像を把握できるように、講義・実習を合わせて一つと考えて授業計画を考えています。

【講義】 まず講義・実習で学ぶ内容を予習するためのきっかけを教科書を使い解説します。器官・組織・細胞の構造と機能の関係、将来に出会う主な疾患を学ぶために画像教材や新聞記事・教科書以外の書籍の資料を用いて、高校までの復習、現代科学の最先端、関連する社会問題を理解します。次に、実習で学ぶ人体構造・顕微鏡標本について解説します。基本的な顕微解剖学の項目を、機能を中心に学びます。さらに、解剖学用語の日本語と英語の綴り、授業内容に密接な内容でCBTや医師国家試験で必要となる項目を学びます。

【実習】 まず模型や立体画像、一部は生の細胞・動物器官を用いて、説明を行う。次に、光学顕微鏡を使用して、ヒト各器官の組織標本を観察して基本的な微細構造を理解し、電子顕微鏡写真と免疫組織化学等の特殊染色標本を観察して、構造と機能について理解を深めます。特徴的な細胞・組織の構造については、TVモニターにて別途に供覧します。顕微鏡は、聴診器とともに医学生・医師が一生身近に置いて使える代表的な診断器具です。顕微鏡に慣れ親しんで下さい。光学顕微鏡標本作製法や電子顕微鏡の見学を行います。基本的な標本作製法である血液塗沫標本・H&E染色標本について、時間の許す限り見学・体験する機会を図ります。発生学実習では、動物精子、妊娠・出産模型、二ワトリ全胚・切片標本を観察して、胎児の発達と成熟過程を理解します。組織学の学術用語については、顕微鏡標本をスケッチする際に学ぶ機会を特に設けます。

【授業内容】

人体の基本的な構成要素は細胞です。細胞が集まって機能を営むようになった構造が組織で、上皮組織・結合組織・筋組織・神経組織の4種類があります。この4種類の組織が特有の配列をして、独立して機能する器官を作ります。人体には12種類の器官系があります。器官系とは、例えば消化器系は、食道・胃・腸・肝臓・脾臍などの器官の集まりで、食物の消化吸収というひとつの大きな仕事を営みます。肉眼で人体を観察した場合、ひとつひとつの器官は観察できますが、器官を形作っている細胞や組織を観察するには、顕微鏡で拡大して見る必要があります。

第一に、組織学総論において人体を構成する基本単位である細胞の構造と、細胞の集団としての4種類の組織について学びます。

第二に、細胞の構成成分、幹細胞からの分化、細胞増殖・組織再生など細胞・組織の機能の基礎的原理となる細胞生物学の初步を学びます。

第三に、それらの組織からどのように器官が構成されているかを組織学各論（器官組織学）において学びます。

第四に、発生学においては、胎児において器官ができる過程と、その先天異常について学びます。細胞の形態に加えて、その生き様・機能をDNAと蛋白質の視点から把握する事が、再生医学などの先端的な医学の理解に必要になっている事に配慮して、組織学から派生した学問である神経生物学・細胞生物学・発生生物学・進化生物学の知見も必要に応じて合わせて学ぶ予定です。

【学習の心構え】

組織学において学習する事柄は増すばかりですが、講義・実習時間は限られています。組織学は、「百聞は一見に如かず」の言葉のとおりです。目標達成のためには自学によって理解を深める事が必要なので、十分な予

習・復習を行い、真摯な気持ちで講義と実習の場に臨んで下さい。

[準備学習（予習・復習等）]

予習復習用の課題集を初回講義で配信します。読んでおくべき教科書の章・頁が記入してあるので、参考にして下さい。講義の前には教科書「入門組織学」とデジタルの配布資料を読み（30分程度）、講義後にはノートを整理し配布問題集を解くこと（30分程度）。医師になるためにはそれだけの勉強が最低限必要です。また、ICT教育として、Moodleを用いたe-ラーニングでも予習・復習ができるようにしますので、小テストおよび定期テストの準備に活用してください。

[評価]

(1) 知識（卒業コンピテンシー IV-1：パフォーマンスレベル D）

知識量と理解度を小テストおよび実習各回のスケッチ・レポートにより適宜評価する。

(2) 講義と実習の態度（卒業コンピテンシー I -1：パフォーマンスレベル）

医学生としての講義における受講態度、実習に真摯かつ積極的に参加したかの受講態度を評価する。

以上（1）（2）と定期試験の成績から総合的に評価する。

[フィードバックの方法]

実習においては、顕微鏡標本のスケッチと共に、各回の重要項目についてのレポート作成を求めます。スケッチとレポートについては、授業時間内で解説を行い、提出を求め、コメントを付けて返却します。小テストを4回行い、その都度に各人の得点とクラス内順位をお伝えするので、自身の理解度を知る目安としてください。小テスト終了後に解説を行い、オフィスアワーにおいて必要に応じ指導します。小テスト・スケッチ・レポート・定期試験を総合評価します。

[教科書]

1. 「入門組織学 改訂第2版」 牛木辰雄（南江堂）
2. 「組織細胞生物学 原書第3版」 内山安男（南江堂）
3. 「カラー図解 人体発生学講義ノート 第2版」 塩田浩平（金芳堂）
4. 「Junqueira's Basic Histology 14th ed.」 Mescher AL. (McGraw-Hill Education)

[推薦参考書]

1. 「Langman's Medical Embryology」 Sadler W. (Lippincott)

[授業時間]

後期9月28日から1月26日

・月曜日：3コマ目（一部4コマ目）

・火曜日：3・4・5・6コマ目

[使用する教室]

大学2号館 7階701講義室

[実習場所]

大学1号館 B1階多目的実習室

大学1号館 1階多目的実習室

大学2号館 12階IT実習室

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・解剖学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
高橋 和男 教授	水曜日	16:00～18:00	解剖学教室
深澤 元晶 講師	月曜/火曜	17:20～18:30	大学1号館8階806
齊藤 成 講師	月曜/火曜	17:20～18:30	大学1号館8階806
石嶺 久子 助教	月曜～金曜 (前期) 月曜/ 火曜 (後期)	12:30～13:20, 16:00～17:00 (前期) 17:20～18:30 (後 期)	大学1号館8階806

<医学部>

担当者名	曜日	時間	場所
永津 郁子 名誉教 授		※講義終了後に対応	

<医学部・医学科>

担当者名	曜日	時間	場所
野田 亨 客員教 授		※講義終了後に対応	
川井 範夫 客員教 授		※講義終了後に対応	

中井 さち 子	客員教 授		※講義終了後に対応	
新美 元	客員講 師		※講義終了後に対応	
小久保 正 博	客員助 教		※講義終了後に対応	

<共同利用研究設備サポートセンター>

担当者名	曜日	時間	場所
尾之内 高 慶	講師	講義終了後に対応	
井手 富彦	助教	講義終了後に対応	

<医学部・病理学>

担当者名	曜日	時間	場所
前田 真男	講師	金曜日	16:00~17:00 大学1号館5階514

[授業日程]

<細胞から個体へ>

No.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	09/28 (月) 3限	講義	高橋 和男	〔総論〕1 組織学入門 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 ○ 研究は、医学・医療の発展 や患者の利益の増進を目的 として行われるべきことを 説明できる。 ○ 生命科学の講義・実習で得 た知識を基に、診療で経験 した病態の解析ができる。 ○ 患者や疾患の分析を基に、 教科書・論文等から最新の 情報を検索・整理統合し、 疾患の理解・診断・治療の 深化につなげることができる。 ○ 抽出した医学・医療情報か ら新たな仮説を設定し、解 決に向けて科学的研究（臨 床研究、疫学研究、生命科	大2-701

				<p>学研究等)に参加することができる。</p> <p>A-9-1) 生涯学習への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の重要性を説明できる。 ○生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ○キャリア開発能力を獲得する。 ●顕微解剖学について説明できる。 	
2	09/28 (月) 4限	講義	高橋 和男	<p>〔総論〕 2 細胞の構造</p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○細胞の観察法を説明できる。 ○細胞の全体像を図示できる。 ○核とリボソームの構造と機能を説明できる。 ○小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。 ○ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。 ○細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。 ○細胞膜の構造と機能を説明できる。 ○原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。 <p>C-1-1)-(2) ゲノム・染色体・遺伝子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。 ○デオキシリボ核酸からリボ核酸(ribonucleicacid)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)を説明できる。 <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <ul style="list-style-type: none"> ○細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 <p>C-2-1)-(2) 細胞骨格と細胞運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。 	大2-701

				<ul style="list-style-type: none"> ○ アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。 ○ 細胞内輸送システムを説明できる。 ○ 微小管の役割や機能を説明できる。 ● 細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 	
3	09/29 (火) 3限	講義	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	<p>〔総論〕 1 顕微鏡・細胞</p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 <p>C-2-2)-(2) 器官の位置関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 顕微解剖学について説明できる。 ● 顕微鏡・標本の正しい取扱い方を図示・説明できる。 ● 顕微鏡の原理と観察法を図示・説明できる。 ● 細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 ● 細胞の機能を図示・説明できる。 ● 光顕標本の作製法を説明できる。 <p>【特別項目】光学顕微鏡標本作成法の見学</p>	大1-B1実習室
4	10/05 (月) 3限	講義	深澤 元晶	<p>〔総論〕 3 上皮組織</p> <p>C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 <p>C-2-1)-(1) 細胞膜</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。 <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 	大2-701
5	10/06	講義	石嶺 久子	〔総論〕 4 支持組織	大2-701

	(火) 3限		C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 D-4-1) 構造と機能 ○骨・軟骨・関節・韌帯の構成と機能を説明できる。 ○骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。	
6	10/12 (月) 3限	講義 深澤 元晶	〔総論〕 5 筋組織 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。	大2-701
7	10/13 (火) 3限	講義 深澤 元晶	〔総論〕 6 神経組織 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○神経組織の微細構造を説明できる。 C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 ○活動電位の発生機構と伝導を説明できる。 ○シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。 ○軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。 D-2-1)-(1) 神経系の一般特性 ○中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○脳の血管支配と血液脳関門を説明できる。 D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経 ○脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 D-2-1)-(4) 大脳と高次機能 ○大脳の構造を説明できる。 D-2-1)-(5) 運動系 ○小脳の構造と機能を概説できる。	大2-701

8	10/19 (月) 3限	講義	深澤 元晶	<p>〔発生学〕 1 初期発生</p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全像を説明できる。 ○ 体節の形成と分化を説明できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 胚内体腔の形成過程を概説できる。 <p>E-7-1) 胎児・新生児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 ● 器官系の個体発生を概説できる。 ● 幹細胞の種類とその医学・医療における応用を説明できる。 	大2-701
9	10/20 (火) 3限	講義	深澤 元晶	<p>〔発生学〕 2 胎児付属物・先天奇形</p> <p>D-10-1) 診断と検査の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠の診断法を説明できる。 ○ 胎児・胎盤検査法（超音波検査、分娩監視装置による）の意義を説明できる。 ○ 羊水検査法の意義と異常所見を説明できる。 <p>D-10-3) 正常妊娠・分娩・産褥</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。 ○ 正常妊娠の経過を説明できる。 ○ 妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。 <p>E-7-1) 胎児・新生児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 主な先天性疾患を列挙できる。 ● 個体の発達異常における遺伝因子と環境因子の関係を概説できる。 	大2-701
1 0	10/26 (月) 3限	講義	齊藤 成	<p>〔発生学〕 4 器官形成②</p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形 	大2-701

				<p>成過程を概説できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・鰓囊の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 	
1 1	10/27 (火) 3限	講義	齊藤 成	<p>【発生学】5 器官形成③</p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・鰓囊の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。 	大2-701
	11/02 (月) 3限	試験	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子	<p>【小テスト】1 総論</p> <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ○ 支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 ○ 神経組織の微細構造を説明できる。 ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 	大2-603
1 2	11/09 (月) 3限	講義	深澤 元晶	<p>【各論】1 脈管系</p> <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 <p>D-5-1) 構造と機能</p>	大2-701

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 心臓の構造を説明できる。 ○ 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。 ● 血管壁の微細構造と役割を説明できる。 	
1 3	11/10 (火) 3限	講義	深澤 元晶	<p>[各論] 2 血液・骨髓</p> <p>D-1-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨髓の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。 ○ 赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明できる。 ○ 血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。 <p>D-1-2) 診断と検査の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 末梢血の血球数の基準値とその変化の意義を説明できる。 ○ 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄生検）を説明できる。 	大2-701
1 4	11/16 (月) 3限	講義	石嶺 久子	<p>[各論] 3 リンパ性器官</p> <p>C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 <p>D-1-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer板の構造と機能を説明できる。 	大2-701
1 5	11/17 (火) 3限	講義	深澤 元晶	<p>[各論] 4 消化器系① 消化管</p> <p>D-7-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○ 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○ 胃液の作用と分泌機序を説明できる。 ○ 小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。 ○ 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。 ○ 主な消化管ホルモンの作用 	大2-701

				<p>を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 齢、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 	
1 6	11/24 (火) 3限	講義	深澤 元晶	<p>〔各論〕 5 消化器系② 消化腺 D-7-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○ 肝の構造と機能を説明できる。 ○ 腺外分泌系の構造と腺液の作用を説明できる。 ○ 齢、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 	大2-701
	12/07 (月) 3限	試験	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子	<p>【小テスト】 2 発生学</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初期発生について図示・説明できる。 ● 胎児付属物・先天奇形について概説できる。 ● ヒトの器官形成を説明できる。 ● 幹細胞の種類とその医学・医療における応用を説明できる。 	大2-603
1 7	12/14 (月) 3限	講義	高橋 和男	<p>〔各論〕 6 呼吸器系 D-6-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 ○ 肺循環と体循環の違いを説明できる。 ○ 肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。 <p>E-7-1) 胎児・新生児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 	大2-701
1 8	12/21 (月) 3限	講義	高橋 和男	<p>〔各論〕 8 泌尿器系 D-8-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 ○ 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を説明できる。 ○ 腎糸球体における濾過の機序を説明できる。 ○ 尿細管各部における再吸 	大2-701

				<p>吸・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。</p> <p>○腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンII、アルドステロン）の作用を説明できる。</p> <p>D-8-2) 診断と検査の基本</p> <p>○腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。</p> <p>○糸球体濾過量（実測、推算）を含む腎機能検査法を概説できる。</p>	
1 9	12/21 (月) 4限	講義	石嶺 久子	<p>〔各論〕 10 内分泌系</p> <p>D-12-1) 構造と機能</p> <p>○ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。</p> <p>○各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。</p> <p>○膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●下垂体の組織を説明できる。 ●甲状腺と副甲状腺（上皮小体）の組織とそこから分泌されるホルモンと分泌を説明できる。 ●副腎の構造を説明できる。 	大2-701
	01/18 (月) 3限	試験	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子	<p>【小テスト】 3 各論①</p> <ul style="list-style-type: none"> ●脈管系の組織を図示・説明できる。 ●骨髄組織を図示・説明できる。 ●血球の分化ならびに血球の種類と機能について概説できる。 ●リンパ性器官の組織を図示・説明できる。 ●消化器系の組織を図示・説明できる。 ●呼吸器の組織を図示・説明できる。 	大2-603
2 0	01/25 (月)	講義	石嶺 久子	<p>〔各論〕 12 感覚器系① 視覚器</p> <p>D-13-1) 構造と機能</p>	大2-701

	3限			<ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 	
2 1	01/25 (月) 4限	講義	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	<p>〔各論〕 10 皮膚 D-3-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 皮膚の組織構造を図示して説明できる。 ○ 皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。 ○ 皮膚の免疫防御能を説明できる。 	
2 2	01/25 (月) 5限	講義			大1-B1実習室

<細胞から個体へ(実習)>

N. o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	09/29 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨	<p>〔総論〕 1 顕微鏡・細胞 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 細胞の観察法を説明できる。 ○ 細胞の全体像を図示できる。 <p>C-2-2)-(2) 器官の位置関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。 	
2	09/29 (火) 5限	実習	川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	<ul style="list-style-type: none"> ● 顕微解剖学について説明できる。 ● 顕微鏡・標本の正しい取扱い方を図示・説明できる。 ● 顕微鏡の原理と観察法を図示・説明できる。 	大1-B1実習室
3	09/29 (火) 6限	実習		<ul style="list-style-type: none"> ● 細胞と細胞小器官の微細構造と役割を図示・説明できる。 ● 細胞の機能を図示・説明できる。 ● 光顕標本の作製法を説明できる。 <p>【特別項目】 標本配布 光学顕微鏡標本作製法の見学</p>	
4	10/06 (火)	実習	高橋 和男 深澤 元晶	<p>〔総論〕 2 上皮組織 C-1-1)-(1) 細胞の構造と機能</p>	大1-B1実習室

	4限		齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博	○ 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。 C-2-1)-(1) 細胞膜 ○ 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。 ● 電子顕微鏡による観察法が説明できる。 【特別項目】電子顕微鏡見学	
5	10/06 (火) 5限	実習	尾之内 高慶 井手 富彦 前田 真男		
6	10/06 (火) 6限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔総論〕 3 支持組織 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。 D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ● 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。	大1-B1実習室
7	10/13 (火) 4限	実習	齊藤 成	〔発生学〕 3 器官形成① C-2-4) 個体の発生 ○ 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。 ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 心血管系の形成過程を説明できる。 ○ 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。 ○ 鰓弓・鰓囊の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。 ○ 神經管の分化と脳、脊髓、視覚器、平衡聴覚器と自律神經系の形成過程を概説できる。	大2-701
8	10/13 (火) 5限	実習			
9	10/13 (火) 6限	実習			
10	10/20 (火) 4限	実習	齊藤 成	〔総論〕 4 筋組織 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。 D-5-1) 構造と機能	大1-B1実習室
11	10/20 (火) 5限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫		
1	10/20	実習			

2	(火) 6限		中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	○ 心筋細胞の微細構造と機能 を説明できる。	
1 3	10/27 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔総論〕 5 神経組織 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造 と機能 ○ 神経組織の微細構造を説明 できる。 D-2-1)-(1) 神経系の一般特性 ○ 中枢神経系と末梢神経系の 構成を概説できる。 ○ 脳の血管支配と血液脳関門 を説明できる。 ● 脳機能と構造の関係を図示・ 説明できる。	
1 4	10/27 (火) 5限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔各論〕 1 脈管系 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造 と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造 と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造を説明できる。 ○ 心筋細胞の微細構造と機能 を説明できる。 ● 血管壁の微細構造と役割を図 示・説明できる。 <特別項目> ウズラ胚の観察	大1-B1実習室
1 5	10/27 (火) 6限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔各論〕 2 血液・骨髄 D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への 分化と成熟の過程を説明で きる。 ○ 赤血球とヘモグロビンの構 造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明 できる。 ○ 血小板の機能と止血や凝 固・線溶の機序を説明でき る。 D-1-2) 診断と検査の基本 ○ 末梢血の血球数の基準値と その変化の意義を説明でき る。 ○ 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄 生検）を説明できる。 ● 骨髄、血球の微細構造・機	大1-B1実習室
1 6	11/10 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔各論〕 1 脈管系 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造 と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造 と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造を説明できる。 ○ 心筋細胞の微細構造と機能 を説明できる。 ● 血管壁の微細構造と役割を図 示・説明できる。 <特別項目> ウズラ胚の観察	
1 7	11/10 (火) 5限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔各論〕 2 血液・骨髄 D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への 分化と成熟の過程を説明で きる。 ○ 赤血球とヘモグロビンの構 造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明 できる。 ○ 血小板の機能と止血や凝 固・線溶の機序を説明でき る。 D-1-2) 診断と検査の基本 ○ 末梢血の血球数の基準値と その変化の意義を説明でき る。 ○ 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄 生検）を説明できる。 ● 骨髄、血球の微細構造・機	大1-B1実習室
1 8	11/10 (火) 6限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔各論〕 2 血液・骨髄 D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への 分化と成熟の過程を説明で きる。 ○ 赤血球とヘモグロビンの構 造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明 できる。 ○ 血小板の機能と止血や凝 固・線溶の機序を説明でき る。 D-1-2) 診断と検査の基本 ○ 末梢血の血球数の基準値と その変化の意義を説明でき る。 ○ 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄 生検）を説明できる。 ● 骨髄、血球の微細構造・機	
1 9	11/17 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔各論〕 2 血液・骨髄 D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への 分化と成熟の過程を説明で きる。 ○ 赤血球とヘモグロビンの構 造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明 できる。 ○ 血小板の機能と止血や凝 固・線溶の機序を説明でき る。 D-1-2) 診断と検査の基本 ○ 末梢血の血球数の基準値と その変化の意義を説明でき る。 ○ 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄 生検）を説明できる。 ● 骨髄、血球の微細構造・機	大1-B1実習室
2 0	11/17 (火) 5限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔各論〕 2 血液・骨髄 D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への 分化と成熟の過程を説明で きる。 ○ 赤血球とヘモグロビンの構 造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明 できる。 ○ 血小板の機能と止血や凝 固・線溶の機序を説明でき る。 D-1-2) 診断と検査の基本 ○ 末梢血の血球数の基準値と その変化の意義を説明でき る。 ○ 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄 生検）を説明できる。 ● 骨髄、血球の微細構造・機	
2 1	11/17 (火) 6限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	〔各論〕 2 血液・骨髄 D-1-1) 構造と機能 ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 造血幹細胞から各血球への 分化と成熟の過程を説明で きる。 ○ 赤血球とヘモグロビンの構 造と機能を説明できる。 ○ 白血球の種類と機能を説明 できる。 ○ 血小板の機能と止血や凝 固・線溶の機序を説明でき る。 D-1-2) 診断と検査の基本 ○ 末梢血の血球数の基準値と その変化の意義を説明でき る。 ○ 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄 生検）を説明できる。 ● 骨髄、血球の微細構造・機	

				能・分化を図示・説明できる。 <特別項目> 光顯 血液塗抹標本	
2 2	11/24 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	[各論] 3 リンパ性器官 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 ○ 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。 D-1-1) 構造と機能 ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。	
2 3	11/24 (火) 5限	実習			大1-B1実習室
2 4	11/24 (火) 6限	実習			
2 5	12/08 (火) 3限	実習		[各論] 4 消化器系 D-7-1) 構造と機能 ○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○ 消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○ 肝の構造と機能を説明できる。 ○ 胃液の作用と分泌機序を説明できる。 ○ 脾外分泌系の構造と脾液の作用を説明できる。 ○ 小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。 ○ 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。 ○ 主な消化管ホルモンの作用を説明できる。 ○ 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ● 消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。	
2 6	12/08 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男		
2 7	12/08 (火) 5限	実習			
2 8	12/08 (火) 6限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	[各論] 4 消化器系 D-7-1) 構造と機能 ○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○ 消化管の基本構造と部位による違いを説明できる。 ○ 肝の構造と機能を説明できる。 ○ 胃液の作用と分泌機序を説明できる。 ○ 脾外分泌系の構造と脾液の作用を説明できる。 ○ 小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。 ○ 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。 ○ 主な消化管ホルモンの作用を説明できる。 ○ 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ● 消化腺の基本構造と部位による違いを図示・説明できる。	大1-B1実習室
2 9	12/15 (火) 3限	実習	深澤 元晶	[各論] 7 男性生殖器系 D-9-1) 構造と機能 ○ 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○ 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。	大2-701

				<ul style="list-style-type: none"> ○ 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。 ● 減数分裂の過程とその意義を説明できる。 	
3 0	12/15 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	<p>[各論] 5 呼吸器系 D-6-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 ○ 肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。 ● 肺、気管・気管支、胸膜の微細構造を図示・説明できる。 	
3 1	12/15 (火) 5限	実習			大1-B1実習室
3 2	12/15 (火) 6限	実習			
3 3	12/22 (火) 3限	実習	深澤 元晶	<p>[各論] 8 女性生殖器系 D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。 ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○ 性周期発現と排卵の機序を説明できる。 ● 減数分裂の過程とその意義を説明できる。 ● 妊娠の概略を図示・説明できる。 ● 胎児付属物を図示・説明できる。 	大2-701
3 4	12/22 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	<p>[各論] 6 泌尿器系 D-8-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 ○ 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。 ○ 腎糸球体における濾過の機序を説明できる。 ● 泌尿器の各部の構造と機能を図示・説明できる。 	
3 5	12/22 (火) 5限	実習			
3 6	12/22 (火) 6限	実習		<p><特別項目> ヴァーチャルスライド</p>	大2-1201IT学習室
3 7	01/05 (火) 3限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成	<p>[各論] 7 生殖器系 D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生殖腺の発生と性分化の過 	大1-B1実習室

			石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	程を説明できる。 ○男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○男性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。 ○陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。 ○女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○性周期発現と排卵の機序を説明できる。 ●減数分裂の過程とその意義を説明できる。 ●妊娠の概略を図示・説明できる。 ●胎児付属物について図示・説明できる。	
3 8	01/05 (火) 4限	実習			
3 9	01/05 (火) 5限	実習			
4 0	01/05 (火) 6限	実習			
4 1	01/12 (火) 3限	実習	齊藤 成	[各論] 10 皮膚 D-3-1) 構造と機能 ○皮膚の組織構造を図示して説明できる。 D-11-1) 構造と機能 ○乳房の構造と機能を説明できる。	大2-701
4 2	01/12 (火) 4限	実習	高橋 和男	[各論] 8 内分泌系 D-12-1) 構造と機能 ○ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。	
4 3	01/12 (火) 5限	実習	深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	○各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。 ○膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。 ●下垂体の組織を説明できる。 ●甲状腺と副甲状腺（上皮小体）の組織とそこから分泌されるホルモンと分泌を説明できる。 ●副腎の組織を説明できる。	大1-B1実習室
4 4	01/12 (火) 6限	実習	石嶺 久子	[各論] 12 感覚器② 聴覚・味覚・嗅覚器 D-14-1) 構造と機能 ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ○聴覚・平衡覚の受容のしく	大2-701
4 5	01/19 (火) 3限	実習			

				<p>みと伝導路を説明できる。 ○味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ●聴覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。</p>	
4 6	01/19 (火) 4限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子 永津 郁子 野田 亨 川井 範夫 中井 さち子 新美 元 小久保 正博 前田 真男	<p>〔各論〕 9 感覚器系 D-13-1) 構造と機能 ○眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○眼球運動のしくみを説明できる。 D-14-1) 構造と機能 ○外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ○聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ●視覚器と聴覚器の微細構造と機能を図示・説明できる。</p>	
4 7	01/19 (火) 5限	実習			大1-B1実習室
4 8	01/19 (火) 6限	実習			
	01/26 (火) 4限	試験	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子	<p>【小テスト】 4 各論② ●泌尿器系の組織について図示・説明できる。 ●生殖器の組織について図示・説明できる。 ●内分泌器官の組織について図示・説明できる。 ●皮膚組織について図示・説明できる。 ●感覚器の組織について図示・説明できる。</p>	大2-603
4 9	01/26 (火) 5限	実習	高橋 和男 深澤 元晶 齊藤 成 石嶺 久子	<p>総復習 ●全身の組織について図示・説明できる。 標本回収 アンケート</p>	
5 0	01/26 (火) 6限	実習			大1-B1実習室

人体の構造 I

[教育目標]

人体の構造 I では、人体の肉眼的構造の概略を理解し、今後の医学の学習および卒業後の医療の現場で必要となる人体構造に関する知識を習得することを目標とする。

人体は①骨格系、②筋系、③消化器系、④呼吸器系、⑤泌尿器系、⑥生殖器系、⑦内分泌系、⑧心血管系、⑨リンパ免疫系、⑩感覚器系、⑪神経系、⑫外皮系の12系統から構成されている。人体の構造 I の授業は講義（1学年後期）と骨学実習（1学年後期）を行う。更に主な構造の英語名を覚える（約800語程度）ことも目標とする。

[授業の方法]

講義：講義の中で、アクティブラーニングとして、講義内容に合わせた問題を準備し、指名した学生に解答してもらうことで、授業内容の確認をはかる。またミニマム演習問題として問題を用意し、予習・復習の手助けとなるようにする。演習：骨学実習を行う。実習毎に事前に骨の各部の名称のリストを手渡し、実際にどの骨のどこ部分かを確認してもらう。更に実習の途中で問題を出題し、実習班(通常4人1班)の中で正解を話し合ってもらう。最後にグループ単位で教官と面談し、正解の確認と追加説明を受ける。

[学修目標]

人体構造の階層性（細胞、組織、臓器、系統、個体）を説明できる。

全身の主な骨、関節、筋の名称、構造上の特徴、作用を説明できる。

消化器を構成する諸臓器の構造、相互位置関係、機能を系統的に説明できる。

気道と肺の構造を、呼吸機能と対応させて説明できる。

腎臓と尿路を構成する諸臓器の構造と位置関係を、尿の生成・排出と関連づけて説明できる。

男性生殖器、女性生殖器の構造を生殖機能と関連づけて説明できる。

主な内分泌腺の名称、存在部位、構造上の特徴、分泌されるホルモンを説明できる。

全身の動脈系、静脈系、リンパ系の走行と分布領域の概略を説明できる。

皮膚を含めて、全感覚器の構造上の特徴を、受容する感覚情報に関連づけて説明できる。

脳・脊髄の構造と機能、主な脳神経と脊髄神経の種類、走行、作用を体系的に説明できる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：関連する生理学、生化学、薬理学、病理学などの担当教員と連携し、相互補完的な教育内容にしている。

垂直統合：症例問題を提示し、その病態生理の理解に必要な知識を学んでいることを示している。

[身につける能力]

[準備学習（予習・復習等）]

事前に配信したプリントの重要項目やミニマム演習問題を用いて予習・復習をすること。それぞれ約30分程度を目安とする。

[評価]

人体の構造Ⅰの科目評価は、以下の(1)～(3)を総合的に判断して1年後期学期末に行う。

(1)知識：（卒業コンピテンシー IV-1）、パフォーマンス・レベルD

知識量及び理解度の両面をペーパーテストで判定する。

ペーパーテストは2回行う（試験ごとに、合格・不合格の判定は行わない。）

①1回目（中間試験）

範囲：解剖学序論と運動器系（骨学・関節学・筋学）

時期：1学年11月に実施予定（中間試験の追試験及び再試験は行わない）

②2回目（定期試験）

範囲：運動器系（骨学・関節学・筋学）以外の全範囲

時期：1学年後期終了後の試験期間に実施予定

(2)実習レポート：（卒業コンピテンシー V-1,3）、パフォーマンス・レベルC

実習では、講義で学んだ知識を実際に確かめることに主眼が置かれる。単に知識の確認ではなく、教科書と実際の違いを確認し、教科書を書き換えるつもりで実習に臨むことが期待される。実習レポートも単に教科書を書いたものではなく、実際に自分で観察したものを正確に記載し、もし教科書と異なつていれば、その原因・意義に關しても考察できているかを評価する。

(3)講義および実習態度：（卒業コンピテンシー I-1）、パフォーマンス・レベルC

医学生として常識ある受講態度であったか、実習に積極的に参加したかという点を評価する。

[フィードバックの方法]

- ・レポートや課題の解説を行う。
- ・実習中の課題に関しては、毎回実習終了時にチェックする。
- ・定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。

[教科書]

「プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論、運動器系 第3版」坂井建雄、松村 讓兒 監訳（医学書院）

「プロメテウス解剖学アトラス 胸部/腹部・骨盤部 第2版」坂井建雄、大谷 修 監訳（医学書院）

「プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖 第2版」坂井建雄、河田 光博 監訳（医学書院）

[推薦参考書]

「カラー図解 人体の正常構造と機能 [全10巻縮刷版] 第3版」坂井建雄、河原克雅 編著（日本医事新報社）

「イラスト解剖学 第9版」松村 讓兒著（中外医学社）

「骨学実習の手びき」寺田春水、藤田恒夫著（南山堂）
「グレイ解剖学 原著第3版」Richard L.Drake 他著（エルゼビア・ジャパン）
「グレイ解剖学アトラス 原著第2版」Richard L.Drake 他著（エルゼビア・ジャパン）
「人体解剖学 改訂第42版」藤田恒太郎 著（南江堂）
「カラー人体解剖学」F.H.マティーニ 他著、井上貴央監訳（西村書店）
「ネットー解剖学アトラス 原著第6版」Frank H Netter 他著（南江堂）

[使用する教室]

大学2号館7階701講義室

[実習場所]

大学1号館1階実習室

[次年度予定]

2021年度 第2学年 前期
授業内容 人体解剖実習

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・解剖学I>

担当者名	曜日	時間	場所
秦 龍二 教授	月曜、火曜、水曜日	13:00~14:00	大学1号館8階815
佐藤 貴彦 講師	水曜	17:00~18:00	大学1号館8階815
八幡 直樹 助教	金曜	18:00~19:00	大学1号館8階815
尾身 実 助教	水曜	17:00~18:00	大学1号館8階815

[授業日程]

<人体の構造I>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/07 (水)	講義	秦 龍二	解剖学序論、骨学総論 C-2-2)-(2) 器官の位置関係	大2-701

	3限			<p>○位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 ●人体構造の階層性（細胞・組織・臓器・系統・個体）を説明できる。 ●人体を構成する11の系統を挙げることができる。 	
2	10/07 (水) 4限	講義	秦 龍二	<p>関節学総論</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 	大2-701
3	10/07 (水) 5限	講義	秦 龍二	<p>骨学・関節学各論1（脊柱）</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脊柱の構成と機能を説明できる。 	大2-701
4	10/08 (木) 4限	講義	秦 龍二	<p>骨学・関節学各論2（胸郭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。 	大2-701
5	10/08 (木) 5限	講義	尾身 実	<p>骨学・関節学各論3（上肢1）</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大2-701
6	10/09 (金) 3限	講義	尾身 実	<p>骨学・関節学各論4（上肢2）</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大2-701
7	10/15 (木) 4限	講義	八幡 直樹	<p>骨学・関節学各論5（下肢）</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大2-701
8	10/16 (金) 3限	講義	八幡 直樹	<p>骨学・関節学各論6（骨盤）</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○骨盤の構成と性差を説明できる。 	大2-701
9	10/21	講義	佐藤 貴彦	骨学・関節学各論7（頭蓋1）	大2-701

	(水) 3限			D-4-1) 構造と機能 ○ 頭頸部の構成を説明できる。	
1 0	10/21 (水) 4限	講義	佐藤 貴彦	骨学・関節学各論8 (頭蓋2) D-4-1) 構造と機能 ○ 頭頸部の構成を説明できる。	大2-701
1 1	10/21 (水) 5限	講義	佐藤 貴彦	骨学・関節学各論9 (頭蓋3) D-4-1) 構造と機能 ○ 頭頸部の構成を説明できる。	大2-701
1 2	10/22 (木) 4限	講義	佐藤 貴彦	筋学総論 D-4-1) 構造と機能 ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ● 主な関節の運動方向を説明できる。	大2-701
1 3	10/23 (金) 3限	講義	佐藤 貴彦	筋学各論1 (頭頸部) D-4-1) 構造と機能 ○ 頭頸部の構成を説明できる。 D-7-1) 構造と機能 ○ 咀しゃくと嚥下の機構を説明できる。 ● 主な表情筋の運動と神経支配を説明できる。	大2-701
1 4	10/28 (水) 3限	講義	佐藤 貴彦	筋学各論2 (上肢1) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	大2-701
1 5	10/28 (水) 4限	講義	佐藤 貴彦	筋学各論3 (上肢2) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	大2-701
1 6	10/28 (水) 5限	講義	佐藤 貴彦	筋学各論4 (下肢1) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。	大2-701
1 7	10/29 (木) 4限	講義	佐藤 貴彦	筋学各論5 (下肢2) D-4-1) 構造と機能 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる	大2-701

				る。	
1 8	10/30 (金) 3限	講義	佐藤 貴彦	筋学各論 6 (体幹 1) D-4-1) 構造と機能 ○ 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-6-1) 構造と機能 ○ 呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	大2-701
1 9	11/04 (水) 2限	講義	尾身 実	呼吸器系 1 (鼻腔～気管) D-6-1) 構造と機能 ○ 気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 D-14-1) 構造と機能 ○ 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。 ○ 喉頭の機能と神経支配を説明できる。	大2-701
2 0	11/04 (水) 3限	講義	尾身 実	呼吸器系 2 (気管支・肺・呼吸筋) D-6-1) 構造と機能 ○ 气道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。 ○ 呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	大2-701
2 1	11/04 (水) 5限	講義	佐藤 貴彦	筋学各論 7 (体幹 2) D-4-1) 構造と機能 ○ 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 ○ 抗重力筋を説明できる。	大2-701
2 2	11/05 (木) 4限	講義	尾身 実	胸膜・胸腔・縦隔 D-6-1) 構造と機能 ○ 縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。	大2-701
2 3	11/06 (金) 3限	講義	尾身 実	心血管系 1 (総論・心臓 1) D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。 ○ 体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○ 毛細血管における物質・水分交換を説明できる。	大2-701
2	11/11	講義	尾身 実	心血管系 2 (心臓 2)	大2-701

4	(水) 2限			D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。	
2 5	11/11 (水) 3限	講義	尾身 実	心血管系 3 (心臓 3) D-5-1) 構造と機能 ○ 心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。	大2-701
2 6	11/11 (水) 5限	講義	八幡 直樹	消化器系 1 (総論・口腔・咽頭) D-7-1) 構造と機能 ○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○ 齒、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。 ○ 咀しゃくと嚥下の機構を説明できる。	大2-701
2 7	11/12 (木) 4限	講義	尾身 実	心血管系 4 (動脈系 1) D-5-1) 構造と機能 ○ 体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○ 大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。 ○ 主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。	大2-701
2 8	11/12 (木) 5限	講義	尾身 実	心血管系 5 (動脈系 2) D-5-1) 構造と機能 ○ 大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。 ○ 主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。	大2-701
2 9	11/13 (金) 3限	講義	八幡 直樹	消化器系 2 (食道・胃・小腸・大腸) D-7-1) 構造と機能 ○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○ 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを	大2-701

				説明できる。	
3 0	11/18 (水) 2限	講義	尾身 実	心血管系6 (静脈系1) D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。 ○ 主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。 	大2-701
3 1	11/18 (水) 3限	講義	尾身 実	心血管系7 (静脈系2・胎児循環) D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。 ○ 主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。 ○ 主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。 	大2-701
3 2	11/18 (水) 5限	講義	八幡 直樹	消化器系3 (肝臓・胆嚢) D-7-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○ 肝の構造と機能を説明できる。 	大2-701
3 3	11/19 (木) 4限	講義	尾身 実	リンパ免疫系1 (リンパ管・リンパ節・扁桃・Peyer板) D-1-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer板の構造と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。 	大2-701
3 4	11/19 (木) 5限	講義	尾身 実	リンパ免疫系2 (リンパ管・リンパ節・骨髄・脾臓・胸腺) D-1-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨髄の構造を説明できる。 ○ 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer板の構造と機能を説明できる。 D-5-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。 	大2-701

3 5	11/20 (金) 3限	講義	八幡 直樹	<p>消化器系 4 (十二指腸・膵臓)</p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 <p>D-7-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。 ○ 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。 	大2-701
3 6	11/25 (水) 2限	講義	佐藤 貴彦	<p>感覚器系 1 (総論・皮膚)</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢(頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢)の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布(デルマトーム)を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ● 感覚の種類を説明できる。 	大2-701
3 7	11/25 (水) 3限	講義	佐藤 貴彦	<p>感覚器系 2 (視覚器 1)</p> <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 	大2-701
3 8	11/25 (水) 5限	講義	八幡 直樹	<p>腹膜・腹膜腔</p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。 <p>D-7-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 腹膜と臓器の関係を説明できる。 	大2-701
	11/26 (木) 4限	試験	秦 龍二 佐藤 貴彦	中間試験	
	11/26 (木) 5限	試験	八幡 直樹 尾身 実	● 解剖学序論から骨学・関節学・筋学までの分野を説明できる。	大2-603

3 9	11/27 (金) 3限	講義	佐藤 貴彦	<p>感覚器系3（視覚器2）</p> <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。 ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 	大2-701
4 0	12/09 (水) 3限	講義	秦 龍二	<p>脊髄神経系1（総論・頸神経叢）</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。 <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大2-701
4 1	12/09 (水) 4限	講義	佐藤 貴彦	<p>感覚器系4（聴覚器1）</p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ○ 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	大2-701
4 2	12/09 (水) 5限	講義	佐藤 貴彦	<p>感覚器系5（聴覚器2）</p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。 ○ 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	大2-701
4 3	12/10 (木) 4限	講義	秦 龍二	<p>脊髄神経系2（腕神経叢）</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。 <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大2-701

4 4	12/10 (木) 5限	講義	秦 龍二	<p>脊髄神経系 3 (肋間神経・腰神経叢)</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢 (頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢) の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布 (デルマトーム) を概説できる。 <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大2-701
4 5	12/11 (金) 3限	講義	佐藤 貴彦	<p>感覚器系 6 (味覚器・嗅覚器)</p> <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。 ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	大2-701
4 6	12/16 (水) 3限	講義	八幡 直樹	<p>泌尿器系 1 (腎臓)</p> <p>D-8-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 	大2-701
4 7	12/16 (水) 4限	講義	秦 龍二	<p>脊髄神経系 4 (仙骨神経叢)</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄神経と神経叢 (頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢) の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布 (デルマトーム) を概説できる。 <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大2-701
4 8	12/16 (水) 5限	講義	秦 龍二	<p>脳神経系 1 (総論 1)</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 	大2-701
4 9	12/17 (木) 4限	講義	秦 龍二	<p>脳神経系 2 (総論 2・全体像)</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 	大2-701

5 0	12/17 (木) 5限	講義	秦 龍二	<p>脳神経系3 (各論 I, II, III, IV, VI)</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交感神経系と副交感神経系の中権内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 眼球運動のしくみを説明できる。 ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	大2-701
5 1	12/18 (金) 3限	講義	八幡 直樹	<p>泌尿器系2 (尿管・膀胱・尿道)</p> <p>D-8-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。 	大2-701
5 2	12/23 (水) 3限	講義	八幡 直樹	<p>生殖器系1 (男性1)</p> <p>D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 	大2-701
5 3	12/23 (水) 4限	講義	秦 龍二	<p>脳神経系4 (各論 V, VII, VIII)</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅 	大2-701

				<p>覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。</p> <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交感神経系と副交感神経系の中樞内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 <p>D-13-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。 <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	
5 4	12/23 (水) 5限	講義	秦 龍二	<p>脳神経系 5 (各論 IX, X, XI, XII)</p> <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交感神経系と副交感神経系の中樞内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 <p>D-14-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 喉頭の機能と神経支配を説明できる。 ○ 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。 	大2-701
5 5	12/24 (木) 4限	講義	秦 龍二	<p>中枢神経系 1 (神経系の区分・脳脊髄膜)</p> <p>D-2-1)-(1) 神経系の一般特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。 ○ 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。 	大2-701
5 6	12/24 (木) 5限	講義	秦 龍二	<p>中枢神経系 2 (神経系の発生)</p> <p>C-2-4) 個体の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律 	大2-701

				神経系の形成過程を概説できる。	
5 7	01/06 (水) 3限	講義	八幡 直樹	生殖器系 2 (男性 2 ・ 女性 1) D-9-1) 構造と機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 男性生殖器の形態と機能を説明できる。 ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 ● 骨盤隔膜・尿生殖隔膜を説明できる。 	大2-701
5 8	01/06 (水) 4限	講義	秦 龍二	中枢神経系 3 (脳の血管・脳室・脳脊髄液) D-2-1)-(1) 神経系の一般特性 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳の血管支配と血液脳関門を説明できる。 ○ 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。 	大2-701
5 9	01/06 (水) 5限	講義	秦 龍二	中枢神経系 4 (脳幹・小脳) D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経 <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 ○ 脳幹の機能を概説できる。 D-2-1)-(5) 運動系 <ul style="list-style-type: none"> ○ 小脳の構造と機能を概説できる。 	大2-701
6 0	01/07 (木) 4限	講義	秦 龍二	中枢神経系 5 (大脳皮質・大脳辺縁系) D-2-1)-(4) 大脳と高次機能 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大脳の構造を説明できる。 ○ 大脳皮質の機能局在 (運動野・感覚野・言語野) を説明できる。 ○ 記憶、学習の機序を辺縁系の構成と関連させて概説できる。 	大2-701
6 1	01/07 (木) 5限	講義	秦 龍二	中枢神経系 6 (大脳髓質・大脳基底核) D-2-1)-(5) 運動系 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大脳基底核 (線条体、淡蒼球、黒質) の線維結合と機能を概説できる。 	大2-701

6 2	01/08 (金) 3限	講義	八幡 直樹	<p>生殖器系3（女性2）</p> <p>D-9-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性生殖器の発育の過程を説明できる。 ○ 女性生殖器の形態と機能を説明できる。 <p>D-11-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 乳房の構造と機能を説明できる。 	大2-701
6 3	01/13 (水) 3限	講義	八幡 直樹	<p>内分泌系</p> <p>D-12-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。 ○ 視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。 ○ 甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 ○ 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。 ○ 膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。 	大2-701
6 4	01/13 (水) 4限	講義	秦 龍二	<p>中枢神経系7（脊髄）</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 	大2-701
6 5	01/13 (水) 5限	講義	秦 龍二	<p>中枢神経系8（伝導路）</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 <p>D-2-1)-(5) 運動系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 隨意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 	大2-701

6	01/14 (木) 4限	講義	秦 龍二	<p>中枢神経系 9 (伝導路)</p> <p>D-2-1)-(2) 脊髄と脊髄神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。 <p>D-2-1)-(3) 脳幹と脳神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 脳幹の構造と伝導路を説明できる。 <p>D-2-1)-(5) 運動系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 隨意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。 <p>D-2-1)-(6) 感覚系</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。 ○ 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。 	大2-701
6 7	01/14 (木) 5限	講義	秦 龍二	<p>自律神経系</p> <p>D-2-1)-(7) 自律機能と本能行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交感神経系と副交感神経系の中樞内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。 <p>○ 視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。</p>	大2-701

<人体の構造 I (実習)>

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	10/15 (木) 5限	実習	秦 龍二 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	<p>骨学・関節学実習 1 (脊柱・胸郭)</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 脊柱の構成と機能を説明できる。 ● 胸郭を構成する骨を列挙し、それらの関係を説明できる。 	大1-1 F 実習室
2	10/15 (木) 6限	実習	秦 龍二 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	<p>骨学・関節学実習 2 (上肢)</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大1-1 F 実習室
3	10/22 (木) 5限	実習	秦 龍二 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	<p>骨学・関節学実習 2 (上肢)</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大1-1 F 実習室
4	10/22 (木) 6限	実習	秦 龍二 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	<p>骨学・関節学実習 2 (上肢)</p> <p>D-4-1) 構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○ 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 	大1-1 F 実習室

5	10/29 (木) 5限	実習	秦 龍二 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習3（骨盤・自由下肢） D-4-1) 構造と機能 ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 ○骨盤の構成と性差を説明できる。	大1-1 F 実習室
6	10/29 (木) 6限	実習			
7	11/05 (木) 5限	実習	秦 龍二 佐藤 貴彦 八幡 直樹 尾身 実	骨学・関節学実習4（頭蓋） D-4-1) 構造と機能 ○骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。 ○頭頸部の構成を説明できる。	大1-1 F 実習室
8	11/05 (木) 6限	実習			

アセンブリ I

[教育目標]

アセンブリ教育は専門職連携教育である。学部及び学校間の壁を乗り越え、学生と教員が共通の目的に向かって一緒に活動することを通して、責任感と奉仕の精神にあふれた医療人としての人間形成を目指す。これにより医療の専門職として社会に貢献するのに必要な専門職連携の基盤づくりを行う。特にアセンブリ I では、専門職連携を行う上での基本となる「コミュニケーション」を学ぶ。学部、学科が異なる 6 名が 1 つのチームをつくり、「他者に関心を持つ」「傾聴する」「質問する」といった体験学習を行う。その過程で学びを振り返り、気づきによる省察によって人間相互作用を促すコミュニケーション力を涵養していく。

[授業の方法]

演習形式：各班ごとに定めた活動（実技、ディスカッション、グループワーク）を実施する。

[学修目標]

1. 他者に関心を持つことができる。
2. 他者の話を聞くことができる。
3. 他者に質問することができる。
4. 自らの学びを省察することができる。

[水平統合・垂直統合]

水平統合：各学科・学部のコミュニケーション担当教員と連携し、相互補完的な教育内容にしている。

垂直統合：アセンブリ I ~ IV を通して専門職連携を学び、その実践に必要な知識・技術を学んでいることを示している。

[身につける能力]

別紙参照（卒業コンピテンシー毎にパフォーマンス・レベル A ~ F を記した表）

[準備学習（予習・復習等）]

授業後に自己のコミュニケーション・スタイルを省察し、自発的な改善を心がけること。演習にはアセンブリ精神を理解し、教室担当のファシリテータ役の教員のガイドに従うこと。各ファシリテータから 30 分程度の課題等が課される。

[評価]

評価はコミュニケーション演習の参加度、振返りシートへの記述内容、並びにアセンブリ講演会やアセンブリⅡ発表会の参加度を総合的に評価する。

グループ活動は参加度および活動内容についての達成度（70%）に加え、授業ごとに定める「コミュニケーション能力・技術」（30%）を合わせて評価する。全学活動（オリエンテーション・アセンブリ講演会・講習会・アセンブリⅡ発表会）については、参加度および達成度を総合的に評価する。

[進級及び卒業要件]

アセンブリ教育は建学の理念に基づき実施される特別教育活動で、単位数には含めないが、卒業に必要な教科であり、アセンブリ教育（アセンブリⅠ、Ⅱ、Ⅲ）を修了していないと卒業できない。必要な修了時間は別途定める。

[注意事項]

1) 活動内容

①講演会・発表会

- ・アセンブリ講演会（医療と献体および特別講演。講演内容は変更される場合がある）
- ・その他（全体オリエンテーション、アセンブリⅡ発表会）

②講習

- ・グループワークを通して「他者に関心を持つ」「傾聴する」「質問する」というコミュニケーションの基本を学ぶ体験学習。
- ・アセンブリⅡで学ぶ「チーム医療」に必要な集団内の基礎的なコミュニケーション・スキルをしっかりと定着させる。

2) 実施方法

①授業形態

- ・「自分を知る」「他者を知る」「見る」「聴く」「質問する」「チームを作る」等をテーマとしたグループワーク中心の体験学習を行う。
- ・学生は6部屋に分かれて受講する（ただし、内容は全ての部屋で共通である）。
- ・学生は各部屋のファシリテーター（教員）の指示により、個人～6名程度のグループに分かれてワークを実施する。
- ・ワークにおいて自身や他者がとった行動や言動、感じしたことなどについて、振り返りを行う。
- ・振り返りの内容について、グループ内もしくは部屋内で共有する。

②活動時間

- ・活動時間は毎週月曜日3・4限（医学部においては4・5限）とする。

[フィードバックの方法]

自己のコミュニケーションを省察する振返りシートの記述内容に対して、ファシリテータ役の教員による助言を行う。また、演習中にグループ内では解決できない問題がある時は教室担当のファシリテータ役の教員がコーチングによって解決を促す。

[活動場所]

アセンブリポータルサイト (<https://assembly.fujita-hu.ac.jp/>) 参照

[担当教員・オフィスアワー]

<医学部・物理学>

担当者名	曜日	時間	場所
古澤 彰浩 准教授	火曜～金曜	12:30～13:00 (火、水、木、金) 16:00～18:00 (火、水、木、金)	大学2号館9階903

<医学部・臨床総合医学>

担当者名	曜日	時間	場所
大槻 眞嗣 教授	水曜	12:30～13:20, 16:40～18:00	大学2号館10階1007

<医学部・生物学>

担当者名	曜日	時間	場所
守口 匡子 准教授	月曜～金曜	9:00～18:00	大学2号館7階703

<医学部・健康科学>

担当者名	曜日	時間	場所
若月 徹 准教授	月曜～金曜	12:30～13:20、17:10～	大学2号館8階807

<医療科学部・臨床検査学科 基礎病態解析学>

担当者名	曜日	時間	場所
大橋 鉱二 教授	月曜日、木曜日	12:15～12:45	大学3号館-2F-213

<医療科学部・臨床工学科 代謝機能・臨床医学>

担当者名	曜日	時間	場所
堀 秀生 講師	月曜～金曜	8:30～9:00	大学7-6F-603

<医療科学部・医療経営情報学科 医療経営学>

担当者名	曜日	時間	場所
服部 しのぶ 准教授	木曜日	16:30~17:00	大学6号館-5F-508 (来室の際はメールで事前に要確認)

<保健衛生学部・看護学科 基礎・統合看護学>

担当者名	曜日	時間	場所
皆川 敦子 准教授	火曜日	12:10~13:00	合同校舎-6F-603
渡邊 亜紀子 准教授	月曜日	12:00~13:00	合同校舎-6F-605
岡島 規子 講師	水曜日	12:10~13:00	合同校舎-6F-607

<保健衛生学部・看護学科 成人看護学>

担当者名	曜日	時間	場所
織田 千賀子 講師	水曜日	16:00~17:00	大学3号館-6F-637
堀田 由季佳 助教	金曜日	12:10~12:50	大学3号館-6F-643

<保健衛生学部・看護学科 総合生命科学>

担当者名	曜日	時間	場所
朝居 朋子 准教授	月曜	昼休み	大学3号館6階638
	水曜	昼休み	大学3号館6階638
明石 優美 講師	月曜日	12:10~13:00	大学3号館-6F-628

<保健衛生学部・リハビリテーション学科 専門基礎科学>

担当者名	曜日	時間	場所
米本 倉基 教授	火～木曜	12:10~13:00	大学6号館5階510

<保健衛生学部・リハビリテーション学科 理学療法評価学>

担当者名	曜日	時間	場所

渡 哲郎	助手	木曜日	12:10-13:00	大学8号館-1F-106(教務室)
------	----	-----	-------------	-------------------

<医学部・医療コミュニケーション>

担当者名	曜日	時間	場所
藤江 里衣子 講師	木曜	12:30~13:20	大学2号館10階1005

<医学部・解剖学Ⅱ>

担当者名	曜日	時間	場所
深澤 元晶 講師	月曜/火曜	17:20~18:30	大学1号館8階806

<医学部・分子腫瘍学>

担当者名	曜日	時間	場所
新美 敦子 准教授	火曜	16:00-17:00	大学1号館5階512号室
竹内 俊幸 助教	火曜	16:00-17:00	大学1号館5階512号室

<医学部・病理学>

担当者名	曜日	時間	場所
浅井 直也 教授	金曜	16:00-17:00	大学1号館5階514号室

<医学部・生理学I>

担当者名	曜日	時間	場所
小谷 侑 講師	月曜～金曜	17:00～19:00	大学1号館4階410
河田 美穂 助教	月曜～金曜	17:00～19:00	大学1号館4階410

<医学部・生化学>

担当者名	曜日	時間	場所
石原 悟 講師	月曜日～木曜日	12:30～13:20 17:00～19:00	大学1号館6階605号室

<医学部・薬理学>

担当者名	曜日	時間	場所
菅沼 由唯 助教	月～金曜	16:00～18:00	大学1号館5階505号室

<医学部・公衆衛生学>

担当者名	曜日	時間	場所
李 媛英 助教	火・水・木曜日	9:00～12:00	公衆衛生学講座（大学1号館4階406号室）

<医学部・法医学>

担当者名	曜日	時間	場所
濱島 誠 助教	火曜・金曜	16:00～18:00	大学2号館地下2階207

<医学部・地域医療学>

担当者名	曜日	時間	場所
田口 智博 講師	月曜日～水曜日	月：13:00-17:00、火：14:30-17:00、水：9:00-12:00	スタッフ館 I 604 連携地域医療学医局

<医療科学部・医療検査学科 基礎病態解析学>

担当者名	曜日	時間	場所
石川 浩章 准教授	月曜日、木曜日	12:15～12:45	大学3号館-2F-212

<医療科学部・臨床工学科 臨床工学技術学>

担当者名	曜日	時間	場所
井平 勝 教授	金曜日	8:30-9:00 講義後にも質問を受け入れる	大学7-6F-608号室
塩谷 泰子 助教	月～木曜日	8:30～9:00	大学7号館-6F-608

<医療科学部・臨床工学科 医用工学>

担当者名	曜日	時間	場所
作佐部 太也 準教授	月～金曜日	8:00～8:30 17:00～17:30	大学7号館-2F-201
山崎 一徳 助教	月～木曜日	12：30～13：00	大学7号館-3F-301

<医療科学部・臨床工学科 自然科学 数学>

担当者名	曜日	時間	場所
星野 弘喜 準教授	金曜	12:15-12:45	大学9号館-4F-401

<保健衛生学部・看護学科 母性・小児看護学>

担当者名	曜日	時間	場所
久納 智子 教授	月曜日～金曜日	実習時間及び実習終了後1時間	大学3号館-6F-647

<保健衛生学部・リハビリテーション学科 人文社会科学・語学 医学英語>

担当者名	曜日	時間	場所
清野 溪 講師	木曜日	13:00～16:00	大学8号館-1F教務室（来室の際はメールで事前に要確認）

<保健衛生学部・リハビリテーション学科 自然科学 保健体育>

担当者名	曜日	時間	場所
桂華 麻希 助教	月曜・木曜	月) 12:10-13:00 木) 13:00-14:00 メールまたはe-learningでの質問は隨時受付	大学8号館1階106

<総研・システム医科学>

担当者名	曜日	時間	場所
昌子 浩孝 助教			

<共同利用研究設備サポートセンター>

担当者名	曜日	時間	場所
横山 須美 準教授	金曜日	16：30～17：30	大学11号館-2F-202

<医療科学部・医療検査学科 臨床病態解析学>

担当者名	曜日	時間	場所
大江 瑞恵 准教授	月曜日～金曜日	12:15～12:45	大学3号館-3F-304

[授業日程]

<アセンブリ I >

N o.	開講	種別	担当者名	到達目標	使用教室
1	05/11 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 他	イントロダクション ●本授業全体を構成する理論と 授業の進め方、学習上の留意 点等の説明を受ける	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218 大3-412 大3-414
2	05/18 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	はじめに（コミュニケーション とは） ●コミュニケーションをとる前 の環境づくりなどアプローチ 方法を学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218 大3-412 大3-414
3	05/18 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂	自分を知る ●自己の価値観を知ることで、 相手の話を受け入れるフレー ムを広げることを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218 大3-412 大3-414
4	05/25 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂	自分を知る ●自己の価値観を知ることで、 相手の話を受け入れるフレー ムを広げることを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218 大3-412 大3-414
5	05/25 (月)	実習			

	5限		石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他		
6	06/01 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 眞嗣 他	アセンブリ講演会1 「医療と献体」	施設-フジタホール2000
7	06/08 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他		
8	06/08 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	相手を知る ●コミュニケーションタイプを学び、状況に応じたソーシャルスタイルを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218 大3-412 大3-414
9	06/15 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	聴く（1：聴き方） A-4-1) コミュニケーション ○傾聴の理論とスキルを学び、相手の真意を理解できる方法を習得する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218 大3-412 大3-414
10	06/15 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他		
11	06/22 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子	聴く（2：深く聴く） A-4-1) コミュニケーション ○相手をよく観察し、状況に応じて傾聴スタイルを変化	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218

			深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 濱島 誠 昌子 浩孝 他	させることでより深く聴けるスキルを学修する	大3-412 大3-414
1 2	06/22 (月) 5限	実習			
1 3	06/29 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 眞嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 濱島 誠 昌子 浩孝 他	見る（観察力） A-4-1) コミュニケーション ○相手の心理状態を見抜く觀察力を身につけて、ニーズを理解できることを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218 大3-412 大3-414
1 4	06/29 (月) 5限	実習			
1 5	07/06 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 他	講演会 A-4-1) コミュニケーション ○外部講師による講話を聞き、価値観の多様性を受け入れられることを学修する	施設-フジタホール200
1 6	07/13 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹	振返る ●学修した自己のコミュニケーションを省察し、長所と短所に気づく	大2-601 大2-602 大2-603 大3-218
1 7	07/13 (月) 5限	実習	藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英		大3-412 大3-414

			瀬島 誠 昌子 浩孝 他		
1 8	10/05 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	質問する（1：問題解決） ●状況に応じてオープンクエスチョンができる、周囲と相互に情報交換ができるように学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
1 9	10/05 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	質問する（2：意思決定） ●周囲との合意形成を促すためのオープンとクローズのクエスチョンを使い分けができるスタイルを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
2 0	10/12 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	チームを作る（1） ●チーム目標に向かって意思決定を促す傾聴と質問スキルを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
2 1	10/12 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	チームを作る（1） ●チーム目標に向かって意思決定を促す傾聴と質問スキルを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
2 2	10/19 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	チームを作る（1） ●チーム目標に向かって意思決定を促す傾聴と質問スキルを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
2 3	10/19 (月)	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 瀬島 誠 昌子 浩孝 他	チームを作る（1） ●チーム目標に向かって意思決定を促す傾聴と質問スキルを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501

	5限		石原 悟 菅沼 由唯 李 媳英 濱島 誠 昌子 浩孝 他		
2 4	10/26 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 眞嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媳英 濱島 誠 昌子 浩孝 他	チームを作る（2） ●チーム内のコンフリクトを解消するためのコミュニケーション・スキルを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
2 5	10/26 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媳英 濱島 誠 昌子 浩孝 他	チームを作る（3） ●成果が出せるチームビルディングの基礎理論を学び、リーダーとして実践できるスキルを学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
2 6	11/02 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媳英 濱島 誠 昌子 浩孝 他	総合的な振り返り ●これまでに学んだコミュニケーションスキルを総合的に省察することで深く学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
2 7	11/02 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸	総合的な振り返り ●これまでに学んだコミュニケーションスキルを総合的に省察することで深く学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
2 8	11/09 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匡子 若月 徹	総合的な振り返り ●これまでに学んだコミュニケーションスキルを総合的に省察することで深く学修する	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412
2 9	11/09 (月) 5限	実習	藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸		大3-414 大3-501

			浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 濱島 誠 昌子 浩孝 他		
3 0	11/16 (月) 4限	実習	古澤 彰浩 大槻 眞嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 濱島 誠 昌子 浩孝 他	アセンブリII報告会 ●アセンブリIIの理解	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
3 1	11/16 (月) 5限	実習	古澤 彰浩 大槻 真嗣 守口 匠子 若月 徹 藤江 里衣子 深澤 元晶 新美 敦子 竹内 俊幸 浅井 直也 小谷 侑 河田 美穂 石原 悟 菅沼 由唯 李 媛英 濱島 誠 昌子 浩孝 他	予備日	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
	12/07 (月) 4限	予備日		予備日	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501
	12/07 (月) 5限	予備日		予備日	大2-601 大2-602 大2-603 大3-412 大3-414 大3-501

基礎教室体験実習

[教育目標]

医師は常に新たな医療の課題を発掘し、その解決に向かってチャレンジしていく。課題は、疾患の病因の解明・治療法の開発・予防法の研究などを含め幅広い領域に関連する。医師の仕事はこれまでに得られた知識だけでは立ちゆかず、常に科学の最前線に立つことが必要である。リサーチマインド（科学する心、研究心）を持った医師が求められる所以である。基礎医学教室、臨床医学教室、総合医科学研究所に入り、研究とはどんなものか、研究室の日常がどんなものかを体験し、自らリサーチマインドの涵養を図る。

[授業の方法]

実習。実在する企業等から提供される実社会のデータを活用・分析し、当該企業等を含む実社会の課題解決にあたるための学修を含む。

[学修目標]

教室での指導者と話し合い、目標を決め、成果に向かって努力する。
リサーチマインドが良き医師にとってどんな意味を有するかを説明できること。

[身につける能力]

卒業コンピテンシー V-1,2,3、パフォーマンス・レベルE

[授業の種類]

[準備学習（予習・復習等）]

教室での指導から、学習テーマを事前に聞き、各自充分学習しておくこと。

[評価]

選択科目につき、特に評価は行わない。

[フィードバック]

※以下の例文より選択の上、必要があれば加筆訂正ください。

- ・ 小テスト後に解答および解説を示す。
- ・ 小テストはコメントをつけて返却する。
- ・ レポートや課題についての解説を行う。
- ・ レポートで不足の多い場合は再提出を求めることがある。
- ・ 提出されたレポートにはコメントをつけて返却する。
- ・ 実習中の課題について毎回終了時にチェックする。
- ・ IT試験は試験後に解答および解説を配布する。
- ・ 定期試験結果についてはオフィスアワーにおいて各自にフィードバックし、個人の理解度に応じた学習指導を行う。
- ・ 定期試験結果について疑義のある場合はオフィスアワー等において対応する。
- ・ 定期試験終了後、解答および解説を告知する。
- ・ 定期試験結果について、希望者には採点結果を解説する。
- ・ 本科目について作成したe-learningを学習する。

[教科書]

[推薦参考書]

[使用する教室]

[実習場所]

[担当教員、受け入れ教室、学習内容、期間]

(1)対象学生

医学部1,2年生で基礎教室体験実習に興味がある学生は誰でも参加可能である。ただし、実習期間中に成績不良となった場合には担当教員と相談の上、一時活動を停止する。希望により、3,4年生まで基礎教室体験実習は延長することが出来る。

(2)対象講座

2020年度の受け入れ講座は掲示を確認すること。2019年度の受け入れ講座は以下の通り。生物学、化学、分子腫瘍学、ウイルス・寄生虫学、法医学、難病治療学、脳神経内科学、小児科学、皮膚科学、放射線医学、移植・再生医学、脳神経外科学、リハビリテーション医学Ⅰ、リハビリテーション医学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、公衆衛生学、分子遺伝学、遺伝子発現機構学。

(3)活動期間

原則として授業修了後の放課後、STH（土曜日）、夏休み、春休みとする。

(4)募集要項

担当教員、受け入れ教室、実習内容、期間などについては掲示板において掲示する。

(5)募集手続き

基礎教室体験実習に参加希望の学生は学務課に連絡した後、各教室を訪ねて担当教員のガイダンスを受けること。

